

XIII 教員の研究教育・社会貢献活動

本章は「茨城大学研究者情報総覧」に入力されたデータをもとに作成された。一人の教員を一つのデータシートとしてまとめている。なお、データは平成 25 年 3 月 31 日現在のものである。

1 教員の研究教育・社会貢献活動

学校教育教員養成課程(国語教育)	氏名 橋浦 洋志
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1949 年 11 月
学歴・職歴	東北大学文学研究科修士課程修了(1976 年)
学位	修士(文学)[東北大学]
受賞歴	平成 13 年度茨城大学推奨授業表彰学長賞(2001 年), 第 8 回日本詩人クラブ新人賞(1998)(日本詩人クラブ)(1998 年 03 月), 茨城文学賞(詩部門)(茨城県芸術祭実行委員会)(1988 年 03 月)
所属学会	日本文芸研究会, 日本近代文学会
専門分野	日本近代文学
教育研究概要	近代日本文学研究 特に「北村透谷」「夏目漱石」「芥川龍之介」を中心に、方法の問題と詩精神との関わりについて考察すると同時に、近現代詩についての批評活動を行う。 (キーワード)小説及び詩の方法の問題を作品構造の分析を中心に考察する。
担当科目	(教養科目)コミュニケーション論[ことばの力実践演習] (専門科目)教職のためのパブリックスピーキング, 初等国語科内容研究, 近・現代散文研究 I, 近・現代韻文演習 I, 保育内容の研究(言葉), 現代文化批評, 初等国語科内容研究, 国文学史, 近・現代散文研究 II, 近・現代韻文演習 II, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)言語文化総合研究, 地域教育資源フィールドスタディ, 教科コラボレートケーススタディ, 近代文学特論, 授業展開ケーススタディ, 研究と教育— 知の往還をめぐって—, 国語教育授業設計, 現代文学研究 II(詩歌)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

橋浦洋志「朔太郎の詩空間－指示語「こ・そ・あ」－」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学、芸術), , 62, 1-12, 2013.

橋浦洋志「地震・津波と原発、この相容れぬもの-詩と哲学のための考察-」, 『ERA』第二次 8 号 59-67, 2012

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

「茨城詩壇」選評(『茨城新聞』隔週)
日本詩人クラブ詩界賞(評論)選考委員
茨城県芸術祭文学部門(詩)選考委員

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(国語教育)	氏名 川嶋 秀之
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1955 年 11 月
学歴・職歴	東京都立大学人文科学研究科博士課程(1987 年)
学位	修士(文学)[東京都立大学]
受賞歴	なし
所属学会	古事記学会, 日本方言研究会, 国語学会
専門分野	国語史
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目) 主題別ゼミナール[「声」を届ける], 人間とコミュニケーション[日本語の世界] (専門科目) 国語学概論, 国語学演習 II, 国語学演習 I, 言語と文化の諸相, 郷土の言葉, 保育内容の研究(言葉), 国語表現法, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目) 言語文化総合研究, 古典語特論, 国語教育授業設計, 現代語演習

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

<招待講演> 茨城県教育研究連盟(「言葉という不思議」)(2012 年 10 月) <招待講演> 水戸葵陵高等学校保護者対象講演会(「茨城の方言について」)(2012 年 05 月)
--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

第7回茨城弁交通安全川柳コンテスト(2012 年度)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(国語教育)	氏名 増子 和男
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1953年10月
学歴・職歴	<p>早稲田大学文学研究科博士前期課程修了(1978年03月)</p> <p>早稲田大学 第一文学部 非常勤講師(1989年4月～1991年3月)</p> <p>鶴見大学 文学部 非常勤講師(1990年4月～1991年3月)</p> <p>梅光女学院大学 文学部 専任講師(1991年4月～1995年3月)</p> <p>九州国際大学 経済学部 非常勤講師兼任(1994年4月～1999年3月)</p> <p>梅光女学院大学 文学部 助教授(1995年4月～2001年3月)</p> <p>梅光学院大学 大学院文学研究科 講師兼任(2001年4月～2002年3月)</p> <p>梅光学院大学 文学部教授(2001年4月～2008年3月)</p> <p>東亜大学 総合人間・文化学部 非常勤講師兼任(2002年4月～2004年3月)</p> <p>梅光学院大学 大学院文学研究科 教授併任(2002年4月～2008年3月)</p> <p>山口大学 非常勤講師兼任(2007年4月～2008年3月)</p> <p>台湾輔仁大学 大学院講師兼任(集中講義)(2008年2月～2008年2月)</p> <p>茨城大学 教育学部教授(2008年4月～)</p> <p>早稲田大学 文学学術院(大学院文学研究科・文化構想学部)非常勤講師兼任(2011年4月～)</p> <p>茨城大学教育学部附属特別支援学校長(2012年4月～)</p>
学位	文学修士[早稲田大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本中国学会, 全国漢文教育学会, 和漢比較文学会, 中唐文学会, 早稲田大学中国文学会, 中国詩文研究会, 中国古典学会, 日本詩経学会, 日本聞一多学会, 早稲田大学国文学会
専門分野	各国文学・文学論
教育研究概要	<p>唐代伝奇研究。六朝志怪小説研究。日中怪異譚の比較研究。</p> <p>文言で書かれた小説に現れた用語の来源と、用語に対してそれらの小説が執筆された当時の人々が共有した思いを探っている。</p> <p>また、関わりの深い日中両国の怪異譚を比較することによって、その受容と変容、その背景となった人々の思いを探っている。</p>
	(キーワード)六朝志怪、唐代伝奇、日中怪異譚比較

担当科目	(教養科目)人間と文学・芸術[日中比較妖怪学入門] (専門科目)漢文学基礎, 漢文学研究法 I, 漢文学研究法 II, 漢文学概論, 漢文学演習 I, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)言語文化総合研究, 漢文学特論, 漢文学研究, 国語教育授業設計
------	---

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

増子和男「『山海経』所載の獺怪?をめぐって」, 日本聞一多学会報『神話と詩』, , 11, 1~16, 2013.

増子和男「田中貢太郎の再話の姿勢をめぐって—獺怪異譚を手がかりとして—」, 中国詩文論叢, , 31, 114~123, 2012.

増子 和男「小泉八雲「MUJINA—むじな」に見える「お女中」の顔貌表現の変容をめぐって—日中比較文学の立場からの疑義を中心として—」, 新しい漢字漢文教育 , , 54, 33-44, 2012.

研究業績(2)学会発表など

増子和男, “獺怪異譚を語り継ぐ者—桃葉・田中貢太郎の場合—”(和漢比較文学会・国立台湾大学共催特別例会(特別研究発表会), 2012年09月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本詩経学会 理事(2002年04月~)

[自治体での社会教育]天章堂講座・日中比較妖怪学入門, 茨城県南生涯学習センター(2012年度実施)

[非常勤講師]早稲田大学文学学術院(大学院文学研究科・文化構想学部)[非常勤講師](2011年04月~)

海外出張・海外研修・内地研修など

台湾 台北・国立台湾大学、金山地区[学会参加・発表、実地踏査](2012年9月:4日間)

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(国語教育)	氏名 鈴木 一史
------------------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1967年7月
学歴・職歴	筑波大学教育研究科修士課程修了(1996年03月) 東京大学教育学部附属中等教育学校(2000年4月～2012年3月) 聖徳大学・非常勤講師(国語表現)(2002年4月～2004年3月) 東京大学・非常勤講師(教科教育法)(2005年4月～2012年3月) 聖心女子大学・非常勤講師(教科教育法)(2007年4月～2012年3月)
学位	修士(教育学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	解釈学会, 日本国語教育学会, 全国大学国語教育学会, 日本読書学会, 人文科教育学会
専門分野	教科教育学
教育研究概要	(キーワード)国語科教育法 授業プログラム 語彙教育 コーパス 作文教育 作文 コーパス 教科書分析 作文語彙
担当科目	(専門科目)初等国語科教育法研究, 国語科教育法研究, 初等国語科内容研究, 初等国語科教育法研究, 初等国語科内容研究, 国語科教育法特講 I (大学院科目)言語文化総合研究, 国語科教育特論 I, 国語科教育演習 I, 国語教育授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

鈴木一史「改訂常用漢字表と漢字指導」, 教育科学国語教育, 54, 11, 14-15, 2012.
「最新情報の検索チェック」, 教育科学国語教育, , 2012.
鈴木一史「改定常用漢字表と漢字指導」, 教育科学国語教育, 54, 11, 14-15, 2012.

研究業績(2)学会発表など

鈴木一史, 「語彙中心の読み方による再読の効用」(平成 24 年度第 44 回解釈学会全国大会・2012 年 08 月)
<招待講演> 日本国語教育学会茨城支部研究会(講話)(2013 年 02 月)
<その他> 茨城大学附属中学校教育研究協議会 公開授業研究会(事前指導・共同研究者)(2012 年 12 月)

〈その他〉茨城県教育研連盟研究集会(助言者)(2012年10月)
 〈企画・運営,その他〉第75回 国語教育全国大会(ワークショップ講師)(2012年08月)
 〈司会・議長・コンビーナ・コーディネータ,企画・運営〉第75回 国語教育全国大会(校種別分科会
 指定討論者兼司会者)(2012年08月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本国語教育学会 高等学校部会副部長(2010年04月～)
 解釈学会 常任委員・編集委員(2009年01月～)
 日本国語教育学会 全国大会企画委員(2008年04月～)
 日本国語教育学会 センター試験問題検討委員(2005年04月～)
 日本国語教育学会 センター試験問題検討委員会・現代文分野責任者(2012年04月～)

[その他]NHK 高校講座「現代文」講師, 日本放送協会(2012年度実施)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 早川 唯弘
-------------------	----------

教員履歴など

現職	名誉教授
生年月	1944 年 10 月
学歴・職歴	東京教育大学大学院理学研究科博士課程(1974 年)
学位	理学博士
受賞歴	なし
所属学会	日本火山学会, 日本地形学連合, 日本第四紀学会, 日本地理学会, 茨城地理学会
専門分野	自然地理学
教育研究概要	
	(キーワード)
担当科目	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

茨城地理学会 茨城地理学会会長(2006 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 池谷 文夫
-------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1948年4月
学歴・職歴	<p>東京大学人文科学研究科博士課程単位取得満期退学(1977年03月)</p> <p>茨城大学講師教育学部(1977年4月～1982年6月)</p> <p>茨城大学助教授教育学部(1982年7月～1993年3月)</p> <p>茨城大学教授教育学部(現在に至る)(1993年4月～)</p> <p>茨城大学評議員(2002年4月～2002年8月)</p> <p>茨城大学副学長(教育)(2002年9月～2004年3月)</p> <p>茨城大学理事・副学長(教育)(2004年4月～2004年8月)</p> <p>茨城大学学長特別補佐(入学戦略担当)(2005年4月～2006年3月)</p> <p>茨城大学入学センター長(2006年5月～2008年4月)</p>
学位	博士(文学)[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	史学会, 日本西洋史学会, 歴史学研究会, 西洋史研究会, 早稲田大学史学会, 西洋中世学会
専門分野	西洋史, ドイツ中世史
教育研究概要	<p>中世ドイツ帝国史研究</p> <p>ドイツ中世後期を中心とする政治史・政治思想史の研究。</p> <p>中世皇帝権・ドイツ帝権・ドイツ王権, 帝国・ドイツ王国等のキーワードに即した理念と現実の交錯の解明。</p> <p>(キーワード) 中世ドイツ, 政治史, 国制史, 政治思想史, 帝権論, 神聖ローマ帝国史</p>
担当科目	<p>(専門科目) 西洋史特講 I/ヨーロッパ歴史文化論 I, 西洋史特講 I, 専門演習 I・II (西洋史)/西洋史演習 I(4単位), 西洋史概説 I・II, 言語と文化の諸相, 西洋史特講 II/ヨーロッパ歴史文化論 II, ヨーロッパの歴史と文化(教科又は教職)/ヨーロッパの歴史と文化(学芸員資格科目), 歴史学特別演習, 卒業研究(教育:4単位)</p> <p>(大学院科目) 社会・文化総合研究, 西欧史特論, 西欧史演習</p>

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動
社会的活動、地域貢献など
[出前授業]「神聖ローマ帝国の歴史」, 茨城県立水海道第一高等学校 (2012 年 8 月) [学外授業]「ミュンヘンとバイエルン地方の諸都市」, 水戸市国際交流協会市民講座講師 (2013 年 1 月) [非常勤講師]放送大学学園水戸学習センター〔講師〕(2012 年 11 月) [兼業]茨城県〔茨城県選挙管理委員会委員〕(2008 年 12 月～2012 年 12 月)
海外出張・海外研修・内地研修など
科学研究費補助金などの受領
[科研費](代表)「ドイツ中世末期の政治と政治思想の研究(Study of German political history and thought in the later middle age)」(2009 年 04 月 01 日～2013 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 木村 勝彦
-------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1961年1月
学歴・職歴	筑波大学教育学研究科博士課程(1991年)
学位	教育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本公民教育学会, 日本教育方法学会, 全国社会科教育学会, 日本社会科教育学会, 日本教育学会
専門分野	教育学(社会科教育)
教育研究概要	社会科教育に関する教育史的研究(明治以降、昭和前期)、初期社会科の研究、社会科授業論に関する研究 社会科教育に関する教育史的研究(明治以降、昭和前期)、特に社会科成立の視点から戦前の公民教育を中心に検討する。初期社会科の研究、特に戦前の社会科的教育を踏まえて、初期の社会科教育事情を検討する。社会科授業論に関する研究 (キーワード)公民教育、社会科教育史、社会科授業論
担当科目	(専門科目)初等社会科教育法研究, 初等社会科教育法研究, 公民科教育法研究 I, 社会科教育学入門, 社会科教育法特講 I, 社会科教育法演習 I, 卒業研究(教育: 4単位) (大学院科目)社会科教育特論 I, 社会科教育演習 I, 社会科授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

日本社会科教育学会 評議員(2005年04月～)

日本公民教育学会 常任理事(2002年04月～)

[非常勤講師]白鷗大学法学部[講師](2005年04月～)

[その他]茨城県教育研修センター〔講師〕(2004 年 07 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 村山 朝子
-------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1958年7月
学歴・職歴	奈良女子大学文学研究科修士課程修了(1984年03月) お茶の水女子大学附属中学校 教諭(1984年4月～1990年3月) 茨城大学教育学部／人文学部非常勤講師(1992年12月～2004年3月) 常磐大学人間科学部非常勤講師(1993年4月～2004年3月) 流通経済大学経済学部非常勤講師(1998年4月～2005年3月) 茨城大学教育学部助教授(のち准教授)(2004年4月～2009年9月) 茨城大学教育学部教授(2009年10月～)
学位	文学修士[奈良女子大学]
受賞歴	人文地理学会賞(人文地理学会)(2007年11月17日)
所属学会	日本社会科教育学会, 日本地理教育学会, 日本地理学会, 人文地理学会, 茨城地理学会, お茶の水地理学会
専門分野	教科教育学 地理学 人文地理学
教育研究概要	(キーワード)社会科教育、地理教育、教科書、学習指導要領、カリキュラム、スウェーデン
担当科目	(専門科目)中等社会科教育法研究, 社会科教育法特講II, 社会科教科論, 社会科教育学入門, 社会科教育法演習II, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)社会科教育特論II, 社会科授業設計, 社会科教育演習II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「社会科教育における地理の役割」, E-journal GEO, 7, 1, 11-18, 2012.
 荒川智, 田中健次, 村野井均, 村山朝子, 渡部玲二郎, 大辻永, 郡司晴元, 西川陽子「茨城大学教育学部
 付属学校園におけるサステイナビリティ教育の実態調査とESDカレンダーの試作」, 茨城大学教育学
 部紀要 人文・社会科学・芸術, 61, 41-54, 2012.
 日本社会科教育学会編『新版 社会科教育事典』(項目分担執筆) , ぎょうせい, 76-77, 2012.

研究業績(2)学会発表など

<企画・運営> 先生と子どもたちで作る防災地図パブリックミーティング(戦略的地域連携事業の「先生と
 子どもたちで作る防災地図」作成支援事業として防災地図作成のための提案と意見交換会を公開で開

催。本事業グループの代表者として企画運営にあたった。) (2013 年 03 月)
 <招待講演> 桜蔭会東京支部講演会(招待講演を行った。タイトル「今こそ読みたい『ニルスのふしぎな旅』」) (2012 年 10 月)
 <招待講演> 福山市学校教育研究団体連絡協議回中学校社会科研究会(「新学習指導要領社会科授業の進め方地理的分野」と題する招待講演を行った。) (2012 年 08 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本地理教育学会 評議員(2010 年 04 月～)
 日本社会科教育学会 評議員(2010 年 04 月～)
 国土地理院関東地方測量部 茨城県教育庁 社団法人日本測量協会関東支部支部 いばらき児童生徒地図研究会・会長(2011 年 05 月～)
 「平成 24 年度 筑波大学との連携・協力推進事業に係る学力向上研修事業による社会科及び総合的な学習の時間研修会」に講師として参加した。大子町立リフレッシュセンター、教員にフィールドワークの実習を指導した。[大子町教育委員会](2012 年 08 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「ESD の視点による教科・領域横断的学習の構築」[科研費](分担)(2010 年 04 月 01 日～2013 年 03 月 31 日)
 「世界地誌学習の再構築に関する理論的・実践的研究」[科研費](代表)(2010 年 04 月 01 日～2013 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 中野 雅紀
-------------------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1963年5月
学歴・職歴	中央大学法学研究科博士課程(1997年)
学位	法学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本比較法研究所, 憲法裁判研究会, ドイツ憲法判例研究会, 憲法理論研究会, 日本公法学会
専門分野	日本国憲法
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目) 日本国憲法[現代人権論], 日本国憲法[現代人権論] (専門科目) 法学概論, 憲法と社会生活, 日本国憲法

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 大槻 功
-------------------	---------

教員履歴など

現 職	名誉教授
生年月	1944 年 4 月
学歴・職歴	東京大学経済学研究科博士課程(1975 年) 茨城大学講師(教育学部)(1975 年 7 月～) 茨城大学助教授(教育学部)(1980 年 4 月～) 茨城大学教授(教育学部)(1995 年 4 月～)
学位	経済学修士
受賞歴	なし
所属学会	政治経済学・経済史学会(旧土地制度史学会), 社会経済史学会, 歴史学研究会
専門分野	経済史
教育研究概要	地域経済の変遷と人々の生活の変化の研究 明治から昭和戦前期の関東地方および茨城県の農業と地主制の研究、地租改正の研究、水戸市の農業および商工業の研究をしています。また、千波湖と水戸市の社会および生活の変遷を現代まで研究しています。 (キーワード)地租改正, 商業的農業, 地主制, 地方都市の近代化, 戦時商業統制, 都市の自然と社会の変遷
担当科目	(専門科目)国際経済史

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 小野寺 淳
-------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1955年8月
学歴・職歴	筑波大学歴史・人類学研究科博士課程(1985年)
学位	文学博士
受賞歴	なし
所属学会	交通史研究会, 日本国際地図学会, 東京地学協会, 日本地理学会, 人文地理学会, 歴史地理学会, 日本地理教育学会, 茨城地理学会
専門分野	人文地理学
教育研究概要	<p>主たる研究は、江戸時代の古地図(主に河川絵図・国絵図)、江戸時代の旅(お伊勢参り)、茨城県内における近世・近代の都市・農村の景観変化(石岡市史・協和町史・八千代町史・猿島町史・境町史などを分担執筆)の研究を行っている。授業は人文地理学の概論と専門、地域へのアプローチや地理学野外実習(フィールドワークの初歩)、茨城の歴史と文化(茨城県通史)、茨城の風土と生活(茨城県地誌)などを担当している。</p> <p>(キーワード)江戸時代の古地図研究, 伊勢参り, 古道, 城下町</p>
担当科目	<p>(教養科目)社会と人間[都市の歴史的景観]</p> <p>(専門科目)地理学研究法, 歴史地理学I, 人文地理学I/人文地理学, 茨城の歴史と文化(教科又は教職)/茨城の歴史と文化(情報文化), 地域へのアプローチ, 人文地理学演習(4単位), 卒業研究(教育:4単位), 地理学野外実習III</p> <p>(大学院科目)人文地理学特論, 学術情報リテラシー, 人文地理学演習</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「「水戸道中の特色」茨城県歴史の道調査事業報告書近世編『水戸道中』, 茨城県教育委員会, 2-10, 2013.

研究業績(2)学会発表など

, 「シーボルト収集のカラフト図をめぐって」(国絵図研究会・2012年09月)
 <招待講演> 茨城県高等学校教育研究会地理部講演会「水戸道中・岩城相馬道-地域教材としての活用-(講演)(2012年11月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

人文地理学会 協議員(2007年～)
 茨城地理学会 常任委員長(2006年～)
 日本国際地図学会 評議員(2005年04月～)
 日本地理学会・代議員(2010年05月～)
 人文地理学会 人文地理学会・協議員(2007年11月～)
 国絵図研究会・代表(2007年08月～)
 茨城地理学会・常任委員長(2006年08月～)
 歴史地理学会 歴史地理学会・常任委員(2005年04月～)
 交通史学会・常任委員(2001年05月～)

東京大学教養学部 非常勤講師(2012年10月～2013年03月)
 [非常勤講師]東京大学教養学部[非常勤講師](2012年10月～2013年03月)

海外出張・海外研修・内地研修など**科学研究費補助金などの受領**

「ライデン大学所蔵シーボルト収集古地図の研究-江戸時代の地図による日蘭学術交流-」[科研費]基盤研究(B)一般(代表)(2011年06月01日～2014年03月31日)
 「近世実測図を活用した古地図 GIS 解析法の構築」[科研費](分担)(2009年06月01日～2013年03月31日)

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 大島 規江
-------------------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1973年4月
学歴・職歴	筑波大学地球科学研究科 博士課程博士後期課程修了(2002年03月)
学位	博士(理学)(筑波大学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	地誌学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)社会・国際系科目[オランダの環境と社会] (専門科目)地理学研究法, 基礎地理, 初等社会科内容研究, 地誌学 III, 地誌学演習, 地理学野外実習 III (大学院科目)地誌学特論, 地誌学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

ドイツ ベルリン・ベルリン市内[調査](2013年2月:6日間)
オランダ リンブルフ州・リンブルフ州内[聞き取り調査](2013年2月~3月:7日間)

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 酒井 紀美
-------------------	----------

教員履歴など

現 職	特任教授
生年月	1947 年 11 月
学歴・職歴	<p>大阪市立大学大学院文学研究科文学研究科博士課程単位取得満期退学(1976年)</p> <p>大阪府立渋谷高等学校 社会科教諭(1976年4月～1981年8月)</p> <p>東京大学史料編纂所非常勤職員(1984年4月～1995年9月)</p> <p>相模女子大学学芸学部非常勤講師(1991年10月～2004年9月)</p> <p>立教大学文学部非常勤講師(1994年4月～1994年9月)</p> <p>東京学芸大学教育学部非常勤講師(1994年9月～2000年9月)</p> <p>成蹊大学文学部非常勤講師(1996年4月～2003年9月)</p> <p>立教大学大学院文学研究科史学専攻非常勤講師(1999年4月～2004年9月)</p> <p>慶應義塾大学文学部非常勤講師(2001年4月～2003年3月)</p> <p>放送大学非常勤講師(2003年4月～2005年3月)</p> <p>茨城大学教育学部教授(2004年10月～)</p>
学位	文学博士[大阪市立大学]
受賞歴	なし
所属学会	歴史学研究会, 日本史研究会, 大阪歴史学会, 大阪市立大学日本史学会
専門分野	日本史
教育研究概要	<p>専攻は日本中世史。主に、中世の荘園や村落について研究してきた。近年は、情報伝達のしくみ、夢に関する中世人の認識のあり方などに関心がある。今後は、在地社会の日常的な意識について考えていきたい。</p> <p>(キーワード) 日本中世史の研究、特に情報伝達のあり方について。</p>
担当科目	<p>(教養科目) 主題別ゼミナール[地域を調べる・考える], 人間と歴史[夢の日本史]</p> <p>(専門科目) 日本古代中世史 II/日本史特講 I/日本史特講 I, 日本史概説 II, 茨城の歴史と文化(教科又は教職)/茨城の歴史と文化(情報文化), 日本史概説 I, 歴史学特別演習, 日本史演習(4単位), 卒業研究(教育:4単位)</p> <p>(大学院科目) 社会・文化総合研究, 日本史特論, 日本史演習</p>

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

「夢語りの場の生成」(共同研究): サントリー文化事業財団(不明年～)

海外出張・海外研修・内地研修など

イギリス ノリッチ・セインズベリー日本藝術研究所[研究会基調講演](2012年6月:3日間)
--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 工藤 研二
------------------	----------

教員履歴など

現職	講師
生年月	1949年12月
学歴・職歴	
学位	
学位	
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)身近な数学[数学の楽しみ] (専門科目)代数学C, 算数科内容研究, 幾何学A, 代数学D, 幾何学D, 幾何学B, 卒業研究(教育:4単位)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 根本 博
------------------	---------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1950年10月
学歴・職歴	筑波大学大学院教育学研究科博士後期課程修了(1981年03月) 文部科学省(旧文部省)(1991年4月～2006年3月)
学位	教育学修士[東京教育大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	科学教育学会, 日本数学教育学会
専門分野	教科教育学
教育研究概要	<p>確固たる知力の育成に数学教育が果たすべき役割 — 数学教育の社会的考察の試み —</p> <p>現今の社会における子どもたちの数学学習の状況と変化を見定め、未来社会に生きる子どもの知力を確かなものとする数学教育の在り方について述べている。</p> <p>(キーワード) 数学教育学 数学科教育課程論 認知科学</p>
担当科目	<p>(教養科目) 身近な数学[数学の楽しみ]</p> <p>(専門科目) 算数科教育法研究, 算数科教育法特講 II, 数学科教育法演習 I, 数学科教育法研究 I, 算数科教育法研究, 数学科教育法研究 II, 卒業研究(教育:4単位)</p> <p>(大学院科目) 数学教育学特論 I, 数学総合研究, 数学科教育授業設計, 数学教育学演習 I</p>

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 小口 祐一
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1962年9月
学歴・職歴	盛岡大学文学部助教授(2005年4月～2007年3月) 盛岡大学文学部准教授(2007年4月～2010年3月) 茨城大学教育学部准教授(2010年4月～2013年3月) 茨城大学教育学部教授(2013年4月～)
学位	修士(教育学)
受賞歴	なし
所属学会	日本統計学会, 日本教授学習心理学会, 日本科学教育学会, 日本数学教育学会, National Council of Teachers of Mathematics
専門分野	教科教育学
教育研究概要	統計教育 (キーワード)統計教育 オープンアプローチ 空間図形カリキュラム
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[数学入門], 身近な数学[数学と教育] (専門科目)算数科教育法研究, 数学科教科論, 算数科教育法研究, コンピュータ概論, 数学科教育法演習 II, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)数学教育学特論 II, 数学総合研究, 数学教育学演習 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

小口祐一「箱ひげ図の読み取りにおける学習者の誤判断とその修正」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 62, 23-32, 2013.

小口祐一「ヒストグラムの読み取りに及ぼす変換操作シミュレーションの効果」, 統計教育実践研究, 5, 46-53, 2013.

小口祐一「統計判断に及ぼすルール命題の変換操作シミュレーションの効果」, イプシロン, 54, 53-64, 2012.

木村了士, 小口祐一「知識の高次化を促進する数学的モデリングに関する研究」, 茨城大学教育実践研究, , 31, 47-60, 2012.

小口祐一「ヒストグラムの読み取りにおける学習者の誤判断とその修正」, 茨城大学教育実践研究, , 31, 33-46, 2012.

小口祐一「変数操作シミュレーションによる教授方略の枠組み」, 茨城大学教育実践研究, , 31,

17-31, 2012.

小口祐一「統計判断における学習者の誤りに関する問題」, 茨城大学教育実践研究, , 31, 1-15, 2012.

小口祐一「標本比率の変動に関する学習者の誤った判断」, 日本科学教育学会 年会論文集, 36, 65-68, 2012.

, "Potentials for Spatial Geometry Curriculum Development with Three-Dimensional Dynamic Geometry Software in Lower Secondary Mathematics", The International Journal for Technology in Mathematics Education, 19, 2, 73-79, 2012.

小口祐一, 青山和裕, 藤井良宜「中学校第3学年の生徒のグラフの読み取りに関する実態調査」, 日本数学教育学会誌, 94, 7, 2-10, 2012.

「日本統計学会公式認定統計検定4級対応 資料の活用」, 東京図書, 2012.

研究業績(2)学会発表など

小口祐一, 「直観的統計判断におけるバイアス:統計教育は人間の判断力を高められるか」(全国統計教育研究大会・2012年10月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本数学教育学会 編集部幹事(2011年11月～)

日本教授学習心理学会 編集委員(2011年07月～)

日本統計学会 統計教育委員(2008年04月～)

統計グラフ指導者講習会(2012年度)

[非常勤講師]近大姫路大学教育学部[非常勤講師](2011年04月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「中等教育における統計的リテラシーのオンライン評価システムの開発」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2010年04月01日～2014年03月31日)

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 梅津 健一郎
------------------	-----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1965年3月
学歴・職歴	筑波大学数学研究科博士課程修了(1993年03月) 筑波大学数学系準研究員(文部技官)(1993年6月～1997年2月) 筑波大学数学系助手(1997年3月～1997年3月) 前橋工科大学工学部講師(1997年4月～2001年3月) 前橋工科大学工学部助教授(2001年4月～2007年3月) 前橋工科大学工学部准教授(2007年4月～2008年3月) 茨城大学教育学部准教授(2008年4月～2012年3月) 茨城大学教育学部教授(2012年4月～)
学位	博士(数学)[筑波大学]
受賞歴	The ISAAC Award for Young Scientists (2003年08月)
所属学会	日本数学会, 日本応用数理学会
専門分野	基礎解析学
教育研究概要	(キーワード)非線形楕円型境界値問題, 非線型境界条件, 変分法, 固有値問題, 符号不定係数, 分岐理論, 写像度, 人口動態論.
担当科目	(教養科目)身近な数学[数学の楽しみ] (専門科目)解析学A, 解析学C, 解析学の基礎 I/微分積分の基礎, 解析学D, 解析学B, 解析学の基礎 II, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)応用数理学特論, 数学総合研究, 応用数理学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

Kenichiro Umezu, "Global structure of supercritical bifurcation with turning points for the logistic elliptic equation with nonlinear boundary conditions", <i>Nonlinear Analysis: Theory, Methods & Applications</i> , 89, 250-266, 2013.
Kenichiro Umezu, "Bifurcation approach to a logistic elliptic equation with a homogeneous incoming flux boundary condition", <i>Journal of Differential Equations</i> , 252, 2, 1146-1168, 2012.

研究業績(2)学会発表など

Kenichiro Umezu, "On the effect of spatial heterogeneity in logistic type elliptic equations with

nonlinear boundary conditions”(The 9th AIMS Conference on Dynamical Systems, Differential Equations and Applications, 2012 年 07 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など

アメリカ オーランド・ハイアットリージェンシーグランドサイプレス[学会参加、発表](2012 年 6 月～7 月: 8 日間)

科学研究費補助金などの受領

「人口動態論に由来する吸収爆発混合型の非線形楕円型境界値問題の分岐解析」[科研費](代表)
(2010 年 04 月 01 日～2013 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 柳田 伸顯
------------------	----------

教員履歴など

現職	特任教授
生年月	1947年4月
学歴・職歴	東京工業大学理学系研究科博士課程(1978年)
学位	博士(理学)
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	代数的位相幾何学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)身近な数学[数学の楽しみ] (専門科目)代数学A, 確率統計概論, 代数学の基礎I, 幾何学の基礎II, 代数学B, 算数科内容研究, 代数学の基礎II, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)代数学特論, 数学総合研究, 代数学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

アメリカ シアトル・ワシントン大学[シンポジウム参加、資料収集](2012年7月～8月:6日間)
--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 伊藤 孝
------------------	---------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1964年10月
学歴・職歴	筑波大学地球科学研究科博士課程修了(1993年)
学位	博士(理学)
受賞歴	なし
所属学会	日本地学教育学会, 資源地質学会, 日本堆積学会, 日本地球化学会, 日本地質学会
専門分野	地質学 鉱床学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)身近な地球科学[「物語」から入る地学], 身近な地球科学[地球表層の環境とその変遷] (専門科目)基礎地学, 鉱物学, 地学実験A, 地学野外実習, 地学実験B, 初等理科内容研究, 地球科学演習, 気象学, 地学演習, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)地学特論, 自然科学総合研究, 理科授業設計, 地学特別実験

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>伊藤 孝・岡崎智鶴子・芝原暁彦・澤村 寛・三田直樹「伸縮自在印刷用フィルムを活用した立体地形モデルの作製とその教材化の試み」, 地質学雑誌, 119, 1, 39-44, 2013.</p> <p>Palike, H. et al. (34th author within totally 65 authors), "A Cenozoic record of the equatorial Pacific carbonate compensation depth", Nature, 488, 609-615, 2012.</p> <p>SHOICHI KIYOKAWA, TAKASHI ITO, MINORU IKEHARA, KOSEI E. YAMAGUCHI, SHOICHIRO KOGE and RYO SAKAMOTO, "Lateral variations in the lithology and organic chemistry of a black shale sequence on the Mesoproterozoic seafloor affected by hydrothermal processes: The Dixon Island Formation of the coastal Pilbara Terrane, Western Australia", Island Arc, 21, 2, 118-147, 2012.</p> <p>SHOICHI KIYOKAWA, TOMOMI NINOMIYA, TOMOAKI NAGATA, KAZUMASA OGURI, TAKASHI ITO, MINORU IKEHARA and KOSEI E. YAMAGUCHI, "Effects of tides and weather on sedimentation of iron-oxyhydroxides in a shallow-marine hydrothermal environment at Nagahama Bay, Satsuma Iwo-Jima Island, Kagoshima, southwest Japan", Island Arc, 21, 2, 66-78, 2012.</p> <p>Kiyokawa, S, Koge, S, Ito, T, Ikehara, M, Kitajima, F, Yamaguchi, KE and Suganuma, Y, "Preliminary report on the Dixon Island ? Cleaverville Drilling Project, Pilbara Craton, Western Australia",</p>
--

Geological Survey of Western Australia, Record, , 2012/14, 39p, 2012.

研究業績(2) 学会発表など

〈招待講演〉平成 24 年度小中学校理科実技研修会(講師・実技指導)(2012 年 08 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本地学教育学会 学会賞・学術奨励賞選考委員(2008 年 04 月～)

日本堆積学会 教育問題検討委員(2008 年 01 月～)

日本地学教育学会 編集委員(2006 年 09 月～)

[兼業]独立行政法人海洋研究開発機構 横須賀本部海底資源研究プロジェクト資源成因研究グループ[招聘主任研究員](2011 年 08 月～2013 年 03 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

ガーナ アクラ、スリーポイント、タルクワ・ガーナ大学、スリーポイント岬、タルクワ鉱山技術大学[研究打合せ、地質調査](2012 年 11 月～12 月:19 日間)

台湾 台北市・国立台湾師範大学[断層地形見学、研究打合せ、資料収集](2013 年 2 月～3 月:8 日間)

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 上栗 伸一
------------------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1977年6月
学歴・職歴	九州大学比較文化研究科博士課程修了(2005年03月) 北海道大学大学院理学研究科・研究員(2005年4月～2007年3月) 筑波大学大学院生命環境科学研究科・研究員(2007年4月～2008年3月) 日本学術振興会特別研究員(筑波大学)(2008年4月～2011年3月) 高知大学海洋コア総合研究センター・研究員(2011年4月～2012年3月) 茨城大学教育学部理科教育講座・准教授(2012年4月～)
学位	博士(理学)[九州大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本地学教育学会, 日本地質学会, 日本古生物学会
専門分野	層位・古生物学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)基礎地学, 地学実験A, 地学野外実習, 地学実験B, 地質学, 地球科学演習, 気象学, 地学演習 (大学院科目)地学特論, 自然科学総合研究, 理科授業設計, 地学特別実験

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>Heiko Paiko et al.(全65人中35番目), "A new Cenozoic record of equatorial Pacific carbonate accumulation and compensation depth", <i>Nature</i>, 488, 609-614, 2012.</p> <p>Bridget S. Wade, Vlasta Premec-Fucek, Shin-ichi, Kamikuri, Paul N. Pearson, "The successive extinctions of Eocene muricate planktonic foraminifera (<i>Morozovelloides</i> and <i>Acarinina</i>) and their stratigraphic utility for defining the base Priabonian", <i>Newsletters on Stratigraphy</i>, 78, 1-18, 2012.</p> <p>Shin-ichi Kamikuri, Theodore C. Moore, Mitchell Lyle, Kaoru Ogane, Noritoshi Suzuki., "Early and Middle Eocene radiolarian assemblages in the eastern equatorial Pacific Ocean (IODP Leg 320 Site U1331): faunal changes and implications for paleoceanography", <i>Marine Micropaleontology</i>, 98, 1-13, 2012.</p> <p>Shin-ichi Kamikuri, Theodore C. Moore, Mitchell Lyle, Kaoru Ogane, Noritoshi Suzuki, "Early Eocene to early Miocene radiolarian biostratigraphy for the low-latitude Pacific Ocean", <i>Stratigraphy</i>, 9, 77-108, 2012.</p>

Thomas Westerhold, Roy Wilkens, Heiko Paike, Mitch Lyle, Tom Dunkley Jones, Paul Bown, Ted Moore, Shin-ichi Kamikuri, "Revised composite depth scales and integration of IODP Sites U1331, U1332, U1333, U1334 and ODP Sites 1218, 1219, 1220", IODP Scientific Result, 320, 1-46, 2012.

Ted Moore, Shin-ichi Kamikuri, "Radiolarian stratigraphy across the Eocene/Oligocene boundary in the equatorial Pacific, Site 1218, U1333 and U1334.", IODP Scientific Result, 320, 1-137, 2012.

Shin-ichi Kamikuri, Bridget S. Wade, "Radiolarian magnetobiochronology and faunal turnover across the middle/late Eocene boundary and their implications for enhanced upwelling in the northwest Atlantic Ocean", Marine Micropaleontology, 88, 41-53, 2012.

Shin-ichi Kamikuri, Theodore C. Moore, Kaoru Ogane, Noritoshi Suzuki, Heiko Paiko, Hiroshi Nishi, "Early and middle Eocene radiolarian biostratigraphy, IODP Leg 320 Sites U1331, eastern equatorial Pacific.", IODP Scientific Result, 320, 1-9, 2012.

Shin-ichi Kamikuri, "Evolutionary changes in the fossil radiolarian *Stichocorys peregrina* lineage on the basis of biometry in the eastern equatorial Pacific (IODP Site U1335) and Northeast Pacific (ODP Site 887)", Marine Micropaleontology, 90, 13-28, 2012.

研究業績(2)学会発表など

, "Early to middle Eocene radiolarian biostratigraphy and faunal turnover in the equatorial Pacific Ocean" (Frontiers in Life & Earth Planetary Sciences, International workshop 2012, 2012 年)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 松川 寛
------------------	---------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1969 年 11 月
学歴・職歴	東京工業大学理工学研究科博士課程(1997 年) 千葉大学 助手(1997 年 4 月～2001 年 3 月) 茨城大学教育学部 助教授(2001 年 4 月～)
学位	博士(工学)[東京工業大学]
受賞歴	なし
所属学会	アメリカ化学会, 理科教育学会, 有機合成化学協会, 日本化学会
専門分野	有機化学 科学教育 環境科学 教科教育学
教育研究概要	合成有機化学をはじめとする基礎化学研究・大学化学教育における新しい取り組み・初等・中等化学教育における新規な教材開発等、教育学部ユニークの化学研究を目指している。
	(キーワード)有機合成化学 化学教育 科学教育
担当科目	(教養科目)身近な化学[化学と環境と生活] (専門科目)有機化学, 化学実験指導法/化学実験 I/化学実験 I, 化学実験 I, 環境化学, 初等理科内容研究, 基礎化学(中教科:理科)/基礎化学(環境コース), 初等理科実験観察内容研究, 有機化学演習, 化学実験 II, 化学演習, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)自然科学総合研究, 理科授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>Satoru MATSUKAWA, Sayaka Takahashi, Hiroshi Takahashi, "TBD-Catalyzed Trifluoromethylation of Carbonyl Compounds with (Trifluoromethyl)trimethylsilane", Synth. Commun., 43, 11, 1523-1529, 2012.</p> <p>, "TBD-Catalyzed Ring-Opening of Aziridines with Silylated Nucleophiles", Synth. Commun., 43, 3, 406-414, 2012.</p> <p>Satoru Matsukawa,* Takeru Harada and Shiori Yasuda, "Polystyrene-supported TBD catalyzed ring-opening of N-tosylaziridines with silylated nucleophiles", Organic & Biomolecular Chemistry, 10, 4886-4890, 2012.</p>
--

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

[出前授業]小学校理科教育推進事業「特別講師派遣」 桜川市立大國小学校(2012 年度実施)
 [出前授業]小学校理科教育推進事業「特別講師派遣」 五霞町立五霞西小学校(2012 年度実施)
 [茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]小学校理科教育推進事業「科学自由研究指導」 女性プ
 ラザ(行方市)(2012 年度実施)
 [出前授業]出前授業 「花火の科学」 大子清流高等学校(2012 年度実施)
 [出前授業]出前授業 「花火の科学」 水戸第二高等学校(2012 年度実施)
 茨城県立農業大学校 非常勤講師(2012 年 04 月)
 [非常勤講師]茨城県立農業大学校[非常勤講師](2012 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 永尾 敬一
------------------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1973 年 9 月
学歴・職歴	東京大学総合文化研究科博士課程修了(2002 年) 高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 協力研究員(2002 年 4 月～2003 年 1 月) 高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 研究機関研究員(2003 年 1 月～2005 年 3 月) 茨城大学 教育学部 理科教育教室 助教授(2005 年 4 月～2007 年 3 月) 茨城大学 教育学部 理科教育教室 准教授(2007 年 4 月～)
学位	学術博士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本物理学会
専門分野	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)基礎物理学, 電磁気学, 物理学演習 I, 物理学演習 B, 卒業研究(教育: 4 単位) (大学院科目)自然科学総合研究, 理科授業設計, 物理学特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

Keiichi Nagao and Holger Bech Nielsen, "Theory Including Future Not Excluded : Formulation of Complex Action Theory II", Prog. Theor. Exp. Phys., 2013, 2, 023B04, 2013. Keiichi Nagao, Holger Bech Nielsen, "Momentum and Hamiltonian in Complex Action Theory", International Journal of Modern Physics A, 27, 14, 1250076-1 - 1250076-30, 2012.

研究業績(2)学会発表など

Keiichi Nagao and Holger Bech Nielsen, "Correspondence between future-included and future-not-included theories", Proceedings to the 15th workshop "What Comes Beyond the Standard Models", Bled, Slovenia, Jul.9-19, 2012, , 86-93, 2012. Keiichi Nagao, "Formulation of complex action theory" (Bled 2012: What comes Beyond the Standard Models, 2012 年 07 月)

Keiichi Nagao, 「Theory Including Future Not Excluded」(KEK 理論研究会 2013・2013 年 03 月)
 永尾 敬一, 「Theory Including Future Not Excluded」(京都大学理学部 素粒子論研究室セミナー・
 2013 年 02 月)
 Keiichi Nagao and Holger Bech Nielsen, 「Theory Including Future Not Excluded」(日本物理学会 2012
 年秋季大会・2012 年 09 月)
 永尾 敬一, 「Momentum and Hamiltonian in Complex Action Theory」(茨城大学理学部素粒子論研究
 室セミナー・2012 年 06 月)
 Keiichi Nagao, 「Formulation of Complex Action Theory」(東北大学理学部素粒子論研究室セミナー・
 2012 年 05 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など

スロベニア ブレッド・Plemelj's house[学会参加](2012 年 7 月:11 日間)
 クロアチア ザグレブ、オパティア・ルジャーボスコビック研究所、アーカニンアパート[発表、研究打合
 せ](2012 年 7 月～8 月:28 日間)
 デンマーク コペンハーゲン・ニールス・ボーア研究所[研究打合せ](2013 年 1 月～2 月:28 日間)

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 棗田 孝晴
------------------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1967年9月
学歴・職歴	<p>京都大学理学研究科博士後期課程単位取得満期退学(1998年03月)</p> <p>財団法人自然環境研究センター 研究員(1999年4月～1999年8月)</p> <p>地球・人間環境フォーラム 客員研究員(2000年4月～2001年3月)</p> <p>山梨学院大学 非常勤講師(2000年4月～2007年3月)</p> <p>富士常葉大学附属環境防災研究所 研究員(環境防災学部 非常勤講師兼任) (2006年4月～2008年3月)</p> <p>独立行政法人水産総合研究センター 中央水産研究所 内水面研究部 生態系保全研究室 研究補助／研究支援職員(2008年4月～2009年3月)</p> <p>千葉科学大学 危機管理学部 非常勤講師(2008年9月～2009年3月)</p> <p>千葉科学大学 危機管理学部 専任講師(2009年4月～2013年3月)</p>
学位	博士(理学)[京都大学]
受賞歴	平成22年度 日本水産学会論文賞(公益社団法人 日本水産学会)(2011年03月29日)
所属学会	日本水産学会, 日本生態学会, 応用生態工学会, 日本魚類学会, 日本動物行動学会
専門分野	動物生態学 河川生態学 魚類生態学 保全生物学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>Takaharu Natsumeda, Tetsuya Tsuruta, Hirohiko Takeshima, Satoshi Awata & Keiichiro Iguchi, "Variation in morphological characteristics of Japanese fluvial sculpin related to different environmental conditions in a single river system in eastern Japan", Ecology of Freshwater Fish, online first, 2013.</p> <p>Takaharu Natsumeda, Masahide Yuma & Michio Hori, "Variation in life-history traits of male Japanese fluvial sculpin <i>Cottus pollux</i> in relation to nest abundance along a stream course", Environmental Biology of Fishes, online first, 2013.</p> <p>棗田孝晴, 瀬谷政貴「利根川最下流域に流入する感潮河川最下流部の堰が魚類相に及ぼす影響」, 応用生態工学, 15, 2, 187-195, 2012.</p>

Takaharu Natsumeda, Tetsuya Tsuruta, Hirohiko Takeshima & Keiichiro Iguchi, "Diet and food selectivity of Japanese fluvial sculpin *Cottus pollux* (large-egg type) in the upper regions of the Chikuma River", *Ichthyological Research*, 59, 354-364, 2012.

Takaharu Natsumeda, Seichi Mori & Masahide Yuma, "Size-mediated dominance and aggressive behavior of male Japanese fluvial sculpin *Cottus pollux* (Pisces:Cottidae) reduce nest-site abundance and mating success of conspecific rivals", *Journal of Ethology*, 30, 239-245, 2012.

Takaharu Natsumeda, "Human and Animal Matings: Strategies, Gender Differences and Environmental Influences (M. Nakamura & T. Ito, eds)", NOVA Science Publishers Inc., 55-73, 2013.

研究業績(2)学会発表など

井口恵一朗・宮原寿恵・森田健太郎・棗田孝晴・稲葉修・河村功一, 「阿武隈山地内に隔離して生息する短鱭のイワナの隔離個体群」(2012 年度日本魚類学会年会・2012 年 09 月)

棗田孝晴・井口恵一朗, 「岩盤河川におけるカジカ大卵型の移動個体と定住個体を分ける要因」(2012 年度日本魚類学会年会・2012 年 09 月)

Takaharu Natsumeda, Tetsuya Tsuruta, Hirohiko Takeshima, Satoshi Awata, Kei'ichiro Iguchi, "Local adaptation in morphological characteristics of Japanese fluvial sculpin related to different environmental conditions in a single river system, eastern Japan" (International Conference on Ecology & Conservation of Freshwater Fish (Vila Nova de Cerveira, Portugal), 2012 年 05 月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本魚類学会 日本魚類学会自然保護委員会 希少淡水魚問題検討部会 委員・(2011 年 01 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「遊泳能力の低い冷水性底生魚を用いた、温暖化にともなう水温上昇の影響評価手法の確立」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2010 年 04 月～2013 年 03 月)

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 小野 義隆
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1949年10月
学歴・職歴	パデュウ大学大学院農学研究科博士課程修了(1978年) 東京都立豊島高等学校(定時制)教諭(1974年4月～1975年12月) 茨城大学助手(教育学部)(1980年4月～) 茨城大学講師(教育学部)(1985年4月～) 茨城大学助教授(教育学部)(1986年4月～) 茨城大学教授(教育学部)(1999年10月～) 茨城大学教授(教育学部、大学院理工学研究科後期課程兼務)(2000年4月～)
学位	農学博士[パデュウ大学大学院]
受賞歴	日本菌学会菌学研究奨励賞(1991年), 秩父宮記念学術賞(ヒマラヤとその周辺地域の隠花植物調査隊、共同受賞)(1993年), 日本菌学会賞(2006年)
所属学会	日本菌学会, アメリカ菌学会, イギリス菌学会, 日本植物病理学会, 日本生物教育学会, 日本進化学会
専門分野	系統・分類 植物保護
教育研究概要	植物サビ病菌の分類学的・生態学的研究 教育:基礎生物学、生物学実験、生物学野外実習、植物学、植物分類学、系統分類学特論(大学院修士課程)、真菌系統分類学(大学院博士後期課程) 研究:植物寄生菌(特にさび病菌)の生態学および系統分類学的研究 (キーワード)植物寄生菌、サビキン、同定、分類、宿主特異性、生活環、多様性、サビキン相、地理的分布、分子系統
担当科目	(教養科目)物質・生命系科目[自然と人間社会における真菌] (専門科目)基礎生物学, 植物分類学, 生物学実験, 生物学野外実習, 植物学演習, 初等理科内容研究, 生物学演習, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)自然科学総合研究, 理科授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

Ono, Y. *Ampelocissus* plants harbor *Phakopsora* rust pathogens of grapevines and Boston Ivy, Bulletin of the College of Education, Ibaraki University (Natural Sciences) 62, 1-7, 2013.

Pota S, Chatasiri S, Ono Y, Yamaoka Y, Kakishima M. Taxonomy of two host specialized *Phakopsora* populations on *Meliosma* in Japan. Mycoscience 54, 1, 19-28, 2013.

Ono, Y. New geographic distribution records and assumed microcyclic life cycle of *Triphragmiopsis jeffersoniae* (Pucciniales) Mycological Progress, 2012.

Ono, Y. *Kuehneola warburgiana* comb. nov. (*Phragmidiaceae*, *Pucciniales*), causing witches' brooms on *Rosa bracteata*. Mycotaxon 121, 207-213, 2012.

Ono Y, Chatasiri S, Pota S, Yamaoka Y. *Phakopsora montana*, another grapevine leaf rust pathogen in Japan. Journal of General Plant Pathology 78, 338-347, 2012.

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

日本菌学会 理事(2010年4月～2013年3月), 日本菌学会編集委員会・編集委員長, 事務局長(2011年04月～2013年03月)

国際自然保護連合 国際自然保護連合 種保存委員会 サビキン・クロボキン専門委員会・(2009年11月～)

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)] 茨城県北の植物, 茨城大学 茨城県北ジオパーク インタープリター講座 (2012年度実施)

[出前授業] 水戸第二高等学校 (2012年度実施)

[その他] 茨城県教育庁義務教育課 [助言者] (2012年9月)

[その他] 茨城県教育庁義務教育課 [助言者] (2012年11月)

[兼業] 株式会社茨城放送 [番組審議委員] (2008年09月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 大辻 永
------------------	---------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1966年7月
学歴・職歴	東京工業大学総合理工学研究科博士課程中退(1995年03月) 千葉県立千葉高等学校(非常勤講師)(1991年4月～1994年3月) 茨城大学講師(教育学部 専任)(1995年4月～1997年9月) 茨城大学助教授(教育学部)(1997年10月～2004年3月) 国立大学法人茨城大学助教授(教育学部 改組による)(2004年4月～2007年3月) 国立大学法人茨城大学准教授(教育学部)(2007年4月～)
学位	修士(教育学)[千葉大学]
受賞歴	(East-Asian Association for Science Education)(2011年10月28日), 日本教育工学会研究奨励賞(1995年), 日本科学教育学会 科学教育研究奨励賞(1994年)
所属学会	日本環境教育学会, 日本科学技術社会論学会, ASERA (Australian Science Education Research Association), 日本高等教育学会, National Association of Geoscience Teachers, 日本教育工学会, 日本理科教育学会, 日本認知科学会, 日本科学教育学会, 日本地学教育学会, 東亜科学教育学会
専門分野	科学教育
教育研究概要	科学教育の周辺。
	(キーワード) 科学教育の文化研究
担当科目	(教養科目) 身近な地球科学[「物語」から入る地学], 主題別ゼミナール[サイエンス・コミュニケーション・スキル] (専門科目) 中等理科内容研究, 初等理科教育法研究, 理科教育法特講A, 初等理科教育法研究, 理科教育演習 I, 科学を俯瞰する, 理科教育演習 A, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目) 理科教育学特論 I(初等理科教育論), 理科教育学演習 I, 自然科学総合研究, 理科授業設計, 理科教育学演習 II, サステイナビリティ教育演習 I

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

荒川智, 田中健次, 村野井均, 村山朝子, 渡部玲二郎, 大辻永, 郡司晴元, 西川陽子「茨城大学教育学部付属学校園におけるサステイナビリティ教育の実態調査とESD カレンダーの試作」, 茨城大学教育学部紀要. 人文・社会科学・芸術, , 61, 41-54, 2012.

大辻永「自然災害と理科授業『新しい学びを拓く』第9章第6節」, ミネルヴァ書房, 233-242, 2013.

研究業績(2) 学会発表など

Otsuji, H., "Let's talk on and evaluate over a short lesson "Wondrous Forest"" (63rd KASE (Korean Association for Science Education) winter, 2013 年 02 月)

Hisashi Otsuji, Elisabeth Taylor and Peter C. Taylor, "Re-Examining Japanese Science Education, From a Mahayana Buddhism and Bushido Point of Views" (Seventh International Conference on Science, Mathematics & Technology Education, 2012 年 11 月)

木村美智子・大辻永・郡司晴元・伊藤孝・伊藤哲司・蓮井誠一郎・西川陽子, 「簡易環境放射線測定器を用いて児童・生徒・教師・市民らが自ら計測活動を行う放射線・環境リテラシー育成プログラムの開発と実施」(茨城大学 復興支援調査・研究プロジェクト成果報告会・2013 年 03 月)

齋藤馨・中村和彦・渡辺隆一・藤原章雄・岩岡正博・中山雅哉・大辻永・小林博樹, 「インターネット森林観察ウェブサイトの構築」(第 124 回日本森林学会大会・2013 年 03 月)

大辻永, 「インターネット森林観察サイトの運用と教育利用」(第 2 回サイバーフォレストシンポジウム、第 2 部:子ども環境学科研についてのパネルディスカッション・2013 年 02 月)

大辻永, 「金山掘りのサステナビリティ:信玄堤、水戸三大江堰、三年寝太郎」(第1回あつまる,まじわる,つながるー地域のサステナ活動をつなぐポスター発表ワークショップ・2012 年 11 月)

大辻永ほか 10 名, 「「見えない環境」を実際に測定する活動を通し環境感受性を育む試み」(第1回あつまる,まじわる,つながるー地域のサステナ活動をつなぐポスター発表ワークショップ・2012 年 11 月)

郡司晴元・大辻永, 「SDカレンダー作成研修支援のためのデータの試作」(日本環境共生学会第 15 回学術大会・2012 年 09 月)

大辻永, 「エラトステネスの背景:理科教員養成において科学の文化的背景を教授する試み」(日本地学教育学会第 66 回全国大会(岩手大会)・2012 年 08 月)

大辻永, 「田老の「油断」の背後で」(日本地学教育学会第 66 回全国大会(岩手大会)・2012 年 08 月)

<招待講演> 講演「学校の防災機能を高めるために」, 平成 24 年度(茨城県)市町村教育委員会教育委員 研究協議会() (2012 年 08 月)

<招待講演> 学校の防災機能を高めるために. 依頼講演「平成 24 年度茨城県防災教室指導者講習」茨城県県西生涯学習センター() (2012 年 06 月)

<基調講演> International Conference on Science and Mathematics Education 2012 (Challenge to the Ancient Greeks: A Transformative pre-service primary teacher training to emerge the nature of science.) (2012 年 05 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

[その他] 静岡大学理学部「理科教育法 IV」非常勤講師 2012.8.22-24., 静岡大学理学部(2012 年度実施)

[出前授業](2012 年度実施)

[出前授業](2012 年度実施)

[出前授業]水戸市立城東小学校出前授業 「サケ」から広がる世界(1-6年生,生活科・総合的な学習の時間 2012.12.13), 水戸市立城東小学校(2012 年度実施)

[出前授業]竜巻、台風等の発生のメカニズム, 筑波東中学校・第8学年つくばスタイル科(30 名 2012.12.12).(出前授業), 筑波東中学校(2012 年度実施)

[出前授業]水戸市立見川小学校出前授業 サケってどんな魚だろう(2013.2.27 9:35-10:20 270 名), 水戸市立見川小学校(2012 年度実施)

「子どもの科学技術・理科に対する関心を高める家庭環境の実現のための保護者に対する科学教室等の取組のあり方についての調査研究」(共同研究): (2003 年～)

静岡大学 理学部 非常勤講師(2012 年 08 月)

[非常勤講師]静岡大学 理学部[非常勤講師](2012 年 08 月)

新井英靖・田中健次・大辻永. 2012. 学校の防災機能を高めるために. 依頼講演「平成 24 年度茨城県防災教室指導者講習」茨城県県西生涯学習センター 2012.6.12 11:15-12:15.[茨城県教育委員会](2012 年 06 月), 大辻永, 2010, 見えないところにそれはある, 茨城大学教育学部同窓会会報 43, 6-7, H22.12.27[茨城大学教育学部同窓会会報 執筆](2010 年 12 月～), 茨城高等学校・中学校 第7回 PTA 研修会 講演「地球温暖化」茨城大学人文学部 10 番教室 約 130 名[茨城高等学校・中学校](2009 年 11 月～), 日食観察会 1-6 年生 142 名[水戸市立見川小学校](2009 年 07 月～), わくわくタイム(総合的な学習)講師 2008 から[水戸市立緑岡小学校](2009 年 05 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

オーストラリア パース・カーティン大学[研究打ち合わせ](2012 年 4 月～5 月:4 日間)

フィリピン ダバオ・ミンダナオ大学[国際会議参加、講演](2012 年 5 月:3 日間)

韓国 光州・朝鮮大学[研究打合せ、調査研究、研究協議](2012 年 10 月:3 日間)

カナダ バンクーバー・サイエンス・ワールド、ノースバンクーバーアウトドアスクール、ノースバンクーバー学校区[研究協議、小学校視察](2012 年 11 月～12 月:6 日間)

韓国 光州市、ソウル市・朝鮮大学校、梨花女子大学校[研究打合せ、資料収集、学会参加](2013 年 2 月:5 日間)

科学研究費補助金などの受領

「科学教育授業実践にみる仏教の影響(The Influence of Buddhism on the Practice of Science Education in Japan)」[科研費]萌芽研究(代表)(2012 年 04 月 01 日～2014 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 矢島 裕介
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1953年8月
学歴・職歴	東京大学理学系研究科博士課程修了(1982年) 日立製作所(株)(1982年4月～2003年3月) フ라운ホーファー応用固体物理学研究所客員研究員(1988年2月～1989年1月) 茨城大学教育学部教授(2003年4月～)
学位	理学博士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	応用物理学会, 日本物理教育学会
専門分野	物性
教育研究概要	物理学
	熱物理学, 物理教育
担当科目	(教養科目) 認知・数理系科目[暮らしと数理] (専門科目) 熱学概論, 初等理科内容研究, 初等理科実験観察内容研究, 量子力学, 物理学演習 I, 物理学演習 A, 物理学実験指導法/物理学実験 I/II, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目) 物理学特別実験, 自然科学総合研究, 理科授業設計

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

小暮香織, 矢島裕介「茨城大学のエネルギーマネジメント ～大学キャンパスの省エネルギー可能性～」, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), , 62, 17-32, 2013.

Yusuke Yajima, "A Note on the Endoreversible Thermal Processes", Bulletin of the College of Education Ibaraki University (Natural Sciences), , 62, 9-16, 2013.

研究業績(2) 学会発表など**研究業績(3) 芸術・体育系の活動****社会的活動、地域貢献など**

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 山本 勝博
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1948年11月
学歴・職歴	兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科博士課程(2003年) 大阪府立高等学校講師(1971年4月～1971年9月) 大阪府立高等学校教諭(1971年10月～1992年3月) 大阪府科学教育センター・主任研究員(1992年4月～1993年3月) 大阪府教育センター・主任研究員(1993年4月～2005年3月) 大阪府教育センター・主任研究員(化学リーダー)(2005年4月～2006年3月) 教授(2006年4月～)
学位	博士(学校教育学) 修士(工学)[兵庫教育大学大学院連合学校]
受賞歴	教育功労賞(日本理化学協会)(2005年08月), 化学教育有功賞(日本化学会)(2003年03月)
所属学会	日本科学教育学会, 日本理科教育学会, 日本化学会, 大阪府高等学校理化教育研究会
専門分野	科学教育
教育研究概要	理科教育、化学教育、環境教育、水環境科学、伝統産業、最先端科学、教材開発 環境教育に活用できる水環境調査(茨城県の河川や湧水等) 地域素材を活用した教材開発(陶芸や紙すき、染色等伝統産業に関わったもの) 最新の科学技術を取り入れた教材開発(色素増感太陽電池の環境教育への活用) 内容が豊富で理解しやすい理科実験教材、教具の開発(結晶育成装置の製作) (キーワード)理科教育、化学教育、環境教育、水環境科学
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[サイエンス・コミュニケーション・スキル] (専門科目)中等理科内容研究, 初等理科教育法研究, 初等理科教育法研究, 保育内容の研究(環境), 中等理科教育法研究, 理科教科論, 理科教育演習 I, 理科教育演習 B, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)理科教育学特論 I(初等理科教育論), 理科教育学演習 I, 自然科学総合研究, 理科授業設計, 理科教育学演習 II, 理科教育学特論 II(理科教育原理)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

中林俊明・山本勝博「小学校第5学年「天気の変化」における指導法に関する考察－低気圧を活用する問題点と総合的な気象情報を用いた学習活動について－」, 茨城大学教育実践研究, 31, 61-74,

2012.

研究業績(2)学会発表など

五十川淳一・山本勝博,「地域素材を活用した水環境学習ネットワークづくり」(日本科学教育学会 第 36 回年会・2012 年 08 月)

斉賀勝也・山本勝博,「塩化ナトリウムの X 線回折を用いた格子定数の求め方」(日本科学教育学会 第 36 回年会・2012 年 08 月)

高橋三男・山本勝博他 11 名,「USB データーロガーを使った酸素センサのマルチ計測ローソクの燃焼」(日本科学教育学会 第 36 回年会・2012 年 08 月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本理科教育学会 理事(2006 年 04 月～)

大阪府高等学校理化教育研究会 研究会顧問(2006 年 04 月～)

附属小学校の授業研究会において共同研究者として、事前打ち合わせおよび発表当日の指導助言を行う予定である。今年度は、平成 19 年 6 月 7 日(木)五島浩一教諭、佐藤義明教諭および平成 20 年 2 月 1 日(金)石川豊教諭を担当する。[茨城大学教育学部附属小学校](2007 年 04 月～), 附属幼稚園の親子の体験活動である、「どきどき体験ー草木染めー」を 2006 年度から実施している。参加者は、2006 年度は 70 名、2007 年度は 150 名であった。[茨城大学教育学部附属幼稚園](2006 年 04 月～), 附属中学校の理科授業の公開研究会において共同研究者として、発表内容や発表論文に関する指導を行い、発表当日は指導助言を行った。2006 年度、2007 年度と実施している。[茨城大学教育学部附属中学校](2006 年 04 月～), 茨城県教育研究連盟研究集会の発表会(理科部会)における指導助言を行った。2006 年 10 月 14 日(土)、2007 年 10 月 13 日(土)実施した。[茨城県教育研究連盟研究集会](2006 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 藤田 文子
------------------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1957年9月
学歴・職歴	筑波大学教育研究科博士課程単位取得満期退学(1995年)
学位	博士[常磐大学]
受賞歴	推奨授業の候補に推薦される。(2007年07月), 教養教育における推奨授業の候補(2004年), 全日本合唱連盟関東支部合唱コンクール茨城県大会銅賞受賞(1981年09月)
所属学会	音楽教育史学会, 教育実践学会, 教育哲学会, 日本教育方法学会, 日本教育学会, 教育史学会, 日本音楽教育学会
専門分野	音楽科教育、教育学
教育研究概要	(キーワード)フレーベルの音楽教育思想、小・中学校の音楽科教育、教員養成大学における音楽科教育の授業研究、フレーベルの教育思想
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[音楽を学ぶ意味], 人間と文学・芸術[合唱] (専門科目)独唱(選択必修), 初等音楽科教育法研究, 独唱, 音楽科教育法研究III, 独唱, 初等音楽科教育法研究, 独唱 (大学院科目)音楽文化総合研究, 音楽科教育演習, 音楽教育授業設計, 音楽科教育特論II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

三次撰子・藤田文子「小学校音楽科における歌唱指導に関する研究—第4学年「とんび」の学習を通して—」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学),62,89-102,2013.

研究業績(2)学会発表など**研究業績(3)芸術・体育系の活動**

<芸術系の活動・建築作品等>茨城演奏家連盟第15回定期演奏会ドナウディ作曲「限りなく優雅な絵姿」を独唱した。ヴェルディ作曲オペラ“椿姫”より「パリを離れて」などを三重唱(ヴィオレッタ役)した。
(2013年02月)

<芸術系の活動・建築作品等>グループ・カンパネラ32回記念ヴォーカル・コンサートにて、ヴェルディ作曲オペラ「イル・トロヴァトーレ」より“夜は静かに〜このうれしさは”, “恋はばら色の翼に乗って”を独唱

した。(2012 年 06 月)

社会的活動、地域貢献など

教育実践学会 常任理事(2006 年 10 月～)

教育実践学会 理事(2001 年 06 月～)

[公開講座]茨城大学教育学部附属中学校公開授業研究会共同研究者(平成12年度実施)

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]

教員免許状更新講習 講師(2012 年 08 月)

[兼業]教員免許状更新講習[講師](2012 年 08 月)

[その他]

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 神部 智
------------------	---------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1963年5月
学歴・職歴	ヘルシンキ大学大学院音楽研究科博士課程修了(2005年)
学位	博士(音楽学)(Ph.D. in Musicology)[ヘルシンキ大学]
受賞歴	なし
所属学会	International Semiotics Institute, 美学会, 日本音楽学会, 音楽表現学会, 日本シベリウス協会
専門分野	音楽学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目) 主題別ゼミナール[音楽を学ぶ意味] (専門科目) 音楽史, ピアノ, ピアノ(必修・伴奏を含む), 初等音楽科内容研究, 音楽学 I, ピアノ (大学院科目) 音楽文化総合研究, 音楽学研究, 音楽教育授業設計, 音楽学演習

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

<p>「シベリウス<交響曲第1番>」, ミニチュアスコア(音楽之友社), , 2013.</p> <p>「ピエタリ・インキネンのシベリウス・チクルス シベリウス交響曲第1番～第7番」, 日本フィルハーモニー交響楽団 Subscription Concerts, , 2013.</p> <p>「シベリウス<ヴァイオリン協奏曲>」, 「フィルハーモニー」(NHK交響楽団機関誌), 84, 9, 30-31, 2012.</p> <p>「シベリウス<交響曲第5番>ほか」, 藝大フィルハーモニア第353回定期演奏会, , 2012.</p> <p>「スウェーデン放送合唱団 日本公演:ラフマニノフ<晩?>ほか」, , , 2012.</p> <p>「シベリウス<ヴァイオリン協奏曲>」, ミニチュア・スコア(音楽之友社), , 2012.</p>
--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

日本シベリウス協会 理事(2001年12月～)

日本教育大学協会全国音楽部門 モデル・コア・カリキュラム検討プロジェクト・委員(2006年07月～)

[出前授業]茨城県立水戸第二高等学校[講師](2007年07月～)

[非常勤講師]宇都宮大学[非常勤講師](2006年10月～)

[出前授業]常陸大田高校[講師](2003年07月～)

[その他]日本シベリウス協会[理事](2000年12月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 守山 光三
------------------	----------

教員履歴など

現 職	特任教授
生年月	1944 年 10 月
学歴・職歴	
学位	
学位	
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)合奏, ソルフェージュ II, 管打楽器, 指揮法, 管打楽器, 卒業研究(教育:4 単位)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 佐藤 篤
------------------	---------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1949年5月
学歴・職歴	東京芸術大学音楽研究科修士課程修了(1974年)
学位	芸術学修士[東京芸術大学]
受賞歴	名誉博士号(2000年), 山田康子基金(1996年), 山田康子基金(1991年), ヴィオッティ国際コンクールディプロマ・ディ・フィナリスタ(1981年), ハエン国際ピアノコンクール第3位入賞(1977年), 安宅賞(1972年)
所属学会	全日本ピアノ指導員協会, 茨城演奏家連盟, 日本演奏連盟, 日本ピアノ教育連盟
専門分野	芸術, 音楽 ピアノ
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目) 主題別ゼミナール[音楽を学ぶ意味] (専門科目) ピアノ, ソルフェージュ I, 初等音楽科内容研究, ピアノ(必修・伴奏を含む), ピアノ, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目) 音楽文化総合研究, 器楽研究, 音楽教育授業設計, 器楽演習

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

<芸術系の活動・建築作品等> 佐藤篤ピアノリサイタル水戸公演(2012年10月) 同・東京公演(2012年11月)

社会的活動、地域貢献など

茨城演奏家連盟会長

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 田中 健次
------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1954 年 3 月
学歴・職歴	国立音楽大学音楽研究科修士課程修了(1980 年) カシオ計算機株式会社営業開発本部電子楽器企画部(1980 年 4 月～1982 年 3 月) 日本ハモンドオルガン株式会社 音楽教育プログラム企画(契約)(1983 年 4 月～1988 年 3 月) 株式会社サウンドスタッフプロデューサー(1985 年 4 月～1995 年 3 月) 佐賀大学教育学部助教授(1995 年 4 月～1996 年 9 月) 佐賀大学文化教育学教授 (2003 年より茨城大学併任)(1996 年 10 月～2003 年 3 月) 茨城大学教育学部教授(2002 年 10 月～)
学位	博士(文学)[大阪大学大学院 文学研究科]
受賞歴	なし
所属学会	国際コンピュータ ミュージック学会(International Society of Computer Music), 国際音楽教育学会(International society of Music Education)(ISME), 東洋音楽学会, 日本音楽教育学会
専門分野	音楽教育学 伝承文化研究
教育研究概要	音楽教育、音楽産業、日本の音楽文化 (キーワード)
担当科目	(教養科目) 主題別ゼミナール[音楽を学ぶ意味] (専門科目) 初等音楽科教育法研究, 初等音楽科教育法研究, 音楽科教育法研究 II, 初等音楽科教育法研究, 音楽科教育法研究 I, 初等音楽科教育法研究, 保育内容の研究(表現) (大学院科目) 音楽科教育研究法, 音楽文化総合研究, 音楽科教育特論 I, 音楽教育授業設計

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

「授業で使えるエピソード 音楽分野 富山清琴さん」, 『道徳教育』, 52, 653, 11, 2012.
田中健次「うたの力-近代日本の教育が音楽に求めたもの-」, 茨城県教育研究会会報, , 159 号, 2012.
田中健次、徳丸吉彦、富山清琴、野川美穂子「『地歌・箏曲の世界—今、甦る初代富山清琴の芸談

一』, 勉誠社, 1-2,245-272, 2012.

研究業績(2)学会発表など

- 〈その他〉財団法人音楽文化創造「平成 24 年度生涯学習音楽指導員養成講習会 C 級クラス」(講師「音楽産業論」)(2013 年 03 月)
- 〈招待講演〉山口県防府市小中学校研究会音楽研修会主催「音楽研究会」(講師「音楽科教育におけるコンピュータ活用」)(2013 年 02 月)
- 〈その他〉長崎県島原市音楽教育研究部会小・中学校合同研修会(研修会「音楽づくり・創作」講師)(2012 年 12 月)
- 〈招待講演〉第 28 回東日本小学校管楽器教育研究会大会・茨城大会(記念講演者(タイトル:「『楽』の『器』が音楽教育に運ぶもの」))(2012 年 11 月)
- 〈パネリスト〉静岡文化芸術大学主催「キーボードと出会うコンサートとフォーラム」フォーラム「オルガンの文化史」(パネリスト)(2012 年 10 月)
- 〈企画・運営〉財団法人音楽文化創造主催「FORUM in 国際音楽の日 浜松 2012」(分科会「楽器体験 楽器ってなあに?」)(2012 年 09 月)
- 〈招待講演〉茨城県教育研究会総会・研修会(講師 テーマ「うたの力ー近代日本の教育が音楽に求めたもの」)(2012 年 05 月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- 聖徳大学大学院音楽文化研究科 学位論文(博士)(学位申請者及びタイトル:津田正之「戦後沖縄の音楽教育に関する研究」)外部審査委員(2012 年 09 月)
- [非常勤講師]埼玉大学教育学部[非常勤講師](2012 年 11 月)
- [その他]聖徳大学大学院音楽文化研究科[学位論文(博士)(学位申請者及びタイトル:津田正之「戦後沖縄の音楽教育に関する研究」)外部審査委員](2012 年 09 月)
- [非常勤講師]島根大学教育学部大学院[非常勤講師](2012 年 08 月～2012 年 09 月)
- [非常勤講師]早稲田大学エクステンションセンター[オープンカレッジ講師](2012 年 08 月～2012 年 09 月)
- [兼業]放送大学[非常勤講師](2007 年 04 月～)
- [非常勤講師]放送大学[大学院特別講師](2006 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

- 台湾 台北・故宮博物館、台湾大学民族音楽研究所、台湾師範大学[資料収集、意見交換](2012 年 10 月:2 日間)
- 韓国 釜山・国立釜山大学校[東亜細亜楽律学会参加](2012 年 12 月:3 日間)

科学研究費補助金などの受領

「「震災ショックをもつ「児童の心的ケア」のための継続・拡大研究」[平成 24 年度茨城大学復興支援・戦略的地域連携プロジェクト](代表)(2012 年 08 月 01 日～2013 年 03 月 31 日)

「「日本伝統音楽のデジタル教材化」[茨城大学学術研究推進経費](代表)(2012 年 07 月 27 日～2013 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 谷川 佳幸
------------------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1964年8月
学歴・職歴	東京芸術大学音楽研究科修士課程修了(1995年03月)
学位	修士[東京芸術大学]
受賞歴	第2回藤沢オペラコンクール奨励賞
所属学会	
専門分野	芸術音楽、声楽
教育研究概要	(キーワード)オペラ、声楽
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[音楽を学ぶ意味], 人間と文学・芸術[台本と音楽], 人間・文化系科目[水戸芸術館で学ぶ, 音楽, 演劇, 美術] (専門科目)初等音楽科内容研究, 独唱, 独唱(選択必修), 独唱, 独唱, 合唱, 独唱, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)音楽文化総合研究, 声楽研究, 音楽教育授業設計, 声楽演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

<p><芸術系の活動・建築作品等>TEN15 カンツォーネ(2013年03月)</p> <p><芸術系の活動・建築作品等>シャンソンフランセーズ(2013年03月)</p> <p><芸術系の活動・建築作品等>茨城演奏家連盟定期演奏会(2013年02月)</p> <p><芸術系の活動・建築作品等>ニューイヤーオペラコンサート(2013年01月)</p> <p><芸術系の活動・建築作品等>クリスマスコンサート(2012年12月)</p> <p><芸術系の活動・建築作品等>クリスマスコンサート(2012年12月)</p> <p><芸術系の活動・建築作品等>フランスオペラの世界(2012年12月)</p> <p><芸術系の活動・建築作品等>平井秀明 歌劇「かぐや姫」(2012年11月)</p> <p><芸術系の活動・建築作品等>都民交響楽団コンサート(2012年11月)</p> <p><審査員>茨城新人オーディション本選会(2012年10月)</p>

<芸術系の活動・建築作品等> モーツァルト 「レクイエム」(2012 年 09 月)
 <芸術系の活動・建築作品等> Amour2000 第 70 回サロンコンサート(2012 年 09 月)
 <芸術系の活動・建築作品等> 第6回絵のあるコンサート(2012 年 09 月)
 <芸術系の活動・建築作品等> シャピロ 歌劇「地獄変」(2012 年 08 月)
 <芸術系の活動・建築作品等> シャピロ 歌劇「地獄変」(2012 年 08 月)
 <芸術系の活動・建築作品等> シャピロ 歌劇「地獄変」(2012 年 08 月)
 <芸術系の活動・建築作品等> 永山病院コンサート(2012 年 07 月)
 <審査員> 茨城新人オーディション予選会(2012 年 06 月)
 <芸術系の活動・建築作品等> ベートーヴェン 交響曲第9番(2012 年 06 月)
 <芸術系の活動・建築作品等> ベートーヴェン 交響曲第9番(2012 年 06 月)
 <芸術系の活動・建築作品等> ヴェルディ 歌劇「椿姫」(2012 年 05 月)
 <芸術系の活動・建築作品等> インストアライブ(2012 年 05 月)
 <芸術系の活動・建築作品等> プッチーニ 歌劇「蝶々夫人」(2012 年 04 月)

社会的活動、地域貢献など

日本声楽家協会研究所 研究科副主任(2012 年 04 月～2013 年 03 月)
 [非常勤講師] 日本声楽家協会研究所[研究科副主任](2012 年 04 月～2013 年 03 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 山口 哲人
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1968 年 8 月
学歴・職歴	
学位	
学位	
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(美術教育)	氏名 金子 一夫
------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1950 年 12 月
学歴・職歴	東京芸術大学美術研究科修士課程修了(1975 年) 東京芸術大学美術学部非常勤講師(1976 年 4 月～1978 年 3 月) 茨城大学教育学部講師(1978 年 4 月～1985 年 6 月) 茨城大学教育学部助教授(1985 年 7 月～1987 年 7 月) 茨城大学大学院教育学研究科助教授(1987 年 8 月～1996 年 9 月) 茨城大学大学院教育学研究科教授(1996 年 10 月～) 茨城大学教育学部附属中学校長併任(2008 年 4 月～2011 年 3 月)
学位	博士(美術)[東京芸術大学]
受賞歴	なし
所属学会	明治美術学会, 美術科教育学会, 大学美術教育学会, 美術史学会, 美学会, 日本美術教育連合, 日本美術教育学会
専門分野	美術教育学 近代日本美術史
教育研究概要	日本美術教育史研究。美術教育方法論研究—鑑賞教育方法を中心に 日本絵画の研究 古代から近代までほとんどの日本絵画は画面に構図決定格子を設定し、それに則って画面構成をしたことを実証する 様々な研究を発展させるような、近代日本の美術教育に関する基礎調査をする。 (キーワード)美術教育 美術科教育 美術教育史
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[美術教育実践演習], 人間と文学・芸術[日本近代美術と西洋 1]/芸術【分野別科目】 (専門科目)美術科教育特別演習AI, 図画工作科教育法研究, 美術科教育法研究, 美術教育授業研究 II/美術館ワークショップ実習, 美術科教科論, 図画工作科教育法研究, 美術科教育特別演習AII, 美術教育授業研究 I, 美術教育授業研究 III, 日本美術実地研究/古美術実地研究, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)美術教育研究 I/図画工作科内容研究, 美術文化総合研究, 美術教育演習 I, 美術教育授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

金子一夫・有田洋子「美術教育学の制度的基盤の成立過程の研究—東京芸術大学の場合」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 62, 123-135, 2013.

金子一夫「大正・昭和戦前期中等学校図画教員の総覧的研究(3)」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 62, 103-122, 2013.

「美術教育における言語的方法の展開: 表現内容に関わる言語の機能」, 茨城大学教育実践研究, , 31, 75 -89, 2012.

「美術教育における言語的方法の精緻化: 感情像の言語化による表現主題の把握」, 茨城大学教育実践研究, , 31, 91 -104, 2012.

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

明治美術学会 理事(2006年10月～)

美術科教育学会 理事(1982年03月～)

明治美術学会 論文査読委員(2006年12月～)

日本美術教育学会 理事(2008年04月～)

日本美術教育連合 理事(2008年04月～)

美術科教育学会 美術科教育学会美術教育史研究部会・責任者(2000年04月～)

茨城県近代美術館運営協議会(2012年度)

茨城県美術館活性化事業実行委員会(2012年度)

茨城県近代美術館収集委員(2012年度)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(美術教育)	氏名 片口 直樹
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1978 年 1 月
学歴・職歴	金沢美術工芸大学美術工芸研究科修士課程(2002 年) 学校法人大阪成蹊学園 大阪成蹊女子高等学校 常勤講師(2003 年 4 月～2006 年 3 月) 学校法人大阪成蹊学園 大阪成蹊女子高等学校 教諭(2006 年 4 月～2009 年 3 月) 学校法人大阪成蹊学園 大阪成蹊短期大学 非常勤講師(2006 年 4 月～2009 年 3 月) 茨城大学教育学部 准教授(現在に至る)(2009 年 4 月～)
学位	修士[金沢美術工芸大学]
受賞歴	第 22 回天展 天理ビエンナーレ 2005 大賞(2005 年), 第 20 回国際瀧富士美術賞(1999 年)
所属学会	大学美術教育学会
専門分野	絵画
教育研究概要	<p>絵画に根ざした表現を研究課題とし、今後生まれてくる新たな表現方法を模索する。おもに映像メディア等、近年生活に馴染みのある媒体と絵画表現との関係に着目し、より時代を豊かなものにするために、豊かな心を養う術を研究する。</p> <p>また、これからの教育者はより一層豊かな心を持ち、時代に順応できる人材が必要となる。表現者も教育者も伝えるという意味においては共通するものがあり、元をたどれば学ぶ喜び、作る喜びをいかに伝えることができるかが課題である。</p> <p>以上のような研究概要をもとに絵画の可能性を探る。</p> <p>(キーワード) 絵画・油画・インスタレーション・ワークショップ</p>
担当科目	<p>(教養科目) 主題別ゼミナール[美術教育実践演習], 人間と文学・芸術[美術の表現]</p> <p>(専門科目) 絵画 I/平面表現演習 II, 絵画基礎/平面表現演習 I, 絵画表現演習 I, デッサンの基礎 I/表現の基礎 I, 美術教育授業研究 II/美術館ワークショップ実習, 絵画特別演習, 絵画 II/平面表現演習 III, 絵画表現演習 II, デッサン II/造形実技 II, 美術教育授業研究 I, 美術教育授業研究 III, 彩画特別演習, 日本美術実地研究/古美術実地研究, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目) 美術文化総合研究, 絵画研究, 絵画演習, 美術教育授業設計</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

<p>〈パネリスト〉 シンポジウム「拭いて描く」／茨城県近代美術館(須田国太郎展関連企画にパネリストとして参加)(2012年08月)</p>
--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

<p>〈展示会〉「茨城大学教員三人展」／Gallery ESPACE／ひたちなか(2013年) 〈展示会〉「Station」／日立駅情報交流プラザ／日立(2013年) 〈展示会〉黒ノ美学」／雅景錐／京都(2012年) 〈その他〉アートフェア「ART OSAKA 2012」／ホテルグランヴィア大阪／大阪(2012年)</p>

社会的活動、地域貢献など

<p>大学美術教育学会 関東地区理事(2012年04月～2014年03月)</p>

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(美術教育)	氏名 向野 康江
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1959 年 10 月
学歴・職歴	筑波大学芸術学研究科博士課程修了(1994 年) 武蔵野美術大学短期大学部通信教育部にて日本・東洋美術史の非常勤講師(1993 年 4 月～1998 年 3 月) 茨城大学教育学部講師・同大学大学院教育学研究科授業担当教官(1995 年 4 月～1996 年 9 月) 茨城大学助教授(1996 年 10 月～) 茨城高等工業専門学校にて非常勤講師を兼任(1997 年 4 月～1998 年 3 月) 中国 華東師範大学へ海外研修上、外国人講師を兼任(1998 年 9 月～1999 年 8 月) 中華人民共和国 華東師範大学芸術教育研究センター特招聘研究員(2000 年 9 月～) 茨城大学大学院教育学研究科指導教官(2004 年 10 月～)
学位	博士(芸術学)[筑波大学]
受賞歴	二零零一年全国中小学優秀美術課課例老等奨 (中国)(2001 年), 中国華東地区 首屆優秀美術課課例老等奨 (中国山東省教育学会美術教学研究專業委員會・華 東師範大学芸術教育研究中心)(2001 年)
所属学会	中国現代史研究会, 現近代東北アジア地域史研究会, 孫文研究会、, 日本教育史 研究会, 教育実践学会, 淡窓研究会, 大学美術教育学会, 教育史学会, 日本美術 教育連合, 美術科教育学会
専門分野	近代日中関係史 芸術学 教科教育学
教育研究概要	向野堅一(1868-1931)伝記作成および向野コレクション(向野文庫を含む)に関する調査研究。勤務先である大学教育においては美術教育について教えている。研究については向野堅一(1868-1931)研究に主眼を置いている。 (キーワード)向野堅一
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[美術教育実践演習] (専門科目)図画工作科教育法研究, 美術科教育特別演習BI, 図画工作科内容研究, 美術教育授業研究 II/美術館ワークショップ実習, 図画工作科教育法研究, 美術科内容研究, 美術科教育特別演習BII, 工芸科教育法研究, 美術教育授業研究 I, 美術教育授業研究 III, 日本美術実地研究/古美術実地研究

(大学院科目)美術教育研究 II, 美術文化総合研究, 美術教育授業設計, 美術教育演習 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

向野康江「中国の視覚文化が形成する豊かな記号論」, 『茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学、芸術)』, 第 61 号, 89-107, 2013.

向野康江「向野堅一記念館所蔵「向野書簡」目録(一)」, 『茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学、芸術)』, 第 61, 十三～三十一, 2013.

共著者:井上朋美「神社建築の表現手法を理解する美術科授業実践の報告—厳島神社(茨城県鉾田市子生(ほこたしこなじ))を例として—」, 『茨城大学教育実践研究』(茨城大学教育学部附属実践総合センター), 第 31 号, 105-119, 2012.

研究業績(2)学会発表など

〈司会・議長・コンビーナ・コーディネータ,企画・運営〉NPO 法人・向野堅一顕彰会(向野堅一記念祭/演奏「中国胡弓」(趙国良))(2012 年 09 月)

〈司会・議長・コンビーナ・コーディネータ,企画・運営〉NPO 法人・向野堅一顕彰会(向野堅一記念祭/講演「旧讃井病院(向野堅一記念館)の建築について」(大森洋子))(2012 年 09 月)

〈基調講演,司会・議長・コンビーナ・コーディネータ,企画・運営〉NPO 法人・向野堅一顕彰会(向野堅一記念祭/式典(史料紹介/向野康江)・詩吟「輓秦夜雨先生葬」(高木仁陽)・講演「秦巖略伝」(本多寛尚))(2012 年 09 月)

〈招待講演,司会・議長・コンビーナ・コーディネータ,企画・運営〉NPO 法人・向野堅一顕彰会(シュタイナー学校児童画展・講演内容/「シュタイナー教育の根底にある新教育思想」)(2012 年 08 月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

NPO 法人・向野堅一顕彰会理事・研究部(2009 年 09 月～)

淡窓研究会 淡窓研究会事務局・編集員(2005 年 01 月～)

「中国人の玉認識アンケート調査について」(共同研究): (1998年～)

「玉作品を対象にした鑑賞教育教材研究の開始」(共同研究): (1998年～)

「自分づくり」を支える教育活動の創造(第 1 年次) —他とのかかわり合いを通して—(共同研究): 茨城大学教育学部附属小学校(2009 年～)

「向野堅一および向野コレクション(向野文庫を含む)研究」プロジェクトの開始[直方市](2007 年 11 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

向野堅一記念館で学芸員研修(2009 年～)

科学研究費補助金などの受領

淡窓研究(5 万円)

向野堅一研究(30 万円)

学校教育教員養成課程(美術教育)	氏名 島 剛
------------------	--------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1963 年 7 月
学歴・職歴	東京芸術大学大学院美術研究科修士課程修了(1989 年 03 月) 東京藝術大学 美術学部彫刻科講師(非常勤)(1995 年 4 月～1996 年 3 月) 茨城大学 講師 教育学部(1996 年 4 月～2000 年 3 月) 茨城大学 助教授 教育学部(2000 年 4 月～)
学位	修士(芸術)[東京芸術大学]
受賞歴	第 9 回日本現代陶彫展'04、陶彫展優秀賞(2004 年), 第 2 回印幡村野外芸術展 in いには野、佳作賞(2000 年), 第 6 回ビエンナーレまくらざき、佳作賞(1999 年), 第 7 回日本現代陶彫展'98、大賞(1998 年), 第 2 回朝来野外現代彫刻展 in 多々良木 '95、大賞(1995 年), 五島記念文化賞美術部門新人賞(1990 年), 第 19 回現代日本美術展、大賞(1989 年), オブジェTOKYO展'88、佳作賞(1988 年), 第 18 回現代日本美術展、いわき市立美術館賞(1987 年)
所属学会	大学美術教育学会
専門分野	彫刻
教育研究概要	彫刻 (キーワード) 彫刻の制作研究
担当科目	(教養科目) 主題別ゼミナール[美術教育実践演習], 人間と文学・芸術[美術の表現] (専門科目) 彫刻基礎/立体表現演習 I, 彫刻表現演習 I, 彫刻 I/立体表現演習 II, 美術教育授業研究 II/美術館ワークショップ実習, デッサン I, 造形実技 I, 保育内容の研究(表現), 彫刻表現演習 II, デッサンの基礎 II/表現の基礎 II, 彫刻特別演習, 美術教育授業研究 I, 美術教育授業研究 III, 日本美術実地研究/古美術実地研究, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目) 彫刻研究, 美術文化総合研究, 美術教育授業設計, 彫刻演習/彫刻 II/立体表現演習 III

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

<展示会>0 point 5/島剛の陶—生命と自然のあいだに一展/アカデミア・プラトニカ/那珂市(2013年02月)

<展示会>0 point 3/茨城大学教員三人展/ギャラリーESPACE/茨城(2013年01月)

<展示会>暖/デッサン展/アトスペース エリコーナ/いわき市(2013年01月)

<展示会>0 point 4/天の果実 島剛展/ギャラリー志門/銀座(2012年10月)

<展示会>Lay point 3/現代茨城の陶芸展/茨城県陶芸美術館(2012年04月～2012年09月)

社会的活動、地域貢献など

[兼業]茨城県教育研修センター[講師](2009年08月～)

[兼業]茨城県教育研修センター[講師](2007年07月～)

[兼業]大阪教育大学[講師](2007年01月～)

[兼業]茨城県教育研修センター[講師](2006年07月～)

[出前授業]光洋高校[講師](2006年05月～)

[兼業]桜の牧高校[講師](2005年11月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(美術教育)	氏名 寺本 輝正
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1949年8月
学歴・職歴	東京芸術大学美術研究科修士課程修了(1979年)
学位	芸術学修士
受賞歴	水戸芸術館現代美術センターディレクター賞(1997年), 板谷波山賞(1989年), 茨城工芸会賞(1989年)
所属学会	茨城工芸会, 世界漆文化会議, 日本文化財漆協会, 大学美術教育学会
専門分野	美術教育
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[美術教育実践演習] (専門科目)工芸表現演習 I, 工芸 I/生活用品デザイン演習 I, ベーシックデザイン, 生活資源プロジェクト I, 工芸表現演習 II, 工芸 II/生活用品デザイン演習 II, 工芸基礎/デザイン素材研究, 生活資源プロジェクト II, 日本美術実地研究/古美術実地研究, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)工芸・デザイン研究, 木材工芸研究, 美術文化総合研究, 工芸・デザイン演習, 木材工芸演習, 美術教育授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 日下 裕弘
------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1953 年 2 月
学歴・職歴	筑波大学体育科学研究科博士課程(1984 年) 仙台大学体育学部助教授(1985～1991) 茨城大学教養部助教授・教授(1991～1996) 茨城大学教育学部教授(現在まで)(1996 年 4 月～)
学位	教育学博士
受賞歴	なし
所属学会	人体科学会, 日本社会学会, International Committee for Sociology of Sport, 日本スポーツ社会学会, 日本体育学会, 日本民族学会, 日本スポーツ史学会, 日本温泉協会
専門分野	体育学 人体科学・哲学 文化人類学 社会学
教育研究概要	教育学博士論文:「成立期におけるわが国のスポーツ精度に関する研究」(筑波大学)1984 「日本スポーツ文化の源流」、不昧堂出版)1996 < 著書 > 分担執筆「スポーツ規範の社会学」(不昧堂出版)1980 分担執筆「スポーツ技術の社会学」(不昧堂出版)1984 分担執筆「現代スポーツ指導者論:その社会学的な見方・考え方」(ぎょうせい出版)1988 分担執筆「スポーツ社会学への招待」(不昧堂出版)1990 分担執筆「スポーツ社会学ノート」(中央法規出版)1994 「日本の自然遊:湯浴の聖と俗」(近代文藝社)1995 編・分担執筆「身体活動の科学」(大修館書店)1995 分担執筆「生涯学習講座:今を生きる人間学」(分眞堂)1997 編・分担執筆「健康スポーツの科学」(大修館書店)1999 編・分担執筆「生涯スポーツの理論と実際」(大修館書店)2001 分担執筆「総合的な学習での野外校外体験事例:野外遊びと子どもの”からだ・こころ”」 (日本教育科学研究所)2002 分担執筆「温泉医学:湯治再発見」(日本温泉協会ほか)2002

<p>分担執筆「フロー理論の展開:自然体験活動におけるフローと身体アイデンティティ」(世界思想社)2003</p> <p>分担執筆“The emergence and development of Japanese school sport”, in “JAPAN SPORT AND SOCIETY:Tradition and Change in a Globalizing World”(Routledge)2006</p> <p>< 翻訳書 ></p> <p>分担翻訳「国際スポーツ社会学評論」(日本体育学会 体育社会学専門分科会)1977</p> <p>分担翻訳「スポーツ文化・社会」(ベースボールマガジン社)1988</p> <p>分担翻訳「スポーツと社会理論」(不昧堂出版)1991</p> <p>< 主要論文 ></p> <p>「明治期における武士的・武士道の野球信条に関する文化社会学的研究」(体育・スポーツ社会学研究)1985</p> <p>“The Development of Baseball Organizations in Japan”(International Review for the Sociology of Sport)1987</p> <p>「一般成人のスポーツ観に 関する研究」(体育・スポーツ社会学研究)1988</p> <p>「スポーツ制度論に関する成果と課題」(体育・スポーツ社会学研究)1991</p> <p>「体育教育における生涯体育論の再検討:E. H. エリクソンのアイデンティティ論のパーспекティブから」(教育学論説資料)1991</p> <p>「日本の自然遊:湯浴文化の隠れた形」(スポーツ社会学研究)1995</p> <p>「湯治の身体論的意義」(人体科学)1998</p> <p>「高齢者の生きがいと自然遊に関する研究:ハイキング・登山実践者の事例から」(スポーツ社会学研究)1999</p> <p>「高齢者の温泉浴に関する研究:湯浅の身体論に準拠して」(体育学研究)1999</p> <p>「糖尿病の克服に関する事例研究」(人体科学)2000</p> <p>「中国におけるレジャー研究の分析枠組み」(中国関係論説資料)2000</p> <p>「自然遊びにおける子どもの笑顔とその<身体>」(体育学研究)2003</p> <p>「スポーツ身体論序説:ひとつの社会学的分析枠組みの提示」(スポーツ社会学研究)2004</p> <p>「遊戯世界における子どもの身体:光るどろだんごづくりを事例に」(人体科学会)2004</p> <p>「スポーツ身体論序説」(日本スポーツ社会学会)2004</p> <p>(キーワード)子どもの遊び、スポーツの歴史社会学、生涯スポーツ、高齢者の健康、</p>

	温泉 体育学、教育学、社会学、哲学、身体論、民俗学
担当科目	(教養科目)身体活動[テニス(C)], 身体活動[卓球(C)], 身体活動[卓球(C)] (専門科目)生涯スポーツの実現, 体育スポーツ社会学, 体育科教育法研究[後期], ボールゲーム方法論 II/ボールゲーム方法論 II(健康), 卓球, 卒業研究(教育:4 単 位) (大学院科目)保健体育授業設計, 体育社会学演習, 体育科学総合研究

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

生涯スポーツ、温泉と健康[茨城県生涯学習センターなど](年度不詳)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 尾形 敬史
------------------	----------

教員履歴など

現職	特任教授
生年月	1947年5月
学歴・職歴	東京教育大学大学院体育学研究科修士課程修了(1973年)
学位	体育学修士[東京教育大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本武道学会, 日本体育学会
専門分野	体育学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)身体活動[柔道(C)], 身体活動[ソフトボール(C)], 身体活動[フィジカルフィットネス(M)] (専門科目)体育科教育法研究, 柔道/柔道指導法, 武道方法論, 柔道指導法/柔道 (大学院科目)運動生理学特論/生理学/生理学/生理学, 保健体育授業設計, 体育科学総合研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

尾形敬史、青柳江里、小野村俊哉、サントス・ミドリ、葛野優維、野々上綾、常総市立岡田小学校「小学校における柔道授業の継続に関する一考察－6年目の取り組み－」, 講道館柔道科学研究会紀要, 14, 115-136, 2013.

研究業績(2)学会発表など**研究業績(3)芸術・体育系の活動****社会的活動、地域貢献など****海外出張・海外研修・内地研修など**

イギリス ロンドン・ロンドンオリンピック柔道競技会場[柔道競技視察](2012年7月～8月:8日間)

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 岡本 研二
------------------	----------

教員履歴など

現職	特任教授
生年月	1947 年 10 月
学歴・職歴	京都大学教育学研究科修士課程(1975 年)
学位	教育学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本体育学会, 日本教育学会
専門分野	体育学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)身体活動[サッカー(C)], 身体活動[ソフトボール(C)], 身体活動[ソフトボール(C)] (専門科目)体育科内容研究, ボールゲーム方法論 I/ボールゲーム方法論 I(健康), ハンドボール指導法/ハンドボール/ハンドボール/ハンドボール指導法/ハンドボール, 体育科教育法研究[後期], 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)保健体育授業設計, 保健体育授業論演習, 体育科学総合研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

<p>[非常勤講師]桜の郷看護学校(2006 年 04 月～)</p> <p>[非常勤講師]筑波大学(2006 年 04 月～)</p> <p>県スポーツリーダーバンクの資格認定講習会講師[茨城県教育庁](2006 年 07 月～), 国民体育大会の強化事業のコーチングスタッフ[i 茨城県体育協会](2006 年 04 月～)</p>
--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 篠田 明音
------------------	----------

教員履歴など

現職	講師
生年月	1976年12月
学歴・職歴	上越教育大学大学院学校教育研究科修士課程修了(2003年03月)
学位	
学位	
受賞歴	なし
所属学会	日本スポーツ運動学会, 日本教育大学協会全国保健体育・保健研究部舞踊研究会, 日本体育・スポーツ哲学会, 運動伝承研究会
専門分野	身体教育学
教育研究概要	(キーワード)表現運動, 表現する身体, ダンス, 運動学(方法学を含む)
担当科目	(教養科目)身体活動[ソフトボール(C)], 身体活動[フィジカルフィットネス(M)] (専門科目)ダンス・身体表現

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 渡邊 将司
------------------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1978年5月
学歴・職歴	筑波大学人間総合科学研究科博士課程修了(2006年03月) 浅井学園大学 短期大学部 人間総合学科スポーツ科学系 (2006年4月～2007年3月) 北翔大学 短期大学部 こども学科(2007年4月～2009年3月) 茨城大学 教育学部 保健体育教室(2009年4月～)
学位	博士(体育科学)[筑波大学]
受賞歴	日本成長学会 若手優秀演題賞(2008年11月), Roy Acuff ACSM Abstract Award (2005年05月)
所属学会	National Strength and Conditioning Association, American College of Sports Medicine, 日本トレーニング科学会, 日本発育発達学会, 日本成長学会, 日本体力医学会
専門分野	スポーツ科学 身体教育学
教育研究概要	からだの成長・成熟や体力・運動能力の発達に関して研究しています。最近では早生まれの子どもの運動能力、子どもの運動習慣化、子ども期の運動習慣と成人期の体力・健康などに関心があります。 (キーワード) 発育発達学、形態学、トレーニング科学
担当科目	(教養科目) 主題別ゼミナール[保健体育入門], 身体活動[屋内ボールゲーム(C)] (専門科目) 体育科教育法研究, 保育内容の研究(健康), 保健体育科総合演習/保健体育特別演習 II, 形態学, 保健体育特別演習 I, 陸上競技方法論/陸上競技方法論(健康コース), 陸上競技/陸上競技指導法/陸上競技(健康コース), 測定評価, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目) 保健体育授業設計, 地域教育資源フィールドスタディ, 形態学特論, 体育科学総合研究, 授業展開ケーススタディ, 形態学演習

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

鈴木麻理、渡邊将司、上地勝「疾走中におけるストライド長の左右差に影響を与える要因」, 陸上競技研究, 92, 15-20, 2013.

研究業績(2) 学会発表など

Masashi Watanabe and Mai Kidokoro, "Obesity and tracking of physical fitness in elementary school children" (The 17th Annual Congress of the European College of Sport Science, 2012 年 07 月)
 <その他> 笠間市スポーツ少年団研修会(子どものスポーツトレーニング・コンディショニング)(2013 年 03 月)
 北茨城市スポーツ少年団研修会(スポーツにおけるストレッチ・クールダウン(実技編))(2013 年 02 月)
 銚田市スポーツ推進委員連絡協議会(ウォーキング講習会)(2012 年 11 月)
 銚田市スポーツ少年団指導者講習会(子どものスポーツトレーニング・コンディショニング)(2012 年 10 月)
 スポーツ医科学研修講座(テーピングの理論と実際)(2012 年 08 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など

ベルギー ブリュージュ・ブリュージュ大学[学会参加、発表](2012 年 7 月:8 日間)

科学研究費補助金などの受領

「幼児の体力・運動能力向上を目的とした運動遊びの介入効果と持ち越し効果」[学術研究推進経費]() (2012 年 07 月～2013 年 03 月)
 「幼児の体力・運動能力向上を目的とした運動遊びの評価と介入効果」[教育学部研究費特別配分] (代表) (2012 年 07 月～2013 年 03 月)
 「幼児の体力・運動能力向上を目的とした運動遊びの評価と提案」[実践センター・学部附属連携研究費補助金] (代表) (2012 年 07 月～2013 年 03 月)

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 吉野 聡
------------------	---------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1967 年 6 月
学歴・職歴	筑波大学体育研究科修士課程(1993 年)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	推奨授業(茨城大学)(2006 年 03 月 10 日)
所属学会	日本体育学会, 日本体育授業研究会, 日本体育科教育学会, 日本スポーツ教育学会
専門分野	身体教育学
教育研究概要	<p>体育カリキュラム研究(技能特性に関する研究) 体育で教える領域毎の技能の特性(習得過程や習得に求められる能力の違い・特徴など)を研究しています。教材づくりや助言内容・方法などの指導法に資する知見を明らかにしたいと考えています。</p> <p>< 体育教師教育 > 体育・保健体育科を指導する大学生、初任・中堅教員の指導力向上に役立つ研修のあり方について研究を行っています。</p> <p>(キーワード) 体育教師教育 授業研究 体育カリキュラム 指導法</p>
担当科目	<p>(教養科目) 身体活動[屋内ボールゲーム(C)] (専門科目) 保健体育科教育法研究 II, 体育科内容研究, サッカー, ボールゲーム方法論 I/ボールゲーム方法論 I(健康), 体育科教育法研究[後期], 保育内容の研究(表現), 保健体育科教育法研究 I, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目) 保健体育授業設計, 体育教育特論, 体育科学総合研究</p>

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

<p>Satoshi Yoshino and Koh Kikuchi, "Exploration of the knack to design the program for game understanding -Relationship between the decision-making of game play and visuospatial perception-" (2012 East Asia Sport Pedagogy Conference, 2012 年 12 月)</p> <p><招待講演> 松山市小学校体育連盟研究会(講師)(2013 年 02 月)</p> <p><その他> 子どもの体力向上指導者養成研修会(平成 24 年度子どもの体力向上指導者養成研修の講</p>
--

師) (2012 年 05 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本体育科教育学会 国際交流委員長(2011 年 04 月～)

日本スポーツ教育学会 国際交流委員長(2009 年 04 月～)

日本体育学会 日本体育科教育学会・国際交流委員長(2011 年 04 月～2013 年 03 月)

日本スポーツ教育学会 日本スポーツ教育学会・理事・国際交流委員長(2009 年 04 月～2015 年 03 月)

日本体育授業研究会 日本体育授業研究会編集委員会・理事・編集委員(2007 年 08 月～2014 年 08 月)

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(2012 年度)

学校体育振興事業技術審査委員会(2012 年度)

小学校及び中学校 学習指導要領実施状況調査(2012 年度)

常磐大学 非常勤講師(2012 年 09 月～2013 年 01 月)

[兼業]常磐大学[非常勤講師](2012 年 09 月～2013 年 01 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

イギリス グラスゴー・スコットランド国際展示場、ICSEMIS[学会参加](2012 年 7 月:8 日間)

アメリカ コロンバス、ボストン・オハイオ州立大学、マサチューセッツ工科大学、ウェストフィールド大学、マントホリヨーク大学[教育委員会、学校訪問](2012 年 9 月～10 月:5 日間)

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(技術教育)	氏名 稲葉 健五
------------------	----------

教員履歴など

現 職	特任教授
生年月	1946 年 10 月
学歴・職歴	東北大学 農学研究科作物学博士課程修了(1975 年)
学位	農学博士[東北大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本作物学会, 日本作物学会東北支部会, 根の研究
専門分野	作物学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)栽培の基礎技術, 基礎栽培学, 栽培の応用技術, 栽培学, 卒業研究 (教育:4 単位) (大学院科目)栽培学特論, 技術と生活総合研究, 技術科授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

「21 世紀の茨城農業・農村振興プロジェクト調査研究」(共同研究): (不明年～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(技術教育)	氏名 工藤 雄司
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1959年6月
学歴・職歴	東京学芸大学教育学研究科修士課程修了(1987年03月) 学校法人科学技術学園高等学校・教諭(機械科)(1987年4月～1991年3月) 筑波大学附属坂戸高等学校・教諭(工業科)(1991年4月～2012年3月) 茨城大学・教授(教育学部技術教育教室)(2012年4月～)
学位	教育学修士[東京学芸大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本産業技術教育学会, 日本工業技術教育学会, 日本教科教育学会, 日本教育情報学会, 筑波大学教育学会, 日本情報科教育学会
専門分野	教科教育学 情報教育 教育工学
教育研究概要	(キーワード)各教科の教育(技術, 情報), 専門教科の教育(工業), 情報教育, 教材開発
担当科目	(教養科目)情報処理概論[情報処理概論] (専門科目)技術科教育演習A, 技術科教科論, 技術科教育法研究II, 基礎情報処理(高教科:工業)/情報通信ネットワーク演習/基礎情報処理(情報文化), 情報教育研究法(技術)/情報教育研究法(家庭), 情報通信ネットワーク, 卒業研究(教育:4単位), 技術科指導論 (大学院科目)技術と生活総合研究, 技術科教育特論I, 技術科授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

<p>工藤雄司, 平田晴路, 「制御技術を扱う学習教材の開発について」(日本産業技術教育学会第24回関東支部大会・2012年11月)</p> <p>工藤雄司, 本村猛能, 「中学校情報分野と高校共通教科「情報」の体系化に向けて ―論理回路学習における情報の科学的理解の実践を通して―」(日本産業技術教育学会第24回関東支部大会・2012年11月)</p>

本村猛能, 森山潤, 山本利一, 角和博, 工藤雄司, 「中・高連携を踏まえた諸外国の中学校情報教育比較研究 — 中学校技術分野「情報に関する技術」の在り方 —」(日本産業技術教育学会第 55 回全国大会(旭川)・2012 年 09 月)

本村猛能, 森山潤, 山本利一, 角和博, 工藤雄司, 「諸外国の高等学校情報教育における教育内容の比較研究」(日本教育情報学会第 28 回年会 8-2012(松戸)・2012 年 08 月)

本村猛能, 工藤雄司, 山本利一, 森山潤, 角和博, 「我が国の中・高・大の体系的情報教育の方向性 — 諸外国の情報教育の比較研究と評価 —」(日本教育情報学会第 27 回年会 8-2011(埼玉)・2012 年 08 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本工業技術教育学会 事務局(1998 年 07 月～)
日本工業技術教育学会 編集委員(1998 年 07 月～)

筑波大学人間学群[非常勤講師](2012 年 04 月～)
埼玉大学教育学部[非常勤講師](2012 年 04 月～)
筑波技術大学[非常勤講師](2012 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(技術教育)	氏名 榊 守
------------------	--------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1961年4月
学歴・職歴	豊橋技術科学大学工学研究科修士課程修了(1987年) 鉏路工業高等専門学校 電気工学科 助手(1987年4月～1989年3月) 鉏路工業高等専門学校 電気工学科 講師(1989年4月～1993年3月) 豊橋技術科学大学 電気・電子工学系 講師(1994年4月～1996年3月) 鉏路工業高等専門学校 電気工学科 助教授(1996年4月～2000年3月) 茨城大学教育学部 技術教育 助教授(2000年4月～)
学位	博士(工学)[豊橋技術科学大学]
受賞歴	平成7年度 優秀論文発表賞(電気学会)(1995年)
所属学会	日本産業技術教育学会, 応用物理学会, 表面技術協会, 日本視覚障害理科教育研究会, 日本生活支援工学会
専門分野	放電応用 福祉機器
教育研究概要	教育学部で基礎電気などの電気・電子関連科目の講義・実習を担当。 研究分野: アークやグロー放電の基礎研究および視覚障害者用学習支援装置の研究 (キーワード)
担当科目	(教養科目) 主題別ゼミナール[技術教育概論] (専門科目) 電気工学演習, 電気工学, 電気の基礎技術, 基礎電気, 電気の応用技術, 家庭電気・機械, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目) 電気工学特論 I, 技術と生活総合研究, 技術科授業設計

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

金塚敦、金田幸裕、佐々木敦、佐藤英樹、榊 守、「音階出力タイプ感光器の試作」(第3回福祉情報教育フォーラム・2012年09月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

関東甲信越地区視覚障害教育研究会 助言者および講習担当[茨城県立盲学校](2009年11月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(技術教育)	氏名 白坂 高司
------------------	----------

教員履歴など

現職	講師
生年月	1981年4月
学歴・職歴	広島大学大学院教育学研究科博士後期課程修了(2011年03月)
学位	博士(学術)[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本産業技術教育学会, 日本教科教育学会, 日本科学教育学会, コンピュータ利用教育学会, 日本教育工学会, 教育システム情報学会
専門分野	木材加工教育, 教科教育学
教育研究概要	(キーワード) 中学校技術科, 木材加工, ものづくり教育, 技術教育, 教育システム
担当科目	(教養科目) 主題別ゼミナール[技術教育概論], 情報処理概論[情報処理概論] (専門科目) 技術科指導法(木材加工実習)/木材加工の基礎技術, 木材加工演習, 基礎木材加工, 木材加工の応用技術, 木材加工学, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目) 地域教育資源フィールドスタディ, 技術と生活総合研究, 木材加工学特論, 授業展開ケーススタディ, 技術科授業設計

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

白坂高司「木材加工学習における「仮組立て」と「組立て」の思考内容の分析」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, , 61, 155-163, 2012.

研究業績(2) 学会発表など

Usuzaka, T., Tsutsumi, K. & Yamamoto, T, "Development of an Individual Learning Support System Based on a Data-Driven Internal Model Control Approach", Proceedings of Society for Information Technology & Teacher Education International Conference 2013, , 112-117, 2013.

Usuzaka, T., Tsutsumi, K. & Yamamoto, T, "Development of an Individual Learning Support System Based on a Data-Driven Internal Model Control Approach"(Society for Information Technology & Teacher Education International Conference 2013, 2013年03月)

堤健人, 白坂高司, 山本透, 「データ駆動型 IMC アプローチに基づく個別学習における学習支援システムの構築」(日本教育工学会研究会(岡山大学)・2012年10月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

アメリカ ニューオーリンズ・シェラトンニューオーリンズホテル[SITE2013 参加](2013 年 3 月:3 日間)
--

科学研究費補助金などの受領

「MBR 型 IMC 個別学習支援システムの開発」[科研費]科学研究費補助金(研究活動スタート支援)(代表)(2011 年 04 月～2013 年 03 月)

学校教育教員養成課程(技術教育)	氏名 安田 健一
------------------	----------

教員履歴など

現職	特任教授
生年月	1948年3月
学歴・職歴	日立製作所(1971年4月～2002年6月)
学位	工学博士[早稲田大学]
受賞歴	会田技術賞(1982年)
所属学会	日本塑性加工学会
専門分野	圧延
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[技術教育概論], 文明・技術系科目[ものづくりのすすめ] (専門科目)技術科指導法(機械実習)/機械の基礎技術, ものづくり体験, 製図 I, 機械工学, 機械工学演習, 基礎機械工学, 機械の応用技術, 家庭電気・機械, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)機械工学特論, 技術と生活総合研究, 技術科授業設計, 機械工学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

宇佐美渉, 中島康佑, 安田健一「中学校におけるへらしぼり加工教材の開発」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 62, 211-221, 2013.

研究業績(2)学会発表など

坂入祐哉, 安田健一, 「蒸気機関のメカニズムを応用した乗用自動車教材の開発 第1報 2気筒風船エンジンカーの動作確認」(日本産業技術教育学会第24回関東支部大会・2012年11月)
 宇佐美渉, 中島康佑, 安田健一, 「中学生の塑性加工に対する認識を深める教材の開発 第5報 大学生を対象としたへらしぼり加工体験の実践」(日本産業技術教育学会第24回関東支部大会・2012年11月)
 大谷忠, 谷田親彦, 安藤明伸, 竹野英敏, 上野耕史, 安田健一, 「テクノロジーに対する認識の調査研究() 技術および技術教育の認識に関する観点から」(日本産業技術教育学会第55回全国大会・2012年09月)

谷田親彦, 安藤明伸, 大谷忠, 竹野英敏, 上野耕史, 安田健一, 「テクノロジーに対する認識の調査研究() 技術的素養と技術教育の内容の観点から」(日本産業技術教育学会第 55 回全国大会・2012 年 09 月)

湯浅泰隆, 安田健一, 「WM制御の基本原則を視覚的に学習するための教具の開発」(日本産業技術教育学会第 55 回全国大会・2012 年 09 月)

宇佐美渉, 中島康佑, 安田健一, 「中学生の塑性加工に対する認識を深める教材の開発 第4報 へらしぼり加工における最適なへらと金型の検討」(日本産業技術教育学会第 55 回全国大会・2012 年 09 月)

安田健一, 大森厚輔, 坂入祐哉, 「エネルギー変換教材「風船エンジンカー」を用いた必修授業の実践」(日本産業技術教育学会第 55 回全国大会・2012 年 09 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 数井 みゆき
------------------	-----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1961年4月
学歴・職歴	メーランド大学院博士課程修了(1991年) 成蹊大学、東京女子大学等 非常勤講師(1992年4月～1994年3月) 日本学術振興会 特別研究員(お茶の水女子大学)(1994年4月～1996年3月) 茨城大学 教育学部 家政教育講座 助教授(1996年4月～2005年) 茨城大学教育学部家政教育教室 教授(2006年4月～)
学位	心理学博士 (Ph.D. in Psychology)[メーランド大学(アメリカ合衆国)]
受賞歴	日本発達心理学会論文賞(1998年)
所属学会	日本発達心理学会, 児童発達研究学会(society of Research in child Development), 日本教育心理学会, アメリカ心理学会(American Psychological Association), 日本心理臨床学会, 日本保育学会, 日本心理学会
専門分野	教育心理学(発達心理学)
教育研究概要	本学では、家政教育教室で保育学を担当している。子どもの発達や子どもの現状、 家族関係などについて、保育園などでの実習も含めて、教えている。 専門は領域としては発達心理学で、研究として乳幼児のアタッチメントの発達、さら に、アタッチメントの生涯発達として、養育者側についても分析している。現在は、ア タッチメントの世代間関連について、男性(父親)の実態の調査を始めている。 (キーワード)アタッチメント(の世代間関連)、養育
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目[生活環境とライフスタイル] (専門科目)親子関係学, 初等家庭科内容研究, 保育学, 養育環境学, 中等家庭科 内容研究, 保育学演習, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)児童学特論, 家庭科授業設計, 児童学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「アタッチメントの応用と実践」, 誠信書房, 2012.

研究業績(2)学会発表など**研究業績(3)芸術・体育系の活動**

社会的活動、地域貢献など**海外出張・海外研修・内地研修など****科学研究費補助金などの受領**

「父方祖父－父親－子の3世代におけるアタッチメント(Attachment relationships among father-side grandfather, father, and preschooler)」[科研費](基盤B)(2012年04月01日～2017年03月31日)

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 木村 美智子
------------------	-----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1958年3月
学歴・職歴	<p>お茶の水女子大学人間文化研究科博士課程修了(1989年03月)</p> <p>お茶の水女子大学家政学部被服学科・文部技官(1983年4月～1984年3月)</p> <p>放送大学・非常勤講師(1987年8月～1988年3月)</p> <p>桜の聖母短期大学・非常勤講師(1988年4月～1989年3月)</p> <p>桜の聖母短期大学・講師(1989年4月～1993年3月)</p> <p>太田看護専門学校・非常勤講師(1990年4月～)</p> <p>桜の聖母短期大学・助教授(1993年4月～1999年3月)</p> <p>お茶の水女子大学生生活科学部・非常勤講師(1995年10月～1999年3月)</p> <p>東北文化学園大学科学技術学部・講師(1999年4月～2004年3月)</p> <p>東北文化学園大学・助教授(2004年4月～2009年3月)</p> <p>茨城大学教育学部・准教授(2009年4月～2012年3月)</p> <p>お茶の水女子大学生生活科学部・非常勤講師(2010年10月～)</p>
学位	学術博士[お茶の水女子大学]
受賞歴	<p>日本環境共生学会発表論文賞(Japan Association for Human and Environmental Symbiosis)(2006年09月), お茶の水女子大学大学院人間文化研究科奨学金(Ochanomizu University)(1995年11月), お茶の水女子大学家政学部被服学奨学金(Ochanomizu University)(1989年11月)</p>
所属学会	日本繊維製品消費科学会, 日本家庭科教育学会, 日本環境共生学会, 日本環境教育学会, 日本生活学会, 日本油化学会, 繊維学会, 日本家政学会
専門分野	生活科学一般(衣生活) 科学教育 環境影響評価・環境政策
教育研究概要	<p>環境に配慮したライフスタイルを構築するための研究を展開しています。その1つは環境負荷を低減する洗濯方式に関する研究、2つ目は天然資源を有効に活用する染色方法に関する研究、3つ目に環境教育の視点に立った家庭科教育の研究を進めています。</p> <p>(キーワード)洗淨科学, 生活環境学, 環境教育</p>
担当科目	<p>(教養科目)生活・福祉系科目[生活環境とライフスタイル]</p> <p>(専門科目)被服構成学基礎, アパレル科学, 衣生活論, 生活環境学【全教科】/生活環境学(環境_健康)/生活環境学(環境_健康), 初等家庭科内容研究, 被服科</p>

学, 被服構成学応用, 被服学演習, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)被服学特論, 生活科学総合研究, 被服学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など**研究業績(2)学会発表など**

木村美智子・大辻永・郡司晴元・伊藤孝・伊藤哲司・蓮井誠一郎・西川陽子, 「簡易環境放射線測定器を用いて児童・生徒・教師・市民らが自ら計測活動を行う放射線・環境リテラシー育成プログラムの開発と実施」(茨城大学 復興支援調査・研究プロジェクト成果報告会・2013 年 03 月)

木村美智子, 「大学生の環境配慮・行動に関する研究」(日本環境共生学会第 15 回・2012 年 09 月)

木村美智子, 「環境配慮行動に関する研究—大学生と保護者の比較—」(日本環境教育学会第 23 回大会・2012 年 08 月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動**社会的活動、地域貢献など**

日本環境共生学会 理事(2007 年 05 月～)

日本油化学会 洗剤・洗浄部会幹事(2007 年 04 月～)

北上川水系河川整備学識者懇談会委員(2007 年 04 月～)

宮城県環境審議会水質専門員(2006 年 03 月～)

日本油化学会 洗浄・洗剤部会・幹事(2005 年 04 月～)

日本学術振興会染色堅ろう度 134 委員会委員(1996 年 4 月～)

[非常勤講師]お茶の水女子大学(2010 年 10 月～)

[非常勤講師]太田西ノ内病院附属看護学校(1990 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など**科学研究費補助金などの受領**

「環境に配慮した持続可能なライフスタイルを実現する環境教育の構築に関する研究」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2011 年 04 月 01 日～2014 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 西川 陽子
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1969 年 4 月
学歴・職歴	お茶の水女子大学人間文化研究科博士課程修了(1998 年) お茶の水女子大学大学院人間環境学 助手(1998 年 4 月～2001 年 3 月) ケースウェスタンリザーブ大学, 病理学研究室(アメリカ合衆国,オハイオ州, クーブランド) 博士研究員(2001 年 4 月～2002 年 3 月) 茨城大学 教育学部 家政教育 助教授(2002 年 4 月～)
学位	学術博士[お茶の水女子大学]
受賞歴	Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry(日本農芸化学会英文誌)における 2000 年論文賞 (2001 年 03 月)
所属学会	社)日本農芸化学会, 日本ビタミン学会, (社)日本家政学会, 日本調理科学会, 日本食品化学学会
専門分野	食品科学 科学教育 食生活学
教育研究概要	<ul style="list-style-type: none"> ・アスコルビン酸の in vitro における分解反応機構の解明 ・生体内メイラード反応におけるアスコルビン酸の作用機序の解明 ・糖尿病時におけるアスコルビン酸の代謝について ・食習慣が及ぼす健康への影響と食教育のあり方 (キーワード)アスコルビン酸, 食品化学, 食教育
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[生活科学の視点] (専門科目)食物科学, 初等家庭科内容研究, 食生活論, 食生活と健康【全教科】, 中等家庭科内容研究, 食物学演習, 栄養学, 食品衛生管理学, 保育内容の研究 (健康), 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)食物学特論, 食物学演習, 家庭科授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

西川陽子, 藤枝里衣「イチゴの有効利用を目的とする加工品の検討」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 62, 259-267, 2013.

西川陽子, 藤原葉子(編著)「食物学概論」, 光生館, 107-124, 2012.

研究業績(2)学会発表など

西川陽子, 山下加奈, 「小麦代替用米粉の円滑な利用に向けての配合調整検討」(日本食品化学学会

第 18 回 学術大会・2012 年 06 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]平成 24 年度 社会教育主事講習「食育を学ぶ」, 茨城大学生涯学習教育研究センター(2012 年 08 月実施)

[非常勤講師]茨城キリスト教大学[講師](2007 年 04 月～)

[その他]茨城キリスト教大学[倫理審査委員会委員](2006 年 07 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 野中 美津枝
------------------	-----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1961年3月
学歴・職歴	千葉大学教育学研究科修士課程修了(2001年03月) 東筑紫短期大学食物栄養科・助手(1983年4月～1983年8月) 山口県立美祢高等学校・家庭科講師(1984年1月～1984年3月) 山口県立徳佐高等学校・家庭科教諭(1984年4月～1987年3月) 山口県立久賀高等学校・家庭科教諭(1987年4月～1987年8月) 三基商事株式会社お客様相談室・消費生活アドバイザー相談員(1992年4月～1993年3月) 千葉商科大学附属高等学校・家庭科教諭(1994年4月～2008年3月) 九州女子大学家政学部人間生活学科・准教授(2008年4月～2009年3月) 愛媛大学教育学部・講師(2009年4月～2010年11月) 愛媛大学教育学部・准教授(2010年12月～2013年3月) 茨城大学教育学部・准教授(2013年～)
学位	教育学修士[千葉大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本消費者教育学会, 日本家政学会, 日本家庭科教育学会
専門分野	生活科学一般 教科教育学
教育研究概要	(キーワード)家庭科、消費者教育、食教育、参加型アクション志向学習
担当科目	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「高校生における食生活の是正対象と体調不良状況」, 日本家政学会誌, 64, 2, 43-48, 2013.
「全国調査からみた愛媛県高校家庭科」, 愛媛大学教育学部紀要, 59, 129-134, 2012.
「食生活の実態調査と調理技術の定着をはかる授業の取り組み」, 愛媛大学教育実践総合センター紀要, , 30, 51-60, 2012.
「消費生活分野における問題解決的な学習ー選択と購入に関する体験的な活動の授業実践よりー」, 東書Eネット『中学校技術・家庭科の広場』, , 2013.
荒井紀子「パワーアップ! 家庭科ー学び, つながり, 発信するー」, 大修館書店, 49-64, 110-112, 134-136, 168-197, 2012.

研究業績(2)学会発表など

, “.Effects of the Reduction of Home Economics Credits and Teachers’ Views on the Curriculum: The Case of Japanese Senior High Schools”(IFHE 2012 World Congress, 2012 年 07 月)

, 「全国調査からみた愛媛県高校家庭科」(第 32 回日本家庭科教育学会四国地区研究会・2012 年 07 月)

<招待講演> 島根県中・高家庭科教育講座講師「問題解決的な学習の進め方」(島根県浜田教育センターにおいて、中・高校家庭科教員を対象に、「問題解決的な学習の進め方」について講演、演習を行った。)(2012 年 09 月)

<招待講演> 松前町立岡田小学校教職員研修会講師「消費者の自立をめざす消費者教育」(松前町教育委員会において、松前町立岡田小学校教職員を対象に消費者教育を行い、小学校の消費者教育の進め方について講演した。)(2012 年 08 月)

<招待講演> 山口県家庭科研修講座講師「生活上の課題を主体的に解決する能力を育てる指導と評価の在り方」(やまぐち総合教育実践センターにおいて、中・高校家庭科教員を対象に、「生活上の課題を主体的に解決する能力を育てる指導と評価の在り方」について講演、演習を行った。)(2012 年 08 月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動**社会的活動、地域貢献など**

日本家庭科教育学会四国地区会 日本家庭科教育学会四国地区会・副会長(2012 年 04 月～2013 年 03 月)

愛媛県家庭科研究会 愛媛県家庭科研究会・会長(2010 年 08 月～2013 年 03 月)

海外出張・海外研修・内地研修など**科学研究費補助金などの受領**

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 佐藤 裕紀子
------------------	-----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1968年2月
学歴・職歴	お茶の水女子大学人間文化研究科博士後期課程単位取得満期退学(2004年03月)
学位	博士(学術)[お茶の水女子大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本家政学会, 日本家政学会家族関係学部会, 日本家政学会生活経営学部会, 日本家族社会学会, 日本家庭科教育学会, 日本家政学会家政学原論部会
専門分野	生活科学一般
教育研究概要	(キーワード) 家族関係、家政教育、家庭科教育、ライフスタイル、生活時間
担当科目	(専門科目) 初等家庭科内容研究, 現代家族論, 家庭科教科論, 家庭経営学, 中等家庭科内容研究, 家庭経営学演習, 家族とジェンダー, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目) 家族関係学特論, 家庭科授業設計, 家族関係学演習

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

佐藤裕紀子「子どもが描いた昭和初期の家族生活—『鑑賞文選』『綴方讀本』掲載の綴方をてがかりに—, 家族関係学, 31, 49-62, 2012.

佐藤裕紀子・矢口美友紀「高等学校家庭科における生活設計領域の特徴と課題」, 茨城大学教育実践研究, 31, 131-138, 2012.

佐藤裕紀子「持続可能な社会の担い手を育成する家庭科教員養成の課題—「環境アクション・プラン」の実践を通して—, 茨城大学教育実践研究, 31, 121-129, 2012.

佐藤裕紀子「家庭科における家事労働の扱いと今後の課題—高等学校家庭科教科書の記述分析から—, 日本家庭科教育学会誌, 55, 1, pp.3-12, 2012.

佐藤裕紀子「明治時代史大辞典 第三巻」, 吉川弘文館, 23,578, 2013.

佐藤裕紀子「明治時代史大辞典 第二巻」, 吉川弘文館, 152,406,415, 2012.

研究業績(2) 学会発表など

佐藤裕紀子, 「子世代の家族形成等の状況からみた高齢者介護をめぐる課題」(第17回日本在宅ケア学会学術集会・2013年03月)

佐藤裕紀子、ほか9名, 「ESDとしての家庭科の構成概念の検討」(日本家庭科教育学会2012年度例

会・2012 年 12 月)

佐藤裕紀子、ほか 9 名、「ESD としての家庭科の現状と課題—家庭科教員対象予備調査をふまえて—」
(日本家庭科教育学会 2012 年度例会・2012 年 12 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本家政学会生活経営学部会常任委員・会計 (平成24年10月～)

日本家政学会生活経営学部会関東地区常任委員・会計 (平成24年10月～)

日本家庭科教育学会 課題研究「ESD としての家庭科教育の可能性と役割」WG 委員・会計(2012 年 3 月～)

日本家政学会家政学原論部会「行動計画 2009-2018」WG 委員(2009 年 4 月～)

東京書籍平成28年度発行中学校技術家庭科教科書・指導書・図書教材等編集委員 (2012年4 月～)

[兼業]水戸市少子対策検討委員会委員(2012年度)

[兼業]茨城県教育研究連盟研究集会[助言者](2012年10月)

[非常勤講師]放送大学茨城学習センター[非常勤講師](2012年10月～2013年03月)

[兼業]茨城大学教員免許状更新講習専門委員会[教員免許状更新講習講師](2012年06月)

[兼業]茨城大学教員免許状更新講習専門委員会[教員免許状更新講習講師](2012年08月)

[兼業]茨城大学教育学部[試験問題検討委員会委員](2009年11月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「家庭科における生活資源とライフスタイル選択に関する実践的ライフキャリア教育の研究」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2012 年 04 月 01 日～2015 年 03 月 31 日)

「基礎・基本の定着を目指す小・中学校 5 年間の学習を見通した家庭科のカリキュラムに関する研究」

[茨城大学教育学部附属教育実践総合センター・学部附属連携研究費補助金](代表)(2012 年 07 月 02 日～2013 年 03 月 31 日)

「環境に配慮した持続可能なライフスタイルを実現する環境教育の構築に関する研究」[科研費]基盤研究(C)一般(分担)(2011 年 04 月 01 日～2014 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(英語教育)	氏名 猪井 新一
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1955年9月
学歴・職歴	千葉県及び福島県公立高等学校教諭(1979年4月～1993年3月) 奥羽大学文学部英語英文学科・専任講師(1993年4月～2001年9月) 北海道教育大学教育学部旭川校・助教授(2001年10月～2004年3月) 北海道教育大学教育学部旭川校・教授(2004年4月～2005年3月) 会津大学短期大学部・教授(2005年4月～2007年3月) 茨城大学教育学部・教授(2007年4月～) 東北大学大学院情報科学研究科博士後期課程修了](2008年09月)
学位	博士(学術)[東北大学大学院] 教育学修士[福島大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	東北英語教育学会, 全国英語教育学会, 全国語学教育学会(JALT), 大学英語教育学会(JACET), 小学校英語教育学会, 関東甲信越英語教育学会
専門分野	外国語教育
教育研究概要	(キーワード) 談話分析, 学習方略, コミュニケーション方略
担当科目	(教養科目) 総合英語[プレレベル3] (専門科目) 英語科教育法研究 I, 小学校英語 I, 英語コミュニケーション III, 英語科内容研究, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目) 英語科授業設計, 英語科教育学特論 I(英語教授法研究), 言語と文化総合研究, 英語科教育学演習 I

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

西尾 直美・猪井 新一「中学生のライティング活動中における過去形の正確性を高めるための修正フィードバックの効果と学習者の習熟度の関係について」, 茨城大学教育実践研究, , 31, 191-201, 2012.

猪井 新一、竝木 崇康、齋藤 英敏「日本語を活用した体験型小学校英語活動教員研修プログラムの開発-小学校外国語活動の現状把握ち日本語から見た外国語活動」, 1-51, 2012.

研究業績(2) 学会発表など

西尾有里、猪井新一、都築雅子、「小学校教員の目指すべき英語発音:正確さか通じやすさか」(語学エキスポ 2013・2013 年 03 月)

猪井 新一、「ALT 依存型から学級担任型のへの小学校外国語活動を目指して」(第 38 回全国英語教育学会愛知研究大会・2012 年 08 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

全国英語教育学会 ARELE 査読委員(2012 年 04 月～)

小学校英語教育学会 学会誌査読委員(2012 年 04 月～2014 年 03 月)

茨城県教育研究連盟研究 第 57 回茨城県教育研究連盟研究集会・講師(2012 年 10 月～2013 年 03 月)

[その他]第 1 回茨城県小学校外国語活動交流会, 茨城大学教育学部猪井研究室(2012 年度実施)

[その他]第 6 回茨城県高等学校英語スピーチコンテスト(審査委員長), 茨城県高等学校教育研究会英語部(2012 年度実施)

[出前授業]英文法の学習方法(茨城県立下妻第一高等学校), 茨城県立下妻第一高等学校(2012 年度実施)

[出前授業]英文法の学習方法(茨城県立牛久栄進高等学校), 茨城県立牛久栄進高等学校(2012 年度実施)

[その他]平成 24 年度茨城大学教員免許状更新講習会 I 期・II 期, 茨城大学(2012 年度実施)

[その他]第 57 回茨城県教育研究連盟研究集会(外国語), 茨城県教育研究連盟(2012 年度実施)

海外出張・海外研修・内地研修など

アメリカ スポケン、サンフランシスコ、ロサンゼルス、アナハイム・イースタン・ワシントン大学、サンフランシスコ市内、ロサンゼルス市内、アナハイム市内[学生交流事業・英語語学研修、市内観光](2013 年 3 月:13 日間)

科学研究費補助金などの受領

「外国語活動に関する児童の好き嫌いの度合いと学級担任の満足度」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2012 年 04 月 01 日～2015 年 03 月 31 日)

「習得困難度と中心特性に焦点化した小学校教員用英語発音向上マルチメディア教材開発」[科研費]基盤研究(C)一般(分担)(2011 年 04 月 01 日～2014 年 03 月 31 日)

「小・中学校の英語学習・指導の一致性に関する調査」[科研費]基盤研究(C)一般(分担)(2011 年 04 月 01 日～2014 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(英語教育)	氏名 君塚 淳一
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1959年6月
学歴・職歴	中国短期大学英語英文科専任講師(1993年4月～1997年3月) 中国短期大学英語英文科助教授(1997年4月～1999年9月) 茨城大学教育学部助教授(1999年10月～2006年3月) 茨城大学教育学部教授(2006年4月～)
学位	文学修士
受賞歴	推奨授業(茨城大学)(茨城大学)(2004年04月21日), 第1回日本マラマッド協会賞 学術部門(1998年)
所属学会	英文学会, 黒人研究会, 英米文化学会, 日本マラマッド協会, アメリカ学会, アメリカ文学会, ポップカルチャー学会, 多民族研究学会
専門分野	アメリカ文学
教育研究概要	<p>アメリカ文学(ユダヤ系、アフリカ系作家)、アメリカ文化(1920年代文化、1960年代文化、アメリカ映画、大衆文化)、人種問題など。</p> <p>ユダヤ系作家では、現代ユダヤ系小説家 Bernard Malamud や Paul Auster などを中心に、19世紀末から20世紀初頭の移民文学としての Abraham Cahan, Michael Gold などを同化の問題やユダヤ人としてのアイデンティティの問題、また二次大戦後はホロコーストの問題などを作家がどう扱い描いているのかをテーマに研究している。一方、アフリカ系作家では WASP が中心とされる白人アメリカでいかに人種問題と向き合うかを Richard Wright の作品を通して、また黒人で女性という立場、アフリカをどうアメリカ黒人が自身の中で認識するかを Alice Walker の作品を通して研究している。1920年代ではハリウッド映画産業の勃興とユダヤ系社会の関係、ハーレム・ルネッサンスのアフリカ系アメリカ人に対し、黒人民族主義と分離主義を標榜したマーカス・ガーヴェイを比較し研究している。1960年代論は、対抗文化の中で起きた様々な若者文化を比較研究、人種問題からニューシネマ、ロック、など幅広く文化論を展開している。また映画では文学と同様な研究方法を用いての映画分析を研究し、論文、著書のほか映画評なども執筆している。</p>
	(キーワード)

担当科目	<p>(教養科目)総合英語[学術用英語], 表現・言語系科目[アメリカ文化理解]</p> <p>(専門科目)英米文学演習 IV, 言語と文化の諸相, 英米文学特講 IV/アメリカ社会論, 英米文学・文化から教える英語テキスト, 英米文学概論 II, 英米文学特講 III, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目)英米文学特論 I(アメリカ研究), 英語科授業設計, 英米文学演習 I, 言語と文化総合研究</p>
------	---

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

君塚淳一「異人種間結婚とアメリカが抱える様々な課題—シンポジウムに向けて」, 『多民族研究』, 6, 6-12, 65, 2013.

「亡霊のアメリカ文学:豊穡なる空間」, 国文社, 145-156, 2012.

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

多民族研究学会 副会長(2012年04月～)

英米文化学会 理事(編集委員長)(2011年10月～)

[非常勤講師]青山学院女子短期大学[非常勤講師](1995年04月～)

出張講義[大成女子高等学校](2013年03月), 大学模擬授業を「ハリウッド映画から見るアメリカ」と題して行った。[茨城県立取手第一高校](2009年06月～), 大学模擬授業として「ハリウッド映画から見えるアメリカ—その歴史と映画の観かた」と題して講義を行う。[茨城県立水戸桜の牧高校](2007年11月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

アメリカ ニューヨーク・コロンビア大学、ニューヨーク市立大学、図書館、ハーレム[資料収集、研究打合せ](2012年8月～9月:10日間)

科学研究費補助金などの受領

「マーカス・ガーヴェイとハーレム・ルネッサンスの黒人たち—その反目の裏と表」(2012年度～2015

研究課題番号:24520269 代表者:君塚淳一)

学校教育教員養成課程(英語教育)	氏名 小林 英美
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1967 年 10 月
学歴・職歴	早稲田大学教育学研究科博士課程修了(2001 年) 法政大学付属第一高等学校・非常勤講師(1990 年 4 月～1991 年 3 月) 国土舘大学・非常勤講師(1993 年 4 月～1995 年 3 月) 早稲田大学教育学部助手(1994 年 4 月～1996 年 3 月) 茨城県立医療大学・非常勤講師(1995 年 4 月～2003 年 3 月) 東邦大学・非常勤講師(1996 年 4 月～1997 年 3 月) 日本学術振興会特別研究員(1997 年 4 月～1999 年 3 月) 学習院大学・非常勤講師(1999 年 4 月～2003 年 3 月) 東京国際大学・非常勤講師(2000 年 4 月～2003 年 3 月) 早稲田大学教育学部・非常勤講師(2000 年 4 月～) 茨城大学教育学部・准教授(2003 年 4 月～)
学位	学術博士[早稲田大学]
受賞歴	なし
所属学会	欧米言語文化学会, 日本ジョンソン協会, 早稲田大学英語英文学会, 日本英文学会, イギリス・ロマン派学会, 美学会, 日本カレドニア学会
専門分野	ヨーロッパ語系文学
教育研究概要	<p>18-19 世紀イギリス文学における読者と作家・詩人の相互影響関係、英詩への関心を音読実践と童謡から引き出す。</p> <p>研究においては、18-19 世紀イギリス文学における読者と作家・詩人の相互影響関係を、現存するデータを発掘・分析して、実証的に明らかにする歴史的文学研究を行っている。教育においては、英詩の魅力、音読を実践することで導く。音読は語学教育の重要な基礎の一つであり、音読して初めて英詩の本当の魅力が明らかになるからである。伝承童謡や有名児童文学を入門に用いることで関心を持たせ、最終的には文学史的に重要な英詩へと導く工夫をしいている。また作品に関連する映像・音声教材も利用することによって、学生の理解が深まるようにしている。</p> <p>(キーワード)イギリス文学、18 世紀、19 世紀、ロマン主義文学、ワーズワス、コウルリッジ、キーツ、オースティン、女性詩人、読者層研究、文学作品の 18-19 世紀英国作曲家による音楽受容、18-19 世紀出版事情、予約購読出版、貸本店</p>

担当科目	<p>(教養科目)総合英語[プレレベル3], 人間と文学・芸術[再発見と再利用の英国文化史]</p> <p>(専門科目)英米文学概論 I, 英米文学演習 I, 言語と文化の諸相, 英米文学演習 II, 英米文学・文化から教える英語テキスト, 英米文学特講 I, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目)英語科授業設計, 英米文学特論 II(近代英米文学研究), 英米文学演習 II, 言語と文化総合研究</p>
------	---

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

イギリス・ロマン派学会「書評:Matthew Rowlinson, Real Money and Romanticism」, イギリス・ロマン派研究, , 37, 115-118, 2013.

研究業績(2)学会発表など

小林英美, 「Charlotte Smith:支援者を通して拡大・増加する読者」(ミニ・シンポジウム「拡大する読者と英米文学」(欧米言語文化学会第 126 回例会)・2013 年 03 月)

<司会・議長・コンビーナ・コーディネータ,パネリスト> 欧米言語文化学会・ミニ・シンポジウム「拡大する読者と英米文学」(司会とイントロダクション、そして発題「Charlotte Smith:支援者を通して拡大・増加する読者」)(2013 年 03 月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

[出前授業]湖水地方と英文学——ロマン派の名作からピーター・ラビットの絵本へ, 茨城県立 水海道第一 高等学校(2012 年度実施)

[出前授業]湖水地方と英文学—ロマン派の名作からピーター・ラビットの絵本へ, 水戸桜ノ牧高等学校(2012 年度実施)

[非常勤講師]早稲田大学教育学部(2007 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「英国 18-19 世紀予約購読出版詩集と定期刊行物における書評についての研究」[科研費](代表)
(2011 年 04 月 01 日～2014 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(英語教育)	氏名 竝木 崇康
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1950年1月
学歴・職歴	東京教育大学大学院文学研究科博士課程中退(1976年03月) 教育学部助手(1976年4月～1978年3月) 教育学部講師(1978年4月～1984年9月) フルブライト若手研究員として、アメリカのマサチューセッツ州立大学アマースト校に出張、言語学特に英語形態論の研究に従事(1982年8月～1983年8月) 教育学部助教授(1984年10月～1995年3月) 大学院教育学研究科助教授(1990年4月～1995年3月) 教育学部教授 大学院教育学研究科教授(1995年4月～) 文部省在外研究員としてアメリカのマサチューセッツ州立大学アマースト校に出張、言語学特に英語と日本語の形態論の研究に従事(1997年3月～1998年1月)
学位	文学修士[東京教育大学大学院]
受賞歴	茨城大学平成20年度推奨授業により学長表彰(Ibaraki University)(2009年06月10日)
所属学会	大塚英文学会, The Linguistic Society of America, Morphology and Lexicon Forum, 日本英語学会
専門分野	形態論 語彙 日本語学 語形成 英語学
教育研究概要	(キーワード)語形成、形態論、語彙論、複合語、語の構造、複合語の意味解釈
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[学習・調査・レポート作成の基礎力養成], 総合英語[学術用英語] (専門科目)英語学演習 I, 英語学概論 II, 英文法, 英語学演習 II, 英語学概論 I, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)英語学特論 I(生成文法理論研究), 英語科授業設計, 言語と文化総合研究, 英語学演習 I

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

竝木 崇康「複合語と派生語」, レキシコンフォーラム, , 6, 43-57, 2013.

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

日本英語学会 日本英語学会評議員(1990年11月～)
「自然言語処理の高度化に向けて」(共同研究): (不明年～)
「日本語レキシコンの文法的・意味的・形態的特性」(共同研究): 国立国語研究所(2009年10月～)
[非常勤講師]茨城キリスト教大学[非常勤講師](1998年04月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(英語教育)	氏名 齋藤 英敏
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1966 年 7 月
学歴・職歴	博士課程修了(2000 年) 茨城県立土浦湖北高等学校英語科教諭(1989 年 4 月～1991 年 7 月) (1992 年 8 月～1994 年 5 月) 千葉大学外国語センター 非常勤講師(英語)(1998 年 4 月～1999 年 3 月) フェリス女学院大学 非常勤講師(英語)(1998 年 4 月～1999 年 3 月) 立教大学ランゲージセンター 嘱託講師(英語)(1999 年 4 月～2000 年 3 月) 北星学園大学経済学部 専任講師(2000 年 4 月～2003 年 3 月) 北星学園大学経済学部 助教授(2003 年 4 月～2004 年 3 月) 茨城大学教育学部英語教育講座 助教授(2004 年 4 月～2006 年 3 月) 茨城大学教育学部英語教育教室 准教授(2006 年 4 月～)
学位	
受賞歴	なし
所属学会	National Council on Measurement in Education, 日本言語テスト学会, 大学英語教育学会, 日英・英語教育学会, 全国語学教育学会
専門分野	外国語テスト、評価 外国語学習、習得 外国語指導 外国語教育
教育研究概要	外国語教育での評価、テスト、外国語学習 (キーワード)外国語学習の評価、テスト、外国語学習、指導
担当科目	(教養科目)総合英語[レベル3] (専門科目)英語科教育法研究 II, 英語科教科論 II, 英語コミュニケーション IX, 英語コミュニケーション XII, 英語科教育法特講, 英語コミュニケーション VII, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)英語科授業設計, 英語科教育学特論 II(評価論概要), 言語と文化総合研究, 英語科教育学演習 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

SAITO, Hidetoshi, "The development of a new assessment form for the EFL discussion contest for junior high school students?Ibaraki Interactive English Forum", , 62, 269-281, 2013. SAITO, Hidetoshi / KINO, Itsumi/ SAITO, Takashi /, "Development of Listening Prochievement Tests for Third- Year Japanese Junior High School Students Studying English as a Foreign Language (Part

II” , , 61, 207-215, 2012.

「統合的スキル活動群をデザインする」, 第 36 回関東甲信地区英語教育研究協議会茨城大会報告書, , 71-76, 2013.

JACET SLA 研究会「第二言語習得と英語科教育法」, 開拓社, 1-23, 2013.

研究業績(2)学会発表など

Saito, H., “What Makes Peer Comments More “Formative” in Speaking Activities?” (第16回日本語テスト学会・2012年10月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

National Council of Teachers of English ・(2012年10月～)

日本教育大学協会 日本教育大学協会研究年報査読委員・(2012年05月～)

日本教育大学協会 外国語部門副部門長・(2012年04月～)

日本語テスト学会 JLTA Journal 査読員・(2012年04月～)

Lawrence Earlbaum Language Assessment Quarterly 査読員・(2012年01月～)

大学英語教育学会 JACET 賞選考委員・(2011年09月～)

全国語学教育学会 JALT Journal 査読委員・(2009年04月～)

日本語テスト学会 広報委員・(2007年09月～)

平成 24 年度教員免許状更新講習講師 (6/30)(2012年度)

平成 24 年度茨城県インタラクティブ・イングリッシュ・フォーラム審査員(8/20)(2012年度)

海外出張・海外研修・内地研修など

カナダ バンクーバー・サイエンス・ワールド、ノースバンクーバーアウトドアスクール、ノースバンクーバー学校区[研究協議、小学校視察](2012年11月～12月:6日間)

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 新井 英靖
-------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1972 年 5 月
学歴・職歴	東京学芸大学大学院教育学研究科修士課程修了(1998 年) 東京都立久留米養護学校(教諭)(1998 年 4 月～2000 年 9 月) 茨城大学教育学部(講師)(2000 年 10 月～) 茨城大学教育学部(准教授)(2007 年 10 月～)
学位	博士[東京学芸大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本発達障害学会, 日本教育学会, 日本教育方法学会, 日本特別ニーズ教育学会, 日本特殊教育学会
専門分野	障害児教育学 特別支援教育 障害児教育方法学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目[障害者と社会] (専門科目)病弱児の教育方法, 特別支援教育研究法, 障害児教育学特論 II/障害児教育学特論 II(障害児教育方法学), 知的障害児の教育方法, 障害児教育演習 II, 障害児教育学演習 II, 知的障害児指導法演習/障害児指導法演習/知的障害児指導法演習, 卒業研究(教育:4 単位)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

新井英靖「英国の障害者差別禁止法とインクルーシブ教育の発展過程に関する検討」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 62, 301-312, 2013.

「「インクルーシブ教育とユニバーサルデザインの授業づくり」. 渡邊健治編著『特別支援教育からインクルーシブ教育への展望』. 」, クリエイツかもがわ, 173-185, 2012.

新井英靖・金丸隆太・松坂晃・鈴木栄子「発達障害児者の防災ハンドブック いのちと生活を守る福祉避難所を」, クリエイツかもがわ, 1-18, 55-157, 2012.

研究業績(2)学会発表など**研究業績(3)芸術・体育系の活動**

社会的活動、地域貢献など

- 日本特殊教育学会 理事長補佐(2013年01月～2016年05月)
- 日本特殊教育学会 編集委員(2013年01月～2016年05月)
- 日本特殊教育学会 広報委員会幹事(2013年01月～2016年05月)
- 日本発達障害学会 編集委員(2012年04月～2015年03月)
- 日本特殊教育学会 研究委員会国際化小委員会委員(2009年12月～2012年11月)
- 日本特殊教育学会 長期計画検討委員会幹事(2009年12月～2012年11月)
- 日本特別ニーズ教育学会 理事・事務局長(2004年10月～2012年09月)
- [兼業]茨城県教育研修センター〔講師〕(2007年12月～)
- [兼業]茨城県特別支援教育推進連盟〔講師〕(2007年12月～)
- [兼業]水戸南高校〔講師〕(2007年11月～)
- [兼業]茨城県立伊奈養護学校〔講師〕(2007年11月～)
- [兼業]日立市教育研究会〔講師〕(2007年11月～)
- [兼業]茨城県立友部東養護学校〔講師〕(2007年10月～)
- [兼業]茨城県教育研修センター〔講師〕(2007年10月～)
- [兼業]茨城県立土浦養護学校〔講師〕(2007年09月～)
- [兼業]東京都立羽村養護学校〔講師〕(2007年08月～)
- [兼業]茨城県立水戸高等養護学校〔講師〕(2007年08月～)
- [兼業]全日本特別支援教育研究連盟〔講師〕(2007年08月～)
- [兼業]茨城県教育研究会〔講師〕(2007年08月～)
- [兼業]茨城県立鹿島養護学校〔講師〕(2007年08月～)
- [兼業]茨城県立つくば養護学校〔講師〕(2007年07月～)
- [兼業]茨城県教育研修センター〔講師〕(2007年06月～)
- [兼業]茨城県教育委員会〔講師〕(2007年06月～)
- [兼業]茨城県教育研修センター〔講師〕(2007年05月～)
- [兼業]社会福祉法人城里町社会福祉協議会〔講師〕(2007年05月～)
- [兼業]茨城県教育研修センター研究発表会〔助言者〕(2007年03月～)
- [兼業]京都府立医科大学FD研修会〔講師〕(2007年03月～)
- [兼業]茨城県特殊教育諸学校体育連盟体育研修会〔講師〕(2007年02月～)
- [兼業]茨城県教育委員会「個に応じた指導共同研修会」〔講師〕(2007年02月～)
- [兼業]茨城県立友部東養護学校校内研修会〔講師〕(2007年01月～)
- [兼業]茨城県立鹿島養護学校研究発表会〔助言者〕(2007年01月～)
- [兼業]東京都世田谷区立烏山小学校公開研究会〔講師〕(2006年12月～)
- [兼業]茨城県特殊教育諸学校教育研究会生活単元部会〔講師〕(2006年12月～)
- [兼業]東京都立高島養護学校校内研修会〔講師〕(2006年12月～)

[兼業]茨城県立土浦養護学校校内研修会〔講師〕(2006 年 12 月～)
 [兼業]茨城県立潮来保健所子育て支援健康講座〔講師〕(2006 年 12 月～)
 [兼業]東京都立多摩養護学校校内研修会〔講師〕(2006 年 11 月～)
 [兼業]茨城県学校教育相談研究会〔講師〕(2006 年 11 月～)
 [兼業]日立養護学校公開研究会〔講師〕(2006 年 11 月～)
 [兼業]常陸大宮保健所虐待児童相談研修会〔講師〕(2006 年 10 月～)
 [兼業]日立市立大久保中学校校内研修会〔講師〕(2006 年 09 月～)
 [兼業]茨城県教育研修センター〔講師〕(2006 年 08 月～)
 [兼業]東海村教育委員会主催研修会〔講師〕(2006 年 08 月～)
 [兼業]京都府館学校連絡協議会主催講習会〔講師〕(2006 年 08 月～)
 [兼業]牛久市教育委員会:幼児教育支援センター事業講演会〔講師〕(2006 年 07 月～)
 [兼業]日立市教育研究会〔講師〕(2006 年 06 月～)
 [兼業]茨城県県南教育事務所管内指導主事研修会〔講師〕(2006 年 02 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

イギリス ロンドン・ロンドン大学付属図書館〔資料検索、収集〕(2013 年 1 月:3 日間)

科学研究費補助金などの受領

「発達障害児のキャリア教育プログラムの開発」〔科研費〕若手研究(B)(代表)(2010 年 04 月 01 日～2013 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 荒川 智
-------------------	---------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1957年8月
学歴・職歴	筑波大学教育学研究科博士課程修了(1988年) 日本学術振興会特別研究員(1988年4月～1989年3月) 神奈川県立衛生短期大学講師(1989年4月～1994年3月) 茨城大学教育学部助教授(1994年4月～2002年3月) 茨城大学教育学部教授(2002年4月～)
学位	教育学博士[筑波大学]
受賞歴	日本特殊教育学会研究奨励賞(1996年)
所属学会	日本特殊教育学会, 日本教育学会, 教育史学会, 日本特別ニーズ教育学会(SNE学会)
専門分野	障害児教育、特別支援教育
教育研究概要	特別支援教育 障害児教育・特別支援教育の歴史、制度、行政、理念、方法 特別ニーズ教育・インクルーシブ教育の国際動向
	(キーワード)
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[特別支援教育入門], 生活・福祉系科目[障害者と社会] (専門科目)特別支援教育原論, 障害児教育学特論 I/障害児教育学特論 I(障害児教育学・教育史), 障害児教育総論, 障害学総合研究, 障害児教育演習 I, 障害児教育学演習 I, 特別なニーズをもつ子どもの教育, 障害児教育学演習 I, 卒業研究(教育:4単位)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>, "Diskussion über die Inklusion in Japan.", Die Schulleitung - Zeitschrift für Pädagogische Führung und Fortbildung in Bayern, 39 Jg., S.4-7, 2012.</p> <p>「(連載)インクルーシブ教育の本質を探る」『みんなのねがい』2012年度、4、5、8、9、12、3月号(各号とも p.40-43)</p>
--

研究業績(2)学会発表など

<招待講演> 日本特殊教育学会 50周年記念シンポジウム(シンポジスト「障害者権利条約への対応と
--

今後」(2012 年 09 月)

< 話題提供 > 日本特別ニーズ教育学会第 18 回大会課題研究「インクルーシブ教育についての国際比較研究 I」(2012 年 10 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本特別ニーズ教育学会理事(1995 年 10 月～)

日本特殊教育学会 理事(2009 年 12 月～)、代議員(2013 年 1 月)

全国障害者問題研究会・全国委員長(2009 年 08 月～)

[非常勤講師]茨城県教育委員会(1994 年 08 月～)

岩手大学教育学部

海外出張・海外研修・内地研修など

ドイツ メミンゲン・ビスマルク基幹学校、トゥッツィング市民教育アカデミー、ミュンヘン大学[学校見学、研修会講演、大学訪問](2012 年 10 月～11 月:12 日間)

科学研究費補助金などの受領

平成 24 年度科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究)「ESD の視点による教科・領域横断的学習活動の構築(研究代表者)

平成 24 年度科学研究費補助金(基盤研究 B)「欧米 8 カ国のインクルーシブ教育における合理的配慮のあり方に関する研究」(研究分担者)

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 尾崎 久記
-------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1949 年 8 月
学歴・職歴	東京教育大学大学院教育学研究科博士課程中退(1975 年 05 月) 東京教育大学助手教育学部(1975 年 6 月～1977 年 9 月) 茨城大学講師教育学部(1977 年 10 月～1985 年 6 月) 茨城大学助教授教育学部(1985 年 7 月～1994 年 9 月) 茨城大学教授教育学部(1994 年 10 月～)
学位	博士(医学)[名古屋大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本臨床神経生理学会(旧日本脳波筋電図学会), 日本特殊教育学会, 日本生理心理学会, 日本生理学会, 日本心理学会, 日本生体医工学会, 日本脳電磁図トポグラフィ研究会, 日本小児神経学会, 日本障害科学会
専門分野	特別支援教育 神経科学一般 実験系心理学
教育研究概要	<p>人間の発達と障害に関する認知神経科学</p> <p>教育活動としては、教育学部学校教育課程養護学校教育コースならびに特殊教育特別専攻科知的障害教育専攻にかかわる生理学分野専任教員として、「障害児生理学概論」、「障害児の病理」、「障害児生理心理学」、「障害児生理学研究法」を担当している。また、教育学研究科障害児教育専攻における「障害児生理学特論」、「障害児生理学演習」を担当するとともに、理工学研究科博士課程情報・システム科学専攻の「認知行動科学システム論」も担当し、これらのコース・専攻学生・院生の論文指導にあたっている。</p> <p>研究活動としては、脳波、事象関連電位、眼球運動、NIRS、心拍などを用いて感覚・運動・高次脳機能とその障害に関する認知神経科学的研究を展開している。研究の展開にあたっては、関連学部学生、特別専攻科生、院生との連携はもとより、日本学術振興会特別研究員、本学留学生センター教員、筑波大学教員、特殊教育諸学校教員などとも共同を組んで、以下のような研究を進めている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 触覚知覚: 事象関連電位や脳血流計測により、視覚障害者や超重症児における触覚情報の中枢処理過程解明。 2. 視知覚・視機能: 知的障害児・者や注意欠陥/多動性障害児・者が視覚情報をどのように取り込み、処理しているのかを事象関連電位、眼球運動、オートレフラクトメーターなどを用いて検討。

	<p>3. 聴知覚:知的障害児・者、読字障害児、日本語を母国語としない外国人などにおける聴覚刺激や音声言語音の知覚を、事象関連電位の一種であるミスマッチネガティブティを用いて検討。</p> <p>4. 運動:知的障害児・者を対象として、運動負荷にともなう心拍の推移から心肺機能を、また、事象関連電位や脳血流から脳における運動制御を検討。</p> <p>5. 言語:ダウン症症候群やウィリアムズ症候群における発語について、発語関連電位や脳血流計測により検討。</p>
	<p>(キーワード)発達障害 小児 認知機能 感覚機能 運動機能 脳波 事象関連電位 近赤外線スペクトロスコピィ</p>
担当科目	<p>(専門科目)知的障害児の病理/障害児の病理, 障害児生理学特論 II/障害児生理学特論 II(障害児生理学), 障害児生理学演習 II, 障害学総合研究, 障害児生理学演習 I, 障害児生理学演習 I, 卒業研究(教育:4 単位)</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

日本特殊教育学会(編) 前川久男(編集委員長)、尾久記(副編集委員長)、高橋智(副編集委員長)「障害百科事典(全 5 巻)」, 丸善出版, 2013.

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本特殊教育学会 理事長(2012 年 12 月～)

日本特殊教育学会 長期計画検討委員長(2009 年 12 月～2012 年 11 月)

日本特殊教育学会 常任理事(2006 年 12 月～)

日本障害科学会 理事(2006 年 07 月～)

日本脳電磁図トポグラフィー研究会 理事(2000 年 06 月～)

日本特殊教育学会 常任編集委員(1998 年 01 月～)

日本生理学会 評議員(1977 年 03 月～)

「注意欠陥・多動性障害の生理心理学」(共同研究):(不明年～)

「発達障害児の注意・認知機能の診断、評価とその指導に関する実験的、実践的研究」(共同研究):(不明年～)

「多角的認知活動計測解析システムの開発」(共同研究):(不明年～)

[兼業]特定非営利活動法人日本ブレインヘルス協会[理事](2005 年 12 月～)

[兼業]公益信託 中西和佐子記念視覚・聴覚障害者教育支援基金〔運営委員〕(2009 年 09 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「[「神経教育学」への展開を目指した技術系教科と脳科学の融合(Fusion of technologocal subjects and brain science to develop "Neuro-Education")」[科研費]萌芽研究(代表)(2011 年 04 月 01 日～2014 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 勝二 博亮
-------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1970 年 9 月
学歴・職歴	東京学芸大学連合学校教育学研究科博士課程(1999 年) 日本学術振興会 特別研究員(1998 年 4 月～1998 年 6 月) 茨城大学助手教育学部(1998 年 7 月～2000 年 3 月) 茨城大学講師教育学部(2000 年 4 月～2005 年 9 月) ドイツ連邦共和国ユスタス・リービヒ(ギーゼン)大学 客員研究員(2004 年 2 月～2005 年 2 月) 茨城大学助教授教育学部(2005 年 10 月～2007 年 3 月)
学位	教育学博士[東京学芸大学]
受賞歴	日本臨床神経生理学会 第 14 回奨励論文賞(日本臨床神経生理学会)(2012 年 11 月 09 日)
所属学会	日本 LD 学会, International Society for Brain Electromagnetic Topography, 認知神経科学会, 日本脳電磁図トポグラフィー研究会, 日本生理心理学会, 日本臨床神経生理学会, 日本特殊教育学会
専門分野	認知神経科学 障害児教育 実験系心理学
教育研究概要	(キーワード)脳科学 特別支援教育
担当科目	(教養科目)人間と心[行動の心理学的基礎] (専門科目)障害児生理学特論 I/障害児生理学特論 I(発達障害学), 特別支援教育研究法, 病弱児の生理, 障害児生理学特別研究 II, 障害児生理演習 II, 知的障害児の生理, 障害児生理学演習 I, 障害児生理機能評価法/障害児生理心理学(人間環境), 障害児生理機能評価法, 障害児生理学演習 II, 卒業研究(教育:4 単位)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

勝二博亮, 「幼児期における基本運動の発達段階-知的障害児のためのアセスメント法の開発-」, 発達研究, 26, 63-72, 2012.

Taichi Hirayama, Hiroaki Shoji, Hisaki Ozaki, "Event-related potentials topographic changes due to simultaneous presentation of audio-visual stimuli.", Complex Medical Engineering (CME), 2012 ICME International Conference on CD-ROM. , 449-454, 2012.

研究業績(2) 学会発表など

Taichi Hirayama, Hiroaki Shoji, Hisaki Ozaki, "Event-related potentials topographic changes due to simultaneous presentation of audio-visual stimuli.", (Complex Medical Engineering (CME), 2012 年 07 月)

Miyuki Hosokawa, Yukihito Shinohara, Tamie Matsumura, Hiroaki Shoji, "Relationship between cognitive functions and reading of Japanese KANA characters in early childhood." (XXX International Congress of Psychology, 2012 年 07 月)

勝二博亮, 「小学生における文章理解力とワーキングメモリ」(日本 LD 学会第 21 回大会・2012 年 10 月)
郡司理沙・勝二博亮, 「幼児におけるひらがな書字能力と認知機能との関連」(日本 LD 学会第 21 回大会・2012 年 10 月)

緑川舞代・勝二博亮, 「自閉性障害事例における特徴行動と発語出現による変容 -ストレス状態と夜間睡眠との関連-」(日本特殊教育学会第 50 回大会・2012 年 09 月)

勝二博亮・齊藤喜紀・三村和子・玉川久美子・富安智映子・白土久江, 「知的障害児における基本運動の発達評価と体育の授業づくり -基本運動発達アセスメントを通して-」(日本特殊教育学会第 50 回大会・2012 年 09 月)

溝越彩乃・勝二博亮・平山太市・尾崎久記, 「累積評価がフィードバック関連陰性電位に及ぼす影響 -ADHD 傾向との関連から-」(第 29 回日本脳電磁図トポグラフィ研究会(JSBET2012)・2012 年 09 月)

溝越彩乃・勝二博亮・平山太市・尾崎久記, 「事象関連電位からみた累積フィードバックによる影響」(第 30 回日本生理心理学会大会・2012 年 05 月)

瀬谷裕輔・尾崎久記・勝二博亮, 「脳血流からみた書字動作とそのイメージ」(第 30 回日本生理心理学会大会・2012 年 05 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動**社会的活動、地域貢献など**

日本臨床神経生理学会 評議員(2009 年 10 月～)

[兼業]茨城大学[講師(教員免許更新制)](2010 年 08 月～)

[兼業]NPO 全国ことばを育む会・茨城県ことばを育む親の会[教育相談](2010 年 08 月～)

[兼業]茨城県教育委員会[講師(教育教員免許法認定講習)肢体不自由児の心理・生理・病理](2011 年 07 月～)

[兼業]茨城県教育委員会[講師(教育教員免許法認定講習)病弱児の心理・生理・病理](2009 年 07 月～)

[兼業]茨城県教育委員会[講師(教育教員免許法認定講習)重度重複障害](2009 年 07 月～)

[兼業]茨城県立水戸飯富特別支援学校[講師](2012 年 6 月～2013 年 3 月)

[兼業]茨城県立盲学校〔学校評議員〕(2011 年 4 月～)
[兼業]茨城県立盲学校〔教科書選定委員〕(2012 年 4 月～)
[兼業]茨城県県北生涯学習センター〔講師(県民大学)〕(2012 年 6 月)
[兼業]茨城県鹿行生涯学習センター〔講師(県民大学)〕(2012 年 7 月)
[兼業]青山学院大学〔非常勤講師〕(2013 年 2 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「書字困難児の早期支援プログラムの開発」〔科研費〕基盤研究(C)一般(代表)(2011 年 04 月 01 日～2015 年 03 月 31 日)
「「神経教育学」への展開を目指した技術系教科と脳科学の融合」〔科研費〕(分担)(2011 年 04 月 01 日～2014 年 03 月 31 日)
「自閉症児に不安を与えない支援のあり方の検討」〔科研費〕(分担)(2011 年 04 月 01 日～2014 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 東條 吉邦
-------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1951年5月
学歴・職歴	東京教育大学大学院教育学研究科修士課程修了(1978年) 国立特殊教育総合研究所分室研究員(1979年10月～1992年9月) 国立特殊教育総合研究所分室主任研究官(1992年10月～1999年3月) 国立特殊教育総合研究所分室長(1999年4月～2004年3月) 茨城大学教育学部教授(2004年4月～) 放送大学客員教授(2006年4月～2011年3月)
学位	博士(心理学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本心理学会, 日本発達心理学会, 日本自閉症スペクトラム学会, 日本特殊教育学会, 日本臨床発達心理士会, 日本生理心理学会, 日本教育心理学会
専門分野	特別支援教育 実験心理学 臨床心理学 教育心理学
教育研究概要	<p>教育活動としては、教育学部学校教員養成課程の特別支援教育コース、特別支援教育特別専攻科、大学院教育学研究科障害児教育専攻にかかわる心理学の分野の教員として、「障害児発達臨床学」、「発達障害児教育概論」、「障害児心理学研究法」、「障害児心理演習」、「障害児心理学特論」、「障害児心理学演習」等を担当し、これらのコース・専攻の学生・院生の論文指導にあっている。研究活動としては、発達心理学・臨床心理学・認知神経科学を中心に、生物－心理－社会の統合的アプローチから、自閉症スペクトラムの探究に取り組むとともに、特別支援教育の在り方・内容・方法について研究している。具体的には、1) 自閉症スペクトラムにおける感覚・感情・表情認知などに関する研究、2) 心の理論(他者の考えを推測する能力)に関する研究、3) アセスメント技法の開発、4) コミュニケーション支援、5) 社会性の発達(特に対人関係と自己統制力の発達と育成)、6) 大脳の左右半球機能差の研究などを展開している。</p> <p>(キーワード) 自閉症スペクトラム、発達障害、臨床発達心理学、認知神経科学、生物－心理－社会アプローチ、大脳の左右半球機能差、社会性の発達、心の理論</p>
担当科目	(教養科目) 人間と心[行動の心理学的基礎] (専門科目) 特別支援教育研究法, 発達障害児教育概論, 障害児心理学特論 II/障害児心理学特論 II(障害児臨床心理学), 障害児心理学特別研究 II, 障害児発達臨

床学/障害児臨床学, 障害児心理演習 II, 障害児心理学演習 II, 障害児心理学演習 II, 卒業研究(教育:4 単位)
--

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

Akechi, H., Kikuchi, Y., Tojo, Y., Osanai, H., & Hasegawa, T., "Brief report: pointing cues facilitate word learning in children with autism spectrum disorder.", *Journal of Autism and Developmental Disorders*, 43, 1, 230-235, 2013.

滝明日香・東條吉邦「東日本大震災と知的障害児の行動変化」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 62, 283-300, 2013.

加茂聡・東條吉邦「発達障害に見られる不登校の実態と支援に関する研究」, 自閉症スペクトラム研究(日本自閉症スペクトラム学会), 10, 1, 29-36, 2013.

中山真人・初塚真喜子・東條吉邦「憲法上の権利から考える自閉症スペクトラム障害(ASD)への支援のあり方」, 自閉症スペクトラム研究(日本自閉症スペクトラム学会), 10, 1, 53-63, 2013.

日本発達心理学会「発達と支援」, 新曜社, 240-253, 2012.

研究業績(2)学会発表など

Kikuchi, Y., Tojo, Y., Osanai, H., & Hasegawa, T., "Eye contact enhances the accuracy of hand imitation in children with ASD." (11th International Meeting for Autism Research, 2012 年 05 月)

Akechi, H., Kikuchi, Y., Tojo, Y., Osanai, H., & Hasegawa, T., "Cross-situational Word Learning In Children with ASD." (11th International Meeting for Autism Research, 2012 年 05 月)

田中望、藤野博、神井享子、松井智子、東條吉邦、長内博雄、「自閉症スペクトラム障害児における”ホット”な実行機能の発達—ギャンブル課題を用いた定型発達児との比較」(日本発達心理学会第 24 回大会・2013 年 03 月)

神井享子、藤野博、田中望、松井智子、東條吉邦、長内博雄、「自閉症スペクトラム障害児における心の理論と実行機能の関連について(2)—プランニングと抑制の視点からの分析—」(日本発達心理学会第 24 回大会・2013 年 03 月)

三浦優生、松井智子、藤野博、東條吉邦、長内博雄、「自閉症スペクトラム児における感情プロソディーの理解」(日本発達心理学会第 24 回大会・2013 年 03 月)

明地洋典・菊池由葵子・東條吉邦・長内博雄・長谷川寿一、「自閉症スペクトラム者はモノの中に顔を見るか?」(日本発達心理学会第 24 回大会・2013 年 03 月)

菊池由葵子・東條吉邦・長内博雄・長谷川寿一、「自閉症児におけるアイコンタクトと手の模倣行動の関係」(日本発達心理学会第 24 回大会・2013 年 03 月)

荻野加菜、藤野博、神井享子、松井智子、東條吉邦、長内博雄、「心の理論と言語発達の関係—定型発達児と自閉症スペクトラム障害児の比較—」(日本発達心理学会第 24 回大会・2013 年 03 月)

臼井さおり・東條吉邦・長内博雄・長谷川寿一、「自閉症児と定型発達児における模倣対象の選択に関する検討(2)」(日本発達心理学会第 24 回大会・2013 年 03 月)

神井享子、藤野博、荻野加菜、松井智子、東條吉邦、長内博雄、「自閉症スペクトラム障害児における

心の理論と実行機能の関連について一異なったタイプの心の理論課題の成績からの検討一」(日本特殊教育学会第 50 回大会・2012 年 09 月)

滝明日香・東條吉邦,「東日本大震災と ASD 児の行動変化」(日本自閉症スペクトラム学会第 11 回研究大会・2012 年 08 月)

渡邊喜久枝・東條吉邦,「自閉症スペクトラム児に対する就学支援ー不安が強く登園渋り傾向の幼児ー」(日本自閉症スペクトラム学会第 11 回研究大会・2012 年 08 月)

中山真人・初塚真喜子・東條吉邦,「自閉症スペクトラムの児童・生徒に対する特別支援教育のあり方」(日本自閉症スペクトラム学会第 11 回研究大会・2012 年 08 月)

〈基調講演,招待講演〉茨城県精神保健協会(基調講演「発達障害のケアとサポート」)(2012 年 08 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本自閉症スペクトラム学会 編集委員長(2002 年 03 月～2013 年 03 月)

日本自閉症スペクトラム学会 常任理事(2006 年 04 月～)

日本臨床発達心理士会 茨城支部長(2006 年 05 月～2012 年 05 月)

日本特殊教育学会 編集委員(2001 年 02 月～)

[自治体での社会教育]茨城県平成 24 年度教育職員免許法認定講習「LD 等教育総論」(2012 年度実施)

水戸市障害児就学指導委員会(2012 年度)

[兼業]水戸市教育委員会〔水戸市障害児就学指導委員〕(2006 年 04 月～2013 年 03 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「自閉症児に不安を与えない支援のあり方の検討」[科研費](代表)(2011 年 04 月 01 日～2015 年 03 月 31 日)

「自閉症児の音声受容特性に関する基礎研究-会話スキルの向上を目指して」[科研費]基盤研究(B)一般(分担)(2009 年 04 月 01 日～2014 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 加藤 崇英
------------------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1970年11月
学歴・職歴	山形大学教育学部講師(2002年～2005年) 山形大学地域教育文化学部助教授(2005年～2006年) 国立教育政策研究所 研究員(2006年～2007年) 国立教育政策研究所 主任研究官(2007年～2009年) 茨城大学教育学部准教授(2009年～)
学位	修士(教育学)
受賞歴	なし
所属学会	日本教育行政学会, 日本教育経営学会
専門分野	教育学 学校経営 教育行政
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)教育の制度と経営, 教育の制度と経営, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)学校経営論特論, 学校経営演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「討論のまとめ(課題研究報告 分権改革下における学校組織の変容と教職員の感情(2)研究の課題と枠組)」, 日本教育経営学会紀要, , 54, 142-147, 2012.

篠原清昭編著「学校改善マネジメント」, ミネルヴァ書房, 151-165, 2012.

研究業績(2)学会発表など**研究業績(3)芸術・体育系の活動****社会的活動、地域貢献など**

日本教育経営学会 国際交流推進委員(2012年～)

日本教育経営学会 研究推進委員(2012年～)

日本教育経営学会 研究推進委員(2009年～2012年)

茨城県教育研修センター 新任校長研修講座(学校組織マネジメント)(2012年05月～2012年06月)
[兼業]茨城県教育研修センター〔新任校長研修講座(学校組織マネジメント)〕(2012年05月～2012年06月)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 三輪 壽二
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1961年10月
学歴・職歴	千葉大学教育学研究科修士課程修了(1991年)
学位	修士(教育学)[千葉大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本学校健康相談学会, 日本カウンセリング学会, 日本教育心理学会, 日本社会臨床学会
専門分野	教育相談、臨床心理学、社会臨床論
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)人間と心[心理学から見る人間理解] (専門科目)学校教育相談, 心理臨床援助法実習 I, 心理臨床検査法演習, 学校教育相談/学校教育相談(心理), 心理臨床援助法実習 II, 人格心理学, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)教育臨床心理特論/家族心理学特論, 臨床家族心理学特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「臨床」をめぐる雑記(1), 社会臨床雑誌, 19, 3, 36-42, 2012.

研究業績(2)学会発表など**研究業績(3)芸術・体育系の活動****社会的活動、地域貢献など**

[その他]キレる子ども、多動児の指導のあり方, 茨城県学校教育相談研究会(2012年度実施)

[その他]思春期の特徴、親の対応, 水戸市立第三中学校(2012年度実施)

茨城県生徒指導推進会議委員(2012年度)

教育相談担当者研修会講師(3回)(2012年度)

水戸市小中学校教科用図書審議会委員(2012年度)

茨城県教育委員会 スクールカウンセラー(2012年04月～2013年03月)

放送大学茨城学習センター 客員教員(2012年04月～2013年03月)

[その他]茨城県教育委員会[スクールカウンセラー](2012年04月～2013年03月)
[非常勤講師]放送大学茨城学習センター[客員教員](2012年04月～2013年03月)
[社団法人いはらき思春期保健協会副理事長](2012年04月～2013年03月), 協会副理事長[社団法人いはらき思春期保健協会](2010年04月～), 協会幹事、協会主催講座の講師など[社団法人いはらき思春期保健協会](2006年04月～)

海外出張・海外研修・内地研修など**科学研究費補助金などの受領**

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 望月 厚志
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1953 年 12 月
学歴・職歴	立教大学文学研究科博士課程単位取得満期退学(1987 年) 川村学園女子大学教育学部社会教育学科専任講師(1991 年 4 月～1995 年 3 月) 川村学園女子大学教育学部社会教育学科助教授(1995 年 4 月～2001 年 9 月) 川村学園女子大学教育学部社会教育学科教授(2001 年 10 月～2003 年 3 月) 常葉学園大学教育学部生涯学習学科教授(2003 年 4 月～2005 年 3 月) 茨城大学教育学部教授(2005 年 4 月～)
学位	文学修士[立教大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本生涯教育学会, 日本教師教育学会, 日本教育社会学会, 日本教育制度学会, 日本教育学会, 関東教育学会, 日本キャリアデザイン学会, 日本キャリア教育学会
専門分野	生涯学習, 社会教育, 教師教育 教育学
教育研究概要	<p>・ 教育活動</p> <p>1. 授業関係 学部:教育実践と教師, 社会教育演習, 社会教育実習, 生涯学習論, 社会教育, 総合演習, 主題別ゼミナール, 卒業研究(卒業論文)指導, 教育実習指導, 総合科目(人間と社会), 担当。 大学院:生涯教育論特論, 生涯教育論演習, 学校教育総合研究, 特別課題研究(修士論文)指導, 担当。</p> <p>2. 学生指導 2005 年度入学生学年担任, 委託生指導, 全学就職センター相談員。</p> <p>3. 学外関係 社会教育主事講習(文部科学省), 栄養教諭認定講習(茨城県教育委員会), 10 年経験者研修講座(茨城県教育研修センター), 社会教育基礎講習(茨城県教育委員会・茨城大学), 茨城県教育研究連盟研究集会(茨城県教育研究連盟), 高校での大学模擬授業, 担当。</p> <p>・ 研究活動 「教師の生涯学習に関する調査研究」(研究業績一覧を参照)。 「教師のキャリア・デザイン」及び「キャリア教育」の研究。</p>

	「学校評議員」制度の機能確立のための地域・学校連携システムの開発(科学研究費補助金研究)の研究。
	(キーワード)
担当科目	(教養科目)就業力育成・ステップアップ系科目[キャリア形成と自己実現]/人間・文化系科目 (専門科目)教育実践と教師(教職共通)/教育実践と教師[人環用教職], 教育実践と教師(教職共通), 教師のキャリア・デザイン, 社会教育演習, 生涯学習論(教職共通)/生涯学習論(情報・人間)/生涯学習論(情報・人間), 社会教育実習, 生涯学習論(情報・人間), 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)生涯教育論演習

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

韓国 ソウル・KNT KOREA[インターンシップ覚書締結及び現地調査](2012 年 6 月:3 日間)

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 村野井 均
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1953年12月
学歴・職歴	筑波大学心理学研究科博士課程単位取得満期退学(1984年) 弘前学院大学一般教育部 講師(1984年4月～1987年3月) 弘前学院大学一般教育部 助教授(1987年4月～1988年3月) 福井大学教育学部 助教授(1988年4月～1999年3月) 福井大学教育地域科学部 助教授(1999年4月～2004年3月) 国立大学法人福井大学教育地域科学部 助教授(2004年4月～2004年12月) 国立大学法人福井大学教育地域科学部 教授(2005年1月～2005年9月) 国立大学法人茨城大学教育学部 教授(2005年10月～) 茨城大学教育学部附属総合教育実践センター長(2010年4月～2012年3月) 茨城大学教育学部附属小学校校長(2012年4月～2015年3月)
学位	教育学修士[筑波大学]
受賞歴	福井大学 IT 優秀アイデア賞(2002年), 福井大学 IT 優秀アイデア賞(2001年)
所属学会	日本教育メディア学会, 日本教育工学会, 日本発達心理学会, 日本教育心理学会, 日本心理学会
専門分野	発達心理学 教育心理学 教育工学 社会心理学
教育研究概要	子どものテレビ理解, 児童・生徒による映像制作 子どもの作った映像作品の放送 子どものテレビ理解 児童・生徒による映像制作 子どもの作った映像作品の放送 (キーワード)メディア・リテラシー テレビ 映像制作 学校と地域の連携 放送
担当科目	(教養科目)人間・文化系科目[テレビ理解の心理学] (専門科目)発達心理学, 生涯学習とメディア, 幼児心理学, 発達の理解 II/発達の理解B, 発達心理学特講, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)発達心理学特論, 発達臨床心理学特論, 発達心理学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

小林克行・栗原裕弥・横山由里恵・湯瀬英寿・久保田愛弓・太田加代・笹島千香子・西野美奈子・村野井均「幼小連携の視点から見た茨城大学教育学部附属小学校児童の運動能力の経年的変化」, 茨城

大学教育学部紀要(教育科学) , 62, 389-396, 2012.

村野井均 「ふたたび「生きる力」を考える」, 茨城教育, 社団法人茨城県教育会, 839, 4-15.

村野井均 「博物館情報・メディア論」, ぎょうせい, 53-66, 2013.

研究業績(2)学会発表など

〈司会・議長・コンビーナ・コーディネータ,企画・運営〉講演会「電子教科書の現在 -全国の教育実態をもとに-」(実行委員長)(2012年12月)

〈企画・運営〉日本教育メディア学会第2回研究会(実行委員長)(2012年12月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本教育メディア学会 常任理事(2006年10月～)

日本教育メディア学会 研究委員会委員(2003年10月～)

日本教育メディア学会 日本教育メディア学会井内賞選考委員会・選考委員会副委員長(2012年04月～2014年03月)

日本教育メディア学会 「博物館情報・メディア論」編集委員・編集委員(2010年12月～2013年03月)

日本教育メディア学会 日本教育メディア学会編集委員会・編集委員(2010年10月～2014年03月)

日本教育大学協会評議委員(2012年04月～2014年03月)

日本教育大学協会関東地区評議員会(2012年04月～2014年03月)

茨城県教育研究会評議員(2012年4月～2013年03月)

[その他]今のテレビはこうなっている ～子どものテレビ理解と放送局～, 茨城大学教育学部附属小学校 PTA 成人教育委員会(2012年度実施)

[出前授業]テレビ理解の心理学, 岩手県立大船渡高等学校(2012年度実施)

[出前授業]テレビ理解の心理学, 茨城県立佐竹高等学校(2012年度実施)

[その他]今のテレビはこうなっている～子どものテレビ視聴と放送局～, 茨城大学教育学部附属小学校 PTA 成人教育委員会(2012年度実施)

[その他]子どもの発達のしくみを学ぶ, 茨城県学童保育連絡協議会(2012年度実施)

茨城大学生涯学習教育研究センター 社会教育主事講習講師(2012年07月)

[兼業]NHK 放送文化研究所[Reviewer](2010年04月～2014年03月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「教員養成教育における電子黒板・デジタル教科書を活用した教育方法に関する実践的研究」[科研費]萌芽研究(分担)(2012年04月01日～2014年03月31日)

「電子黒板・デジタル教科書の活用に関する小・中学校連携研究」[実践センター・学部附属学校連携

研究費補助金](分担)(2012年04月～2013年03月)

「附属学校園との連携研究」[茨城大学 特別経費(教員養成の充実)](代表)(2012年04月01日～2013年03月31日)

「模擬授業室の充実 教育実践総合センターの充実」[茨城大学 特別経費(教員養成の充実)](代表)(2012年04月～2013年03月)

「接続期に特化したメディア・リテラシー教育の幼小連携プログラムの推進と評価」[科研費](分担)(2011年04月01日～2013年03月31日)

「ESDの視点による教科・領域横断的学習活動の構築」[科研費]萌芽研究(分担)(2010年04月04日～2013年03月31日)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 小川 哲哉
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1958年2月
学歴・職歴	広島大学大学院 教育学研究科博士後期課程修了(2005年03月) 広島大学教育学部助手(1987年4月～1988年3月) 九州産業大学 講師(1988年10月～1992年3月) 九州産業大学 助教授(1992年4月～2001年3月) 九州産業大学 教授(2001年4月～2004年3月) 九州産業大学大学院 教授(2004年4月～2010年3月) 茨城大学教育学部 教授(2010年4月～)
学位	博士(教育学)[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本ペスタロッチャー・フレーベル学会, 教育哲学会, 日本教育学会, 日本教育メディア学会, 日本道德教育学会, 日本道德教育方法学会, 日本教師教育学会,
専門分野	教育学、教師教育学、道德教育学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)教育の本質と理念(教職共通)/教育の本質と理念[人環用教職], 教育史演習 I, 平和教育の理論と実践, 教育哲学特講, 教育の本質と理念(教職共通), 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)教育原論特論, 教育原論演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

小川哲哉「古典的寓話の「翻案」教材化に関する一考察—イソップ寓話の分析を中心に—」, 日本道德教育方法学会『道德教育方法研究』, , 18, 2013.

小笠原道雄、田代尚弘、堺正之共編『『道德教育の可能性—徳は教えられるか—』, 福村出版, 126-133, 2012.

小川哲哉、佐喜本愛、松本和寿、勝山吉章『『日本の教育の歴史を知る』, 青簡舎, 36-54, 89-103, 2012.

小川哲哉、勝山吉章、井上豊久『『現代教育の論究』, 青簡舎, 3-14, 62-76, 2012.

研究業績(2)学会発表など

小川哲哉, 「自己探求活動を通じた道徳的価値の理解ーイソップ寓話の創作教材化を通してー」(日本道徳教育方法学会第 18 回大会・2012 年 06 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本ペスタロッチャー・フレーベル学会 理事(2012 年～2015 年)

日本道徳教育方法学会 評議員(2009 年 06 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「教員養成教育における電子黒板・デジタル教科書を活用した教育方法に関する実践的研究」[科研費]萌芽研究(代表)(2012 年 04 月 01 日～2015 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 生越 達
------------------	---------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1960年1月
学歴・職歴	東京大学教育学研究科博士課程(1992年) 茨城大学教育学部教授(2004年4月～)
学位	教育学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本生活指導学会, 社会臨床学会, 日本人間性心理学会, 日本教育方法学会, 日本教育学会
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)教育方法、生活指導、教育相談、子ども論、現象学的研究、人間性心理学、授業研究、不登校、子どもの「問題行動」
担当科目	(専門科目)教育臨床の視点から実践をみる, 生活指導の方法, 教育的関係論特講, 生活指導の方法, 教育的関係論演習, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)教育方法学特論, 教育方法学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>「歴史学習における思考指導についての一考察」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 62, 433-446, 2013.</p> <p>「新美南吉作品における孤独と「つながり」」, 茨城大学教育学部紀要(教育価格), 62, 417-432, 2013.</p> <p>「概念的出会い」と「臨床的出会い」をめぐって」, 社会臨床雑誌, 20, 3, 8-14, 2013.</p> <p>「集団内における重い気分の表明とその伝達—フリースクールでのエピソードから考える—」, 学ぶと教えるの現象学研究十五, , 19-28, 2013.</p> <p>「名づけることは何を生みだすか」, 社会臨床雑誌, 20, 1, 87-89, 2012.</p> <p>「教育の最新事情」, , 2012.</p> <p>「現代教育の論究」, 青かん社, 49-61, 2012.</p>

研究業績(2)学会発表など

, 「学校の中の「発達障害」を問う」(日本社会臨床学会総会・2012年06月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- [その他]七会東小学校保護者向け研修会 講師(2012 年度実施)
- [自治体での社会教育]ひたちなか市 教育相談研修会 講師(2012 年度実施)
- [自治体での社会教育]茨城県看護教員研修会 講師(2012 年度実施)
- [自治体での社会教育]水戸市総合教育研究所 教育相談事例検討会助言者(2012 年度実施)
- [出前授業]水城高校模擬授業(2012 年度実施)
- [自治体での社会教育]協和養護学校研修会 講師(2012 年度実施)
- [自治体での社会教育]那珂湊市教職員研修会 講師(2012 年度実施)
- [自治体での社会教育]東海村夏季教職員研修会 講師(2012 年度実施)
- [その他]茨城県健康プラザ研修会 講師(2012 年度実施)
- [その他]茨城県思春期協会研修会 講師(2012 年度実施)
- [茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]社会教育研修会 講師(2012 年度実施)
- [自治体での社会教育]笠間市適応指導教室研修会講師(2012 年度実施)
- [自治体での社会教育]実習指導者講習会講師(2012 年度実施)
- [自治体での社会教育]東海村 講師(2012 年度実施)
- [その他]茨城大学附属フォーラム シンポジウム 発表者(2012 年度実施)
- [その他]茨城大学附属小学校 公開研究会助言者(2012 年度実施)
- [その他]茨城大学附属中学校公開研究会共同研究者(2012 年度実施)
- [茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]免許更新講習講師(2012 年度実施)
- [自治体での社会教育]茨城県研修センター 教育相談講師(2012 年度実施)
- [その他]茨城県スクールカウンセラー(2012 年度実施)
- 茨城県専任教員養成運営委員会委員(2012 年度)
- 常陸大宮市教育振興計画作成委員会委員長(2012 年度)
- 常陸大宮市適正配置委員会委員長(2012 年度)
- 大洗町教育評価委員会委員(2012 年度)
- 茨城県教育庁 教育判定会議委員(2012 年度)
- [出前授業]水海道第一高等学校(2007 年 11 月～)
- [出前授業]中央高等学校(2007 年 10 月～)
- [出前授業]牛久栄進高等学校(2007 年 10 月～)
- [出前授業]日立第一高等学校(2007 年 10 月～)
- [出前授業]福島県立磐城桜ヶ丘高等学校(2007 年 07 月～)
- [非常勤講師]看護協会 教育原理(2007 年 07 月～)
- [出前授業]鉾田第一高等学校(2007 年 07 月～)
- [公開講座]実践心理教育相談講座(初級)(2007 年 05 月～)

[出前授業]茨城県土浦湖北高等学校(2006年11月～)
[出前授業]茨城県下館第一高等学校(2006年10月～)
[出前授業]茨城県土浦第二高等学校(2006年08月～)
[出前授業]福島県立磐城桜ヶ丘高等学校(2006年07月～)
[出前授業]茨城県総和高等学校(2006年07月～)
[公開講座]実践心理教育相談講座(2006年05月～)
[兼業]NPO 法人すだち理事(2006年04月～)
[公開講座]実践心理教育相談講座(2005年09月～)
[その他]水戸市立第五中学校学校評議員(2004年04月～)
[その他]茨城県カウンセリングアドバイザー(2002年04月～)
[兼業]茨城県スクールカウンセラー(1996年04月～)
[NPO 法人すだち](年度不詳), [茨城県カウンセリングアドバイザー](年度不詳), [茨城県青少年アドバイザー](年度不詳), [いわき市](年度不詳), [東海村](年度不詳), [大子町](年度不詳)

海外出張・海外研修・内地研修など**科学研究費補助金などの受領**

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 佐藤 環
------------------	---------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1960年4月
学歴・職歴	広島大学教育学研究科博士後期課程単位取得満期退学(1995年03月) 岡山女子短期大学(現岡山短期大学)幼児教育学科・専任講師(1995年～1998年) 岡山女子短期大学(現岡山短期大学)幼児教育学科・助教授(1998年～2001年) 常磐大学人間科学部・助教授 准教授(2001年～2010年) 常磐大学人間科学部・教授(2010年～2012年) 茨城大学教育学部・教授(2012年～)
学位	修士(教育学)[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	中等教育史学会, 日本教育史研究会, 日本教育史学会, 全国地方教育史学会, 日本数学史学会, 日本教育学会, 教育史学会
専門分野	教育学 日本教育史 日本史
教育研究概要	近世藩校の算術・武芸における教育課程や師範任用の組織化がいかになされてきたかを考えてきた。それに加え, 現在は近代女子中等教育史, 特に正系学校である高等女学校に比して従来看過されてきた傍系の女学校, すなわち「高等女学校ニ類スル各種学校」の教育史的意義とその展開を追っている。 (キーワード)藩校教育, 数学, 武芸, 弓術, 学校における業績主義の定着, 試験制度, 近代女子中等教育史, 高等女学校, 「高等女学校ニ類スル各種学校」
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[教育学入門] (専門科目)学校教育課程論, 教師の資質と教職設計A, 学校教育課程論, 学校と教育の歴史, 教師の資質と教職設計B, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)学校教育総合研究, 近代学校教育史特論, 近代学校教育史演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

佐藤 環「茨城県における私立女学校の展開 ―水戸常磐女学校・常磐高等女学校を中心として―」,
茨城県立歴史館『茨城県史研究』, , 97, 75-89, 2013.
佐藤環編著「日本の教育史」, あいり出版, 2013.

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

全国地方教育史学会 事務局長(2012年06月～)
 全国地方教育史学会 常任幹事(2011年05月～)
 全国地方教育史学会・事務局長(2012年06月～)
 全国地方教育史学会・常任幹事(2011年05月～)
 中等教育史研究会・(2006年05月～)
 日本教育史研究会・(1996年04月～)
 日本教育史学会・(1994年04月～)
 全国地方教育史学会・会員(1994年02月～)
 日本数学史学会・(1993年05月～)
 日本教育学会・(1992年12月～)
 教育史学会・(1990年04月～)

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]教員免許状更新講習「教職についての省察」, 茨城大学
 (2012年度実施)

[その他]茨城大学オープンキャンパス「学校教育の特質と問題点ー学校教育史の観点からー」, 茨城
 大学(2012年度実施)

[出前授業]茨城県立水戸桜ノ牧高等学校「教育の“常識”を考える」, 茨城県立水戸桜ノ牧高等学校
 (2012年度実施)

[出前授業]秋田県立湯沢高等学校「教育の“常識”を考える」, 秋田県立湯沢高等学校進路指導部
 (2012年度実施)

常磐大学 (2012年04月)

[非常勤講師]常磐大学(2012年04月～)

[茨城県弓道連盟堀原支部事務局](2009年04月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 杉本 憲子
------------------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1973年7月
学歴・職歴	名古屋大学教育発達科学研究科博士課程単位取得満期退学(2001年)
学位	修士(教育学)[名古屋大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育方法学会, 日本生活科・総合的学習教育学会, 中部教育学会, 日本教育学会
専門分野	教育方法学
教育研究概要	(キーワード)教育方法、授業研究
担当科目	(専門科目)生活科内容研究, 教育臨床の視点から実践をみる, 教育の方法と技術, 総合演習, 教育の方法と技術, 生活科教育法研究, 学習指導の方法, 学習指導演習, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)教授学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

杉本憲子「子どもの表現および話し合いの深化を促す教師の指導のあり方」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 62, 447-457, 2013.

研究業績(2)学会発表など**研究業績(3)芸術・体育系の活動****社会的活動、地域貢献など**

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]特別活動の今日的課題と実践, 茨城大学(2012年度実施)

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]教育政策の動向についての理解, 茨城大学(2012年度実施)

[出前授業]子どもの学びを考える, 茨城県立麻生高等学校(2012年度実施)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「集団思考の深化を図る授業過程の構築に関する理論的・実証的研究」[科研費]若手研究(B)(代表)
(2012 年 04 月～)

「授業における児童の関係認識の発展に関する実証的研究」[科研費]若手研究(B)(代表) (2008 年 04
月 01 日～)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 田代 尚弘
------------------	----------

教員履歴など

現職	副学長
生年月	1947年1月
学歴・職歴	広島大学教育学研究科博士課程単位取得満期退学(1975年)
学位	教育学博士[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	教育思想史学会, 日本教育学会, 教育哲学会, ディルタイ学会
専門分野	教育学
教育研究概要	(キーワード)ドイツの教育思想史研究、教育哲学
担当科目	(専門科目)道徳と価値の教育, 道徳と価値の教育 (大学院科目)教育哲学特論, 学校教育総合研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

「ナチズム期の教育と戦争責任」(共同研究): (2004年～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

養護教諭養成課程	氏名 青柳 直子
----------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1968年11月
学歴・職歴	東京大学大学院 教育学研究科博士課程 公益財団法人 労働科学研究所(2005年～2007年) 浜松学院大学短期大学部幼児教育科 専任講師(2007年～2008年) 浜松学院大学短期大学部幼児教育科 准教授(2008年～2013年) 茨城大学教育学部養護教諭養成課程 准教授(2013年～)
学位	博士(教育学)[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本健康教育学会, 日本ストレス学会, 日本小児保健学会, 日本幼児体育学会, 産業疲労研究会, 日本疲労学会, 日本産業衛生学会, 日本時間生物学会, 日本学校保健学会
専門分野	時間生物学 応用健康科学
教育研究概要	(キーワード) 生体リズム、心身機能評価
担当科目	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

日本時間生物学会 評議員(2010年～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

養護教諭養成課程	氏名 廣原 紀恵
----------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1957年6月
学歴・職歴	茨城大学大学院教育学研究科修士課程修了(2000年03月) 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部保健科学部門看護学講座(2008年4月～2011年3月) 茨城大学教育学部(2011年4月～)
学位	教育学修士[茨城大学]
受賞歴	発育発達学会 優秀研究論文賞(発育発達学会)(2010年03月27日), 日本公衆衛生学会 優秀演題賞((日本公衆衛生学会))(2009年10月20日)
所属学会	学校健康相談研究学会, 日本発育発達学会, 日本人類学会, 日本小児保健学会, 中国・四国小児保健学会, 中国・四国学校保健学会, 日本公衆衛生学会, 日本養護教諭教育学会, 日本看護研究学会, 日本教育カウンセリング学会, 日本思春期学会, 日本学校保健学会
専門分野	学校看護学 学校保健 健康教育
教育研究概要	(キーワード)身長 体重 発育発達 学校看護
担当科目	(教養科目)身体・行動系科目[学校保健と健康教育] (専門科目)学校救急看護, 学校看護学実習, 学校看護学概論, 学校救急看護実習, 学校救急看護演習 I, 臨床医学・看護学臨床実習、卒業研究(教育:4単位)、(大学院科目)養護学総合研究, 地域教育資源フィールドスタディ, 学校救急看護学特論, 授業展開ケーススタディ, 学校救急看護学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

鈴木裕美・斉藤ふくみ・廣原紀恵・石原研治「健康相談活動についての養護実習生の認識に関する研究:小学校実習前後及び中学校実習前後の変化の比較」, 茨城大学教育実践研究, 31, 227-238, 2012.

郷木義子 岡久礼子 廣原紀恵 奥田紀久子 金山時恵「学校保健と地域保健の連携に関する文献検討」, インターナショナル Nursing Care Research , 11, 4 , 95-105 , 2012.

斉藤ふくみ ラーニーベルガラ 内田信子 廣原紀恵「日本とフィリピンの幼稚園の実態調査」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 61, 2012.

海老澤恭子 廣原紀恵「高等学校における食物依存性運動誘発アナフィラキシーの対応事例」, 茨

城大学教育学部紀要(教育科学), , 61, 229-236, 2012.

“Body Proportion Chart to summarize growth of stature, sitting height and leg length in children and adolescents”, Bulletin of College of Education Ibaraki University, , 61, 51-57, 2012.

奥田紀久子 岩佐幸恵 廣原紀恵 棟方百熊 郷木義子 谷ひろ江 藤井智恵子 宮崎久美子 梶原京子「A 県における防煙及び喫煙防止教育の実態と課題」, 教育保健研究, , 17, 69-73, 2012.

棟方百熊 郷木義子 廣原紀恵 宮崎久美子 梶原京子 奥田紀久子「喫煙に関する高校生の認識と態度 講演会の前後における比較から」, 教育保健研究, , 17, 63-68, 2012.

飛田昭子 廣原紀恵 斉藤ふくみ「東日本大震災における被災地の養護教諭の対応と意思に関する調査」, 教育保健研究, , 17, 9-18, 2012.

奥田 紀久子 廣原 紀恵, 岩佐幸恵「大学生男女における体格の自己申告値と実測値及び理想値の関係」, インターナショナル nursing care research, 11, 2, 171-177, 2012.

廣原紀恵 奥田紀久子 郷木義子 服部恒明「高校生男女の現状の体型と願望する体型について」, インターナショナル Nursing Care Research, 11, 1, 117-124, 2012.

高石正子 廣原紀恵 他 31 名「心とからだを育む 子どもの保健」, 保育出版社, 2013.

研究業績(2)学会発表など

Yoshiko Gohgi, Hiroko Ishibune, Toshie Hirohara, Takaaki Ishiyama, “Difficulties and Support in Health Check-ups which are Experienced by Children with Developmental Disability”(AFONS 第 16 回国際会議, 2013 年 02 月)

鈴木裕美 斉藤ふくみ 廣原紀恵 石原研治, 「養護実習での健康相談活動を経験した学生の思考や捉え方に関する研究—学生による事例検討会から—」(日本学校健康相談学会第9回学術集会・2013 年 03 月)

石舟博子 郷木義子 廣原紀恵 工藤友紀, 「養護教諭が把握する健康診断における発達障害児への配慮」(第 59 回日本学校保健学会・2012 年 11 月)

廣原紀恵 斉藤ふくみ, 「ロールプレイから見た養護教諭養成課程の学生の救急処置の問題点」(第 59 回日本学校保健学会・2012 年 11 月)

飛田昭子 斉藤ふくみ 竹下誠一郎 廣原紀恵, 「養護教諭が健康相談活動で抱く困難感の質的研究—継続的に関わる子どもの支援に関して—」(第 59 回日本学校保健学会・2012 年 11 月)

廣原紀恵 服部恒明 佐竹隆, 「身長最大の発育増加量における座高、下肢長の寄与について」(第 59 回日本学校保健学会・2012 年 11 月)

森脇智秋 郷木義子 廣原紀恵, 「高校生が助産師に求める性教育の内容に関する検討」(第 31 回日本思春期学会総会・学術集会・2012 年 09 月)

奥田紀久子 谷洋江 廣原紀恵 郷木義子, 「家族の喫煙が小・中学生のたばこに関する知識および意識に及ぼす影響」(第 31 回日本思春期学会総会学術集会・2012 年 09 月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本養護教諭教育学会 編集委員(2012年05月～)
 日本教育大学協会全国養護部門研究会 研究委員(2011年4月～)
 常磐短期大学 (2012年04月)
 [非常勤講師]常磐短期大学(2012年04月～)
 国の緊急雇用対策の求職者支援の一環。生活習慣とストレスの関連、自分をよく知り、職業選択に活かす、講義を6時間実施した。[エージェントカレッジ水戸校(厚労省管轄)](2012年07月～), [日本小児保健協会 評議員](2012年04月～), [茨城小児保健協会 理事、事務局](2012年01月～), 茨城教育研究連盟研究集会において、指導助言を行う[茨城県教育研究連盟](2011年10月), いはらき性教育研究会の副会長として、会の運営に携わる[いはらき性教育研究会(全国性教育研究団体連合茨城県支部)](2011年05月～)

海外出張・海外研修・内地研修など**科学研究費補助金などの受領**

課題番号 23590743 2011～2015年 研究分担

養護教諭養成課程	氏名 石原 研治
----------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1971 年 5 月
学歴・職歴	東北大学薬学研究科博士後期課程修了(2000 年 03 月) 東北大学 大学院薬学研究科 助手(1999 年 4 月～2007 年 3 月) 東北大学 大学院薬学研究科 助教(2007 年 4 月～2008 年 3 月) 東北大学 大学院工学研究科 助教(2008 年 4 月～2009 年 3 月) 茨城大学 教育学部 養護教諭養成課程 准教授(2009 年 4 月～)
学位	博士 (薬学)[東北大学]
受賞歴	財団法人 東北開発記念財団 海外 (国際学会) 派遣(2005 年), 財団法人 薬学研究奨励財団 海外 (国際学会) 派遣(2005 年), (2004 年)
所属学会	日本学校保健学会, International Eosinophil Society, アレルギー・好酸球研究会, 日本薬学会, 日本アレルギー学会
専門分野	膠原病・アレルギー・感染症内科学 耳鼻咽喉科学
教育研究概要	(キーワード)アレルギー 好酸球 気管支喘息 ニッケル 聴覚 難聴
担当科目	(教養科目)身体・行動系科目[アレルギーを知ろう] (専門科目)免疫学 I, 解剖生理学, 薬理学, 免疫学 II, 解剖生理学演習, 卒業研究 (教育:4 単位) (大学院科目)学校安全特論, 養護学総合研究, 学校安全演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>櫻井千晃・石原研治「生理学的側面から理解する乗り物酔いの原因・対応・配慮」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 62, 369-387, 2013.</p> <p>山田咲実・石原研治「ヘッドホン使用に関する実態調査と新しい教材づくり」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 62, 353-368, 2013.</p> <p>Satou, N., Ishihara, K., Hiratsuka, M., Tanaka, H., Endo, Y., Saito, S., Iwatate, Y., Leonard, W.J., Hirasawa, N., "Induction of thymic stromal lymphopoietin production by xylene and exacerbation of picryl chloride-induced allergic inflammation in mice.", Int. Arch. Allergy Immunol., 157, 2, 194-201, 2012.</p> <p>Kenji Ishihara, Noriyasu Hirasawa, Kazuo Ohuchi, "Chapter 4.2 Eosinophil Cell Lines. In: JJ Lee and HF Rosenberg (Eds.), Eosinophils in Health and Disease.", Elsevier, 42-46, 2012.</p>
--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

鹿島地区学校保健会 (2012 年 11 月) [兼業]鹿島地区学校保健会(2012 年 11 月) [非常勤講師]東京学芸大学[非常勤講師](2011 年 10 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

「新規 IL-5Ra 鎖の生物活性と好酸球分化における役割の解明」[科研費]若手研究(B)(代表)(2011 年 04 月～2014 年 03 月)
--

養護教諭養成課程	氏名 齊藤 ふくみ
----------	-----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1958年10月
学歴・職歴	広島大学大学院保健学研究科博士後期課程修了(2006年03月) 熊本大学教育学部講師(2000年9月～2006年3月) 熊本大学教育学部助教授(2006年4月～2007年3月) 熊本大学教育学部准教授(2007年4月～2008年3月) 茨城大学教育学部准教授(2008年4月～)
学位	博士(保健学)[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本学校健康相談学会, 日本健康相談活動学会, 日本養護教諭教育学会, 日本学校保健学会
専門分野	教科教育学 養護学、養護実践学、健康教育、質的研究
教育研究概要	<p>大学の養護実習記録の内容分析による学生の学びの比較ーテキスト・マイニング手法を用いてー</p> <p>本研究は、平成17年度A大学学生29名、B大学学生29名、C大学学生10名の養護実習記録をテキスト・マイニング手法を用いて内容分析を行った結果、学生の学びの言語構成が明らかになり、各々の大学の養護実習での学生の学びの特徴を捉えることが出来た。それと同時に3大学に共通の語句が抽出され、養成機関が異なっても養護実習での学生の学びは保証されていると考えられた。また3大学を総合してクラスター解析を行った結果、養護実習で学習する事項が語句として抽出され、学生の学びを客観的に捉えられたと思われる。このことから、本研究で得られた所見は養護実習評価項目を作成する際の参考資料になりうると思われる。また、各大学の学生の意識と特徴を集約することができたことにより、養護教諭養成機関の背景の違いによるカリキュラムの改善の指標として活用できると思われる。</p> <p>(キーワード)養護教諭、学校保健学、養護学、健康教育、養護実践、養護活動、養護実習、質的研究</p>
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[養護教諭論], 身体・行動系科目[健康と教育] (専門科目)健康相談活動/健康相談活動I(養教)/健康相談活動I(健康コース)/健康相談活動I(心理コース), 養護活動演習, 養護学概論I, 養護活動実習I, 卒業研究(教育:4単位)

(大学院科目)養護学総合研究, 養護教諭論特論, 養護教諭論演習/養護活動と関連法規
--

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

齊藤ふくみ「教育採用試験における養護教諭専門教養の出題傾向の分析」, 茨城大学教育学部紀要、教育科学, 62, 313-319, 2013.

高野真樹、齊藤ふくみ「保健室「あいまい来室者」の探索的研究」, 茨城大学教育学部紀要、教育科学, 62, 321-338, 2013.

佐藤みなみ、齊藤ふくみ「東日本大震災から学ぶ養護教諭の役割と対応」, 茨城大学教育学部紀要、教育科学, 62, 339-352, 2013.

齊藤ふくみ「養護実習事前学習としての保健室掲示物作成に関する一考察」, 茨城大学教育実践研究, 31, 203-211, 2012.

成田絵理・齊藤ふくみ「子どものメンタルヘルスに関する研究—教師の理解を中心に—」, 茨城大学教育実践研究, 31, 213-226, 2012.

鈴木裕美・齊藤ふくみ「健康相談活動についての養護実習生の認識に関する研究—小学校実習前後及び中学校実習前後の変化の比較—」, 茨城大学教育実践研究, 31, 227-238, 2012.

松永恵・大谷尚子・齊藤ふくみ・山中寿江・出原嘉代子・秋山緑・上原美子「第 10 回ワークショップの報告 事例検討を通して「保護者との協働」を考える」, 学校健康相談研究, 9, 1, 65-75, 2012.

飛田昭子・廣原紀恵・齊藤ふくみ「東日本大震災における被災地の養護教諭の対応と思いに関する調査—対処方略に着目しての検討—」, 教育保健研究, 7, 9-18, 2012.

松永恵・竹下誠一郎・齊藤ふくみ「不定愁訴のある児童生徒への対応についての仮説生成研究(第 1 報)—学級担任が不定愁訴のある児童に頑張りを促すプロセス—」, 学校保健研究, 54, 1, 16-26, 2012.

研究業績(2)学会発表など

松永恵・齊藤ふくみ・上原美子, 「事例検討者の期待に応える事例検討のありかたについて—事例提供者の語りの分析を通して—」(日本学校健康相談学会第9回学術集会・2013年03月)

飛田昭子・齊藤ふくみ・廣原紀恵, 「養護教諭が健康相談活動で抱く困難感の質的研究—継続的に関わる子どもの支援に関して—」(日本学校健康相談学会第9回学術集会・2013年03月)

齊藤ふくみ・小瀬古貴子, 「養護教諭対象の聞き取り調査(1)—宮本常一の民俗学的手法を参考に—」(第59回日本学校保健学会・2012年11月)

廣原紀恵・齊藤ふくみ, 「リアルプレイから見た養護教諭養成課程の学生の救急処置の問題点」(第59回日本学校保健学会・2012年11月)

飛田昭子・齊藤ふくみ・竹下誠一郎・廣原紀恵, 「養護教諭が健康相談活動で抱く困難感の質的研究—継続的に関わる子どもの支援に関して—」(第59回日本学校保健学会・2012年11月)

鈴木裕美・齊藤ふくみ・廣原紀恵・石原研治, 「養護実習での健康相談活動を経験した学生の思考や捉え方に関する研究—学生による事例検討会から—」(第59回日本学校保健学会・2012年11月)

〈その他〉平成 25 年度常陸太田市学校保健会・給食会合同講演会(講師「子どものこころに寄り添うこと」)(2013 年 02 月)

〈その他〉平成 24 年度茨城県 10 年次研修講座(養護教諭)(講師「健康課題の解決に向けた健康教育の理論と方法」)(2012 年 10 月)

〈その他〉平成 24 年度茨城県 5 年次研修講座(養護教諭)(講師「健康相談活動」)(2012 年 10 月)

〈企画・運営〉日本養護教諭教育学会第 20 回学術集会ワークショップ(講師「実践的研究の進め方」)(2012 年 10 月)

〈企画・運営〉日本学校健康相談学会ワークショップ(実行委員長「保護者との協働を考える」)(2012 年 08 月)

〈その他〉平成 24 年度岩手県養護教諭授業力向上研修講座(専門)(講師「健康相談の理論及び方法」)(2012 年 08 月)

〈その他〉平成 24 年度茨城県新規採用養護教諭研修講座(講師「性に関する指導の実際」)(2012 年 07 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本養護教諭教育学会 編集委員会事務局(2012 年 04 月～)

日本養護教諭教育学会 理事(2012 年 04 月～)

日本学校健康相談学会 理事(2010 年 04 月～)

日本養護教諭教育学会編集委員会・編集委員会事務局(2012 年 04 月～)

日本養護教諭教育学会・理事(2012 年 04 月～)

日本健康相談学会・理事(2010 年 04 月～)

日本養護教諭教育学会編集委員会・編集委員(2006 年 04 月～)

「事例提供者の期待に応える事例検討のありかたについて」(共同研究): (2012 年 10 月～2013 年 09 月)

茨城県立水戸第三高等学校 (2012 年 12 月)

茨城県立水戸第三高等学校 (2012 年 12 月)

福島県立いわき光洋高等学校 (2012 年 11 月)

福島県立いわき光洋高等学校 (2012 年 11 月)

茨城県立水戸第二高等学校 (2012 年 10 月)

茨城県立日立北高等学校 (2012 年 07 月)

大成女子高等学校 (2012 年 06 月)

茨城キリスト教大学 (2012 年 04 月～2013 年 03 月)

[出前授業]茨城県立水戸第三高等学校(2012 年 12 月～)

[出前授業]茨城県立水戸第三高等学校(2012年12月～)
[出前授業]福島県立いわき光洋高等学校(2012年11月～)
[出前授業]福島県立いわき光洋高等学校(2012年11月～)
[出前授業]茨城県立水戸第二高等学校(2012年10月～)
[出前授業]茨城県立日立北高等学校(2012年07月～)
[出前授業]大成女子高等学校(2012年06月～)
[非常勤講師]茨城キリスト教大学(2012年04月～2013年03月)

海外出張・海外研修・内地研修など

シンガポール シンガポール・NIE(National Institute of Education)[調査活動、資料収集](2013年3月:3日間)

科学研究費補助金などの受領

養護教諭養成課程	氏名 瀧澤 利行
----------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1962年9月
学歴・職歴	東京大学教育学研究科博士課程修了(1992年) 日本学術振興会特別研究委員(1990年4月～1992年3月) 茨城大学教育学部助手(1995年4月～1996年3月) 茨城大学教育学部助教授(1996年4月～2002年3月) 茨城大学教育学部教授(2002年4月～)
学位	博士(医学)[大阪大学]
受賞歴	第12回日本医史学会学術奨励賞(2006年), 日本公衆衛生学会奨励賞(1999年), 明治生命厚生事業団「健康文化」懸賞論文優秀賞(1994年)
所属学会	日本医史学会, 日本衛生学会, 日本教育学会, 日本公衆衛生学会, 日本生活指導学会, 日本学校保健学会, 日本健康教育学会, 日本在宅ケア学会, 日本教育保健学会, 日本高齢者虐待防止学会
専門分野	健康教育学 健康思想史 健康文化論
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)保健福祉論, 精神保健/メンタルヘルス, 公衆衛生学, 衛生学, 学校保健概論(養護教諭), 保健学演習, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)養護学総合研究, 教育保健経営特論/小児・思春期保健学/小児・思春期保健学, 教育保健経営演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

瀧澤利行「明治期健康思想と社会・国家意識」, 日本医史学雑誌, 59, 1, 35-55, 2013.

研究業績(2)学会発表など**研究業績(3)芸術・体育系の活動****社会的活動、地域貢献など**

日本高齢者虐待防止学会 理事(2011年07月～)

日本医史学会 代議員(2011年06月～)

日本教育保健学会 副理事長(2011年04月～)
 日本生活指導学会 会計監査(2010年09月～)
 日本衛生学会 倫理委員会委員(2008年04月～)
 日本在宅ケア学会 倫理委員長(2007年03月～)
 日本教育保健学会 常任理事(2002年03月～)
 日本在宅ケア学会 理事(2001年03月～)
 日本衛生学会 評議員(2000年03月～)
 日本医史学会 評議員(1999年05月～)
 日本学校保健学会 理事(1998年11月～)
 日本医史学会 編集委員(1998年05月～2013年05月)
 日本健康教育学会 評議員(1996年06月～)

[兼業]放送大学[客員教授](2004年04月～)
 [兼業]東京都練馬区協働推進会議副座長(2010年04月～)
 [兼業]東洋大学大学院非常勤講師(2009年04月～)
 [兼業]国立大学法人お茶の水女子大学非常勤講師(2006年04月～)
 [兼業]東京都中央区協働推進会議会長(2005年06月～)
 [兼業]茨城県高齢者権利擁護推進委員会委員長(2005年04月～)
 [兼業]慶応義塾大学非常勤講師(1999年04月～)
 [兼業]國學院大學非常勤講師(1993年04月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

情報文化課程	氏名 林 延哉
--------	---------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1961 年 11 月
学歴・職歴	早稲田大学文学研究科修士課程修了(1987 年)
学位	修士(文学)
受賞歴	なし
所属学会	日本リハビリテーション工学協会, 日本教育心理学会, 日本社会臨床学会, 日本発達心理学会, 日本理科教育学会
専門分野	社会臨床論
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)情報処理概論[情報処理概論], 主題別ゼミナール[情報文化課程概論], コミュニケーション論[情報文化基礎演習] (専門科目)情報文化広報プロジェクト I, 映像工房プロジェクト I, 子ども文化プロジェクト I, 特別演習 I, 音×環境プロジェクト I, 統計の初歩, 情報文化広報プロジェクト II, 映像工房プロジェクト II, 子ども文化プロジェクト II, 社会臨床演習 I, 社会臨床演習 II, 特別演習 II, 音×環境プロジェクト 2, ウェブ制作(初級)a, ウェブ制作(初級)b, 課題図書講読 I, 課題図書講読 II, 課題図書講読 III, 卒業研究(教育:4 単位)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

林延哉「映画『八日目の蝉』の作品構造と訴求要因について」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学・芸術), 62, 139-159, 2013.

研究業績(2)学会発表など**研究業績(3)芸術・体育系の活動****社会的活動、地域貢献など**

日本社会臨床学会 事務局長(1994 年～2013 年)
千葉県立中央博物館作成の野草カードのウェブ化への協力。[千葉県立中央博物館](継続中)
水戸市ぴ〜すプロジェクト「水戸空襲を伝える紙芝居」制作・実演[子ども文化プロジェクト](2013)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

形態学の知識が無くても使える生物検索システムの開発 (2012-2014)

情報文化課程	氏名 本田 敏明
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1951年4月
学歴・職歴	広島大学教育学研究科博士課程(1981年)
学位	教育学修士
受賞歴	平成24年度社会教育功労者文部科学大臣表彰
所属学会	教育システム情報学会, 日本教育工学会, 日本教育方法学会, 情報科教育学会
専門分野	教育工学 教育方法学
教育研究概要	知識習得と人格形成の相互関係に関する教授学的研究 (キーワード)教育工学 情報教育 教育方法 教授学 ラーニングエコロジー e-ペダゴジー
担当科目	(専門科目)情報科教育法 I, マルチメディア・コンテンツ制作, 情報リテラシーと情報モラル (大学院科目)教授学特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「学習の継続と知識の創造を実現する Instructional Design の導入」, 茨城大学教育学部紀要, , 2013.
 「「情報科教師教育のための Wiki の活用-プレゼンテーションを重視した災害支援と模擬授業を例に-」」, 茨城大学教育実践研究, , 31, 2012.
 , "Lesson Study in Japan", Keisyuisya, 394-407, 2012.

研究業績(2)学会発表など

, 「学校現場のデジタル化に対応した教育環境のシステム化」(教育システム情報学会第37回全国大会・2012年)
 , 「情報科教師教育のための Wiki の活用-プレゼンテーションを重視した災害支援を例に-」(日本情報科教育学会第5回全国大会・2012年)

研究業績(3)芸術・体育系の活動**社会的活動、地域貢献など**

日本情報科教育学会 研究委員会・研究委員会委員長、監査(2012年04月～)
 教育システム情報学会 情報教育委員会・理事、情報教育委員会委員長(2010年04月～)
 茨城県水戸生涯学習センター運営協議会会長(2012年04月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

ドイツ ベルリン、ルードヴィヒスブルク・ルードヴィヒスブルク教育大学、フンボルト大学[研究調査、情報交換、資料収集](2012年10月:14日間)

アラブ首長国連邦 ドバイ・the United Arab Emirates University[Innovations'13参加](2013年3月:3日間)

科学研究費補助金などの受領

平成 24 年度学術研究推進経費 (茨城大学)

情報文化課程	氏名 乾 康代
--------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1953 年 10 月
学歴・職歴	大阪市立大学生活科学研究科博士課程単位取得満期退学(2000 年)
学位	学術博士[大阪市立大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本建築学会, 日本都市計画学会, 日本家政学会, 都市住宅学会
専門分野	住環境計画, 住環境計画
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目[戦後昭和の住まいと暮らし] (専門科目)住環境計画学(教科又は教職)/住環境計画学(生活デザイン), 保育内容の研究(環境), 住居計画学/住居計画学(情報文化課程), 初等家庭科内容研究, 住居環境学/住居環境学(情報文化), 居住地計画演習, 住居デザインI/設計製図I(情報文化) (大学院科目)住居学特論, 住居学演習, 生活科学総合研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

乾 康代, 山崎古都子, 田中宏子「東日本大震災と原発事故による茨城県の県外避難者の避難実態」, 茨城大学地域総合研究所年報, , 46, 49-59, 2013.

乾 康代「東日本大震災による被災者の避難状況 ?茨城県を対象に?」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学, 芸術), , 62, 145-157, 2013.

乾 康代「東日本大震災における被害型からみた茨城県の住宅被害の特徴と再建支援課題」, 日本都市計画学会 都市計画論文集, 47, 3, 1081-1086, 2012.

乾 康代「東日本大震災における茨城県の住宅被害の特徴と再建支援課題」, 茨城大学復興支援プロジェクト調査研究報告書, , 115-122, 2012.

研究業績(2)学会発表など

乾 康代, 「茨城県における被災者の住宅再建計画の状況と支援課題」(日本建築学会大会建築経済システム協議会・2012 年 09 月)

乾 康代, 「茨城県における被災者の住宅再建計画の状況と支援課題」(日本建築学会大会・2012 年 09 月)

〈招待講演〉 日本建築学会関東支部住宅問題研究委員会主催シンポジウム() (2012 年 12 月)
 〈招待講演〉 千波グリーンタウン建築協定説明会(建築協定の運営にむけて 建築協定で質の高い住環境をつくるために) (2012 年 10 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本建築学会 関東支部茨城支所常任幹事(2002 年 04 月～)
 日本建築学会 住宅の地方性小委員会委員・(2004 年 04 月～)
 東海村住まいづくり検討委員会委員 (2004 年 12 月～2007 年 3 月)
 茨城県住生活基本計画改定委員会委員 (2011 年)
 高萩市本庁舎再建市民懇話会委員長 (2013 年)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「東海村臨海事故を踏まえた福島原発事故後の環境対策とまちづくりに関する総合的研究」[基盤研究(B)一般(分担)](2013 年 04 月～2016 年 03 月)
 「人口減少進行の被災地における住宅復興と地域再生に関する研究, 茨城県を対象に」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2012 年 04 月～2014 年 03 月)「大学都市日立の持続可能な都市づくり戦略に関する研究」[茨城大学推進研究プロジェクト](分担)(2012 年 06 月～2013 年 03 月)
 「茨城県における様々な「社会的つながり」の研究」[茨城大学推進研究プロジェクト](分担)(2012 年 07 月～2013 年 03 月)

情報文化課程	氏名 岩佐 淳一
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1960年1月
学歴・職歴	中央大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学(1990年)
学位	文学修士[中央大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本社会情報学会, 日本社会学会, 日本マス・コミュニケーション学会
専門分野	社会情報論、社会学・マス・コミュニケーション論
教育研究概要	ケーブルテレビを中心とした地域情報化に関する研究およびタイ東北部の地域情報に関する研究
	(キーワード)
担当科目	(教養科目) 主題別ゼミナール[情報文化課程概論], 社会と人間[メディアと社会], コミュニケーション論[情報文化基礎演習] (専門科目) 社会文化情報演習 II, マス・コミュニケーション論/マス・コミュニケーション論(社会), フィールドワークの科学, 情報文化広報プロジェクト I, 地域活動プロジェクト I, 音×環境プロジェクト I, 文化の社会学, 社会学特講/情報社会論, メディア・リテラシー II, 情報文化広報プロジェクト II, 地域活動プロジェクト II, 音×環境プロジェクト 2, 課題図書講読 I, 課題図書講読 II, 課題図書講読 III, 卒業研究(教育:4 単位), インターンシップ (大学院科目) 社会・文化総合研究, 社会学演習

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

岩佐淳一「地域研究と社会情報学?タイを中心として」, 社会情報学研究, 16, 2, 1-12, 2013.
岩佐淳一「変わりゆくコミュニケーション薄れゆくコミュニティ」, ミネルヴァ書房, 161?184, 2012.

研究業績(2) 学会発表など

Junichi Iwasa, "Civil Society and Community FM Radio in Thailand" (International Seminar, Civil Society Movement and Development in Northeast Thailand-Public Sphere, Social Capital and Prachakom, 2013 年 01 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本社会情報学会 学会誌(和雑誌)担当編集委員(2010年05月～)

水戸市青少年育成推進会議理事(2012年度)

東海村情報公開・個人情報保護審査会委員(2012年度)

社団法人茨城県経営者協会地域関係委員会委員(2012年度)

理事[NPO 法人ふるさと元気塾](2004年06月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

タイ バンコク・チュラロンコーン大学、総理府統計局、ブックセンター[資料収集、調査打合せ](2012年8月:6日間)

タイ ローイエット県・チュラロンコーン大学、マヒドン大学、ローイエット県内コミュニティFM局(3局)[メディア調査、研究打合せ](2012年9月:10日間)

タイ バンコク・チュラロンコーン大学政治学部・コミュニケーション学部、タイ内閣府[研究打合せ、資料収集](2013年3月:5日間)

科学研究費補助金などの受領

「東北タイの開発と市民社会形成—公共圏・社会関係資本・プラチャークム(住民組織)」[科研費]基盤研究(B)一般(分担)(2012年04月01日～2014年03月31日)

情報文化課程	氏名 甲斐 教行
教員履歴など	
現職	教授
生年月	1960年12月
学歴・職歴	<p>東京芸術大学大学院美術研究科博士課程単位取得満期退学(1997年) 大妻女子大学非常勤講師(1997年4月～2000年3月) 東京芸術大学美術学部非常勤講師(1997年4月～2000年3月) 都留文科大学文学部非常勤講師(1997年4月～1999年3月) 順天堂大学スポーツ健康科学部非常勤講師(1997年10月～1998年3月) 青山学院大学文学部非常勤講師(1998年4月～2000年3月) 千葉大学非常勤講師(1999年10月～2002年3月) 茨城大学教育学部助教授(2007年4月より職名変更—准教授)(2000年4月～2011年3月) 青山学院大学文学部非常勤講師(2001年4月～2009年3月) 実践女子大学文学部非常勤講師(2007年4月～2008年3月) 放送大学教養学部非常勤講師(2010年10月～2011年3月) 茨城大学教育学部教授(2011年4月～)</p>
学位	博士(文学)[千葉大学]
受賞歴	なし
所属学会	中世哲学会, 地中海学会, 大学美術教育学会, 美学会, 美術史学会
専門分野	美学・美術史
教育研究概要	<p>近世イタリアの宗教画研究／ファシズム期具象彫刻研究 イタリア美術史、とくに図像解釈学的研究を主要研究領域とする。これまで16世紀後半に活躍した画家フェデリコ・バルッチ、サンティ・ディ・ティート、19世紀後半に活躍した画家アレッサンドロ・フランキの作品研究を行ってきた。現在、20世紀前半に活躍したフィレンツェの彫刻家コッラード・ヴィーニの作品研究に取り組んでいる。</p> <p>(キーワード) イタリア、ルネサンス、図像解釈学、バルッチ、サンティ・ディ・ティート、対抗宗教改革、アレッサンドロ・フランキ、プリズモ、コッラード・ヴィーニ、ファシズム、</p>
担当科目	<p>(教養科目) 主題別ゼミナール[美術教育実践演習], 人間と文学・芸術[マニエリスムとマネーラ-16世紀イタリア美術とその思想] (専門科目) 西洋美術史特別演習 I, 図像学入門, 表象文化論, 図画工作科内容研究, 西洋美術史 I, メディア批評プロジェクト I, 保育内容の研究(表現), 西洋美術史</p>

	特別演習 II, 西洋美術史 II, メディア批評プロジェクト II, 日本美術実地研究/古美術実地研究, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)西洋美術史研究, 美術文化総合研究, 造形芸術学, 美術教育授業設計
--	--

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

瀬分、甲斐教行「フィリッポ・ドブリッラ、二〇一一年ーヴェネツィア・ビエンナーレを含む一連の展覧会」, 五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所紀要), , 19, 75-104, 2012.

甲斐教行「マッテオ・ボネキのサンテジーディオ聖堂装飾試論」, 五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所紀要), , 19, 45-73, 2012.

甲斐教行「カルロ・デル・ブラーヴォ「ミケランジェロの《二人の公爵》」翻訳と解題」, 五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所紀要), , 19, 153-195, 2012.

研究業績(2)学会発表など

<招待講演> 世界の歩き方講座～イタリア編～(フィレンツェ郊外の魅カーヴィツラめぐり、味覚と芸術の旅)(2012年11月)

<招待講演> 世界の歩き方講座～イタリア編～(古都フィレンツェの歴史と美術を訪ねて)(2012年10月)

<その他> 茨城県近代美術館・美術館アカデミー(ブルネレスキー近世の黎明)(2012年06月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]美術館アカデミー「ブルネレスキー近世の黎明」, 茨城県近代美術館(2012年度実施)

水戸市芸術文化活性化事業実行委員会(2012年度)

監事[水戸市芸術文化活性化事業実行委員会](2011年04月～), 東京藝術大学美術学部西洋美術史研究室紀要編集委員[東京藝術大学美術学部西洋美術史研究室](2011年04月～), 海外旅行アドバイザー[茨城県近代美術館友の会](2010年04月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

イタリア フィレンツェ・美術史研究所[資料収集、作品調査](2012年3月～4月:22日間)

イタリア フィレンツェ・フィレンツェ美術史研究所[資料収集](2012年7月～8月:16日間)

イタリア フィレンツェ・フィレンツェ美術史研究所[資料収集](2012年8月～9月:31日間)

ドイツ フランクフルト、パイロイト、ドレスデン、ブレーメン・パイロイト祝祭劇場、ドレスデン絵画館、ブレーメン美術館[美術作品見学、音楽祭見学](2012年8月:12日間)

チェコ プラハ・国立美術館、ミシャ美術館[美術館見学](2012年12月:9日間)

イタリア フィレンツェ・美術史研究所[資料収集、文献調査](2012年12月:20日間)

イタリア フィレンツェ・美術史研究所[資料収集、取材、調査](2013 年 3 月:13 日間)

科学研究費補助金などの受領

「コッラード・ヴィーニの公共彫刻の政治史的・文化史的解読」[科研費](代表)(2011 年 04 月 01 日～
2014 年 03 月 31 日)

情報文化課程	氏名 小泉 晋弥
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1953年6月
学歴・職歴	<p>東京芸術大学大学院美術研究科修士課程(1978年) 若関酒造株式会社(1979年4月～1984年3月) いわき市立美術館学芸員(1984年4月～1989年9月) 若関酒造株式会社企画部長(1989年10月～1990年3月) 郡山市教育委員会美術館建設準備室主査兼学芸員(1990年4月～1991年3月) 郡山市教育委員会美術館建設準備室主任学芸員(1991年4月～1993年6月) 郡山市立美術館主任学芸員(1993年7月～1996年3月) 茨城大学教育学部助教授(1996年4月～2000年3月) 東北大学文学部非常勤講師(平成14年3月まで)(1997年4月～2002年3月) 東京芸術大学美術学部非常勤講師(現在に至る)(1999年4月～) 茨城大学教授(現在に至る)(2000年4月～) 愛知県立芸術大学非常勤講師(現在に至る)(2003年4月～) 茨城大学教育学部附属中学校長(2011年4月～)</p>
学位	修士(芸術学)
受賞歴	なし
所属学会	文化資源学会, 大学美術教育学会, 美術史学会
専門分野	日本近代美術史 博物館学 美術批評
教育研究概要	<p>五浦時代の岡倉天心および近代彫刻史の研究を行っている。また美術館での鑑賞教育についての実践的, 理論的研究を行うとともに, 現代美術家の作品に対する研究・評論活動を行っている。</p> <p>(キーワード) 岡倉天心, 近代彫刻, 美術館教育</p>
担当科目	<p>(教養科目) 主題別ゼミナール[美術教育実践演習], 人文の分野[人間と文化(博物館概論)], 総合科目[水戸美術館で学ぶ音楽・演劇・美術]</p> <p>(専門科目) 日本美術史特別演習 I, 表象文化論, 博物館学 III, 日本美術史 I, メディア批評プロジェクト I, 地域活動プロジェクト I, 日本美術史特別演習 II, 美術批評論, 現代文化批評, 保育内容の研究(表現), 日本美術史 II, 情報文化論, メディア批評プロジェクト II, 地域活動プロジェクト II, 視聴覚教育メディア論, 日本美術実地研究/古美術実地研究, マルチメディア表現の理論及び演習, 美術館教育, 博物館実習 II, 博</p>

物館実習 I (大学院科目)日本美術史研究, 美術文化総合研究, 日本美術史演習, 美術教育授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「花と龍ー青木野枝の彫刻試論」『リア』, 20-26, 2013

「主要作品解説」, 『五浦六角堂再建記念 五浦と岡倉天心の遺産』, 128-141, 2012.

研究業績(2)学会発表など

〈パネリスト〉 シンポジウム「二年後。今、私たちはどこにいるのか」(茨城県近代美術館, 2013年03月)

〈パネリスト〉 YNU 国際シンポジウム 2013「現代に生きる岡倉天心」(横浜国立大学, 2013年1月)

〈招待講演〉岡倉天心と五浦 天心による近代日本画の革新(菱田春草を中心に)～(八十二文化財団, 2012年11月)

〈招待講演〉 岡倉天心と六角堂の思想(日本建築士会全国大会, 2012年10月)

社会的活動、地域貢献など

[出前授業] 絵画の見方入門「チンパンジーからゴッホまで」, 水戸第三高校(2012年度実施)

[出前授業] 絵画の見方入門「チンパンジーからゴッホまで」, 桜の牧高校(2012年度実施)

[自治体での社会教育] 横山大観から見る近代日本画の魅力, 茨城県県西生涯学習センター(2012年度実施)

[自治体での社会教育] 天章堂講座「岡倉天心と日本近代美術」, 茨城県県南生涯学習センター(2012年度実施)

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)] 社会教育主事講習, 茨城大学生涯学習センター(2012年度実施)

芸術選奨推薦委員[美術部門](2012年度)

常陸大宮市教育委員会外部評価委員(2012年度)

宇都宮美術館美術作品等収集評価委員(2012年度)

栃木県立美術館作品等収集評価委員(2012年度)

[非常勤講師] 多摩美術大学(2008年11月～2013年03月)

[非常勤講師] 東京芸術大学美術学部(2006年10月～2014年03月)

[非常勤講師] 愛知県立芸術大学美術学部(2004年04月～2014年03月)

情報文化課程	氏名 小島 秀夫
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1950年1月
学歴・職歴	東京大学教育学研究科修士課程修了(1975年) 茨城大学助手 教育学部(1977年4月～1979年3月) 茨城大学講師 教育学部(1979年4月～1985年6月) 茨城大学助教授 教育学部(1985年7月～1992年9月) 茨城大学教授 教育学部(1992年10月～)
学位	教育学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本教育社会学会, 日本社会学会
専門分野	教育社会学
教育研究概要	教育社会学、社会階層論、社会調査法 (キーワード)教師の職業的社会化研究 調査方法論
担当科目	(教養科目)総合英語[学術用英語] (専門科目)学校・教師の社会学/社会意識論, 外書講読 I, 社会調査法, 社会文化情報演習 I, 統計学, 外書講読 II, 地域社会論, 社会統計学, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)教育社会学特論, 教育社会学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

情報文化課程	氏名 野崎 英明
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1960年7月
学歴・職歴	東北大学工学研究科修士課程修了(1985年)
学位	博士(工学)[茨城大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本鉄鋼協会, 日本産業技術教育学会, 日本金属学会, 日本機械学会
専門分野	教科教育学 機械材料・材料力学
教育研究概要	(1) 不均質材料のマクロメカニクス 複合材料のフィラーや金属中の析出物等の不均質物の形状が周辺の応力分布, および材料の全体特性に及ぼす影響について理論的・数値的に解析する。
	(2) 中学校技術科教材に関する研究 (キーワード)
担当科目	(教養科目)情報処理概論[情報処理概論], 主題別ゼミナール[技術教育概論] (専門科目)建築材料学基礎, 金属加工演習, 金属加工学, 技術科指導法(金属加工実習)/金属加工の基礎技術, シミュレーション技法, 基礎金属加工, 製図II, 金属加工の応用技術, 現代教育の実践的課題, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)金属工学特論, 技術と生活総合研究, 金属工学演習, 技術科授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

竹内優平, 松本亮, 野崎英明「「丈夫な構造」を理解させるための教材の開発」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 62, 223-230, 2013.

野崎英明, 上野耕史, 竹野英敏「有限要素法を使用した中学校技術科設計学習の提案」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 61, 147-153, 2012.

研究業績(2)学会発表など

本橋諭, 野崎英明, 上野耕史, 竹野英敏, 「「はりの曲げ」を理解するための教材の開発と評価」(日本産業技術教育学会第24回関東支部大会(千葉)・2012年11月)

松本亮, 野崎英明, 「中学校技術科設計学習のための光弾性教材の開発に関する研究」(日本産業技術教育学会第24回関東支部大会(千葉)・2012年11月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

[自治体での社会教育]平成 24 年度茨城県教育研究会 家庭, 技術・家庭教育研究部 夏季研修会
講師(2012 年度実施)

[自治体での社会教育]平成 24 年度茨城県教育研究連盟助言者(2012 年度実施)

独立行政法人国立病院機構水戸医療センター附属桜の郷看護学校 非常勤講師(2012 年 04 月～
2013 年 03 月)

[非常勤講師]独立行政法人国立病院機構水戸医療センター附属桜の郷看護学校[非常勤講師]
(2012 年 04 月～2013 年 03 月)

[兼業]東京書籍株式会社[教科書編集委員](2012 年 04 月～2013 年 03 月)

海外出張・海外研修・内地研修など**科学研究費補助金などの受領**

「ものづくり学習担当教員養成プログラムの開発」[科研費](代表)(2011 年 04 月 01 日～2013 年 03 月
31 日)

情報文化課程	氏名 齋木 久美
--------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1963年2月
学歴・職歴	千葉大学教育学研究科国語教育修士課程修了 茨城大学教育学部(2003年4月～)
学位	教育学修士[千葉大学]
受賞歴	茨城大学大学教育センター推奨授業表彰(茨城大学大学教育センター)(2007年03月27日)
所属学会	全国大学国語教育学会 全国大学書道学会 書学書道史学会, 計量国語学会, 全日本書写書道教育研究会, 全国大学書写書道教育学会
専門分野	教科教育学
教育研究概要	小中学校国語科書写における授業研究の方法や効果的な学習指導法に関する研究を実践的に行っている。
	(キーワード)
担当科目	(教養科目)人間と文学・芸術[仮名の書に親しむ] (専門科目)初等国語科教育法研究, 書道史, 鑑賞, 表象文化論, 初等書写内容研究, 書道 I, 書道 III, かな書法研究/筆による表現, 子ども文化プロジェクト I, 初等国語科教育法研究, 書道科教育法研究 I, 初等書写内容研究, 書道 II, 子ども文化プロジェクト II, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)言語文化総合研究, 書写書道教育研究, 国語教育授業設計, 書写書道教育演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「教員養成課程における書写授業に関する一考察—書写学習を日常の書字活動に生かす取り組みの実践—」, 第53回全日本書写書道教育研究会東京大会紀要, , 2012.
「書の古典と理論」, 光村図書出版, 159, 2013.

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

<芸術系の活動・建築作品等>平成24年度全国大学書道学会会員展出品(2012年10月)
<審査員>第48回JA共済茨城県小・中学生書道コンクール(2012年09月)

社会的活動、地域貢献など

全国大学書写書道教育学会 理事(企画広報局)(2012 年 04 月～)

全日本書写書道教育研究会 本部役員 研究局 大学部長(2005 年 10 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など**科学研究費補助金などの受領**

「書字学習における幼小連携を円滑にする教材の開発」[科研費]基盤研究(C)一般() (2012 年 04 月 10 日～2015 年 02 月 28 日)

情報文化課程	氏名 齋藤 芳徳
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1962年2月
学歴・職歴	福島大学大学院地域政策科学研究科修士課程修了 京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了 川崎医療福祉大学医療福祉学部・専任講師(2000年4月～2004年3月) 川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部・助教授(2004年4月～2006年9月) 茨城大学教育学部・助教授(2006年10月～2007年3月) 茨城大学教育学部・准教授(2007年4月～2011年3月) 茨城大学教育学部・教授(2011年4月～)
学位	博士(工学)[京都大学], 修士(地域政策)[福島大学]
受賞歴	第9回インテリアデザインコンペ 2012/入選(社団法人日本インテリアフェブリックス協会)(2012年11月)
所属学会	日本建築学会, 日本リハビリテーション工学協会, 日本福祉のまちづくり学会
専門分野	リハビリテーション科学・福祉工学 都市計画・建築計画
教育研究概要	生活環境のユニバーサルデザインの研究 ①プロダクト(生活支援工学, プロダクトデザイン, リハビリテーション工学) ②建築(建築計画学, 建築デザイン) (キーワード)高齢者, 介護施設, 車いす, 入浴介護, 福祉用具, バリアフリー, ユニバーサルデザイン
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目[福祉機器・福祉空間入門] (専門科目)図法及び製図/図学演習(情報文化), 建築一般構造, 設計製図II, 建築施工, 地域活動プロジェクトI, デザイン理論, 設計製図III, 地域活動プロジェクトII, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)デザイン研究II, 工芸・デザイン研究, 美術文化総合研究, 工芸・デザイン演習, 美術教育授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

齋藤芳徳,五十嵐崇道「特別養護老人ホームの個別入浴介護を支える温熱環境の検討」,茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学,芸術),No.61,59-65,2012.

齋藤芳徳「介護浴槽の最前線」,月刊シニアビジネスマーケット,No.95,40-43,2012.

繁成剛,飯島浩,児玉真一,齋藤芳徳,辻清張編集(著者:齋藤芳徳他12名)「小児から高齢者までの

姿勢保持-工学的視点を臨床に活かす【第 2 版】], 医学書院, 141-157, 2012.

「実務者研修テキスト【第 1 版】生活支援の技術と環境整備」, 日本医療企画, 233-275, 2012.

日本特殊教育学会編「障害百科事典」, 丸善出版, I 巻(102-103, 406-411), II 巻(624, 703), 2013.

研究業績(2)学会発表など

田中孝、山口健太郎、三浦研、齋藤芳徳、「歩行車を用いた高齢者の立ち座りスペースに関する研究」(日本建築学会学術講演梗概集・2012 年 09 月)

田中孝、山口健太郎、三浦研、齋藤芳徳、「歩行車を用いた高齢者の立ち座り動作および必要寸法に関する研究」(日本福祉のまちづくり学会第 15 回全国大会概要集・2012 年 08 月)

〈招待講演〉東京都社会福祉協議会 高齢者施設福祉部会(講演「ユニットケアにおける住環境と生活補助具」)(2012 年 09 月)

〈司会・議長・コンビーナ・コーディネータ,パネリスト,企画・運営〉2012 年 SIG 姿勢保持講習会(企画・運営・司会・パネリスト「高齢者基礎 1, 高齢者基礎 2」)(2012 年 08 月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本リハビリテーション工学協会 SIG 姿勢保持世話人(2001 年 08 月～)

日本建築学会 建築計画委員会建築人間工学小委員会・委員(2004 年 08 月～)

[非常勤講師]放送大学(2012 年 10 月～)

[非常勤講師]茨城キリスト教大学(2008 年 04 月～)

[非常勤講師]国立病院機構水戸医療センター附属桜の郷看護学校(2008 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

フィリピン[調査活動](2013 年 1 月～3 月:56 日間)

科学研究費補助金などの受領

情報文化課程	氏名 佐々木 忠之
--------	-----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1958年1月
学歴・職歴	北海道大学工学研究科修士課程(1984年) 国立身体障害者リハビリテーションセンター 研究所 福祉機器開発部福祉機器開発室 研究員(1984年10月～1990年3月) 茨城大学助教授 教育学部情報教育講座(1990年4月～2004年9月) 茨城大学教授 教育学部情報文化教室(2004年10月～)
学位	工学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本視覚学会, 人間工学会, 日本特殊教育学会, 計測自動制御学会, 日本機械学会, バイオメカニズム学会, 電子情報通信学会, 日本ロボット学会, 日本音響学会, 日本生体医工学会
専門分野	感覚情報工学 福祉工学
教育研究概要	福祉工学、感覚情報工学 視覚障害、福祉機器、障害児用支援機器、特別支援学校教材
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目[福祉機器・福祉空間入門], コミュニケーション論[情報文化基礎演習] (専門科目)静止画像処理(初級)a, 情報処理の基礎技術 I, 静止画像処理(初級)b, 感覚の科学, 地域活動プロジェクト I, 静止画像処理(初級)a, 静止画像処理(初級)b, 情報技術演習 I, マイクロコンピュータ・プログラミング入門, 地域活動プロジェクト II, 特別演習 I, 特別演習 II, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)電気工学特論 II, 技術と生活総合研究, 技術科授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

真家優子、佐々木忠之「数字探索課題におけるカラーグラスの効果」, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), , 62, 53-62, 2013.

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

情報文化課程	氏名 島田 裕之
教員履歴など	
現 職	教 授
生年月	1957 年 4 月
学歴・職歴	東京芸術大学美術研究科修士課程修了(1988 年) 茨城県取手市立第二中学校教諭(1980 年 4 月～1984 年 3 月) 茨城県取手市立戸頭中学校教諭(1984 年 4 月～1986 年 3 月) 東京学館総合技術高等学校工芸科非常勤講師(1988 年 4 月～1990 年 3 月) 桐生短期大学生生活デザイン科専任講師(1990 年 4 月～1993 年 3 月) 茨城大学講師 教育学部(1993 年 4 月～1995 年 3 月) 茨城大学助教授 教育学部(1995 年 4 月～2004 年 9 月) 茨城大学教授 教育学部 (現在に至る)(2004 年 10 月～)
学位	芸術学修士
受賞歴	かながわ地球環境保全ポスターコンクール優秀賞(1999 年), 第 7 回 NAAC 展 TGC 部門 TGC 賞(1989 年), 第 66 回二科展商業美術部特選賞(1981 年), 第 64 回二科展商業美術部特選賞(1979 年)
所属学会	日本デザイン学会, 大学美術教育学会
専門分野	視覚デザイン
教育研究概要	イラストレーションによる視覚伝達デザインの研究と制作 (キーワード)平面デザイン(イラストレーション、コンピュータ・グラフィック、広告、ポスター)、映像(映画、アニメーション)
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[美術教育実践演習], 人間と文学・芸術[美術の表現] (専門科目)デザイン I/デザイン史演習, デザイン表現演習 I, 図画工作科内容研究, 情報文化広報プロジェクト I, 映像工房プロジェクト I, 子ども文化プロジェクト I, Illustrator で DTP(初級), 静止画像処理(中級), デザイン基礎(学校・表現)/視覚コミュニケーション演習, デザイン II/絵本制作演習, デザイン表現演習 II, 情報文化広報プロジェクト II, 映像工房プロジェクト II, 子ども文化プロジェクト II, 日本美術実地研究/古美術実地研究, 静止画像処理(中級), 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)地域教育資源フィールドスタディ, 工芸・デザイン研究, 美術文化総合研究, デザイン研究 I, 授業展開ケーススタディ, 工芸・デザイン演習, 美術教育授業設計, デザイン演習 I

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

<p><芸術系の活動・建築作品等></p> <p>個展:NIPPON SCENE(2012年05月～2012年06月)</p> <p>茨城県芸術祭映像コンクール審査員(2012年10月)</p> <p>茨城県芸術祭美術展審査員(2012年10月)</p> <p>個展:nirai・kanai(2012年11月)</p> <p>グループ展:茨城大学美術科教員三人展(2013年1月)</p>
--

社会的活動、地域貢献など

<p>茨城県美術館協議会委員</p> <p>茨城県芸術祭美術展覧会委員</p> <p>茨城県芸術祭映像コンクール審査委員</p> <p>茨城デザイン振興協議会顧問</p>

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

人間環境教育課程	氏名 郡司 晴元
----------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1968 年 4 月
学歴・職歴	京都大学理学研究科博士後期課程単位取得満期退学(1998 年 07 月) 財団法人日本モンキーセンター リサーチフェロー(1998 年 8 月～2003 年 3 月) 茨城大学教育学部 助教授(2004 年 4 月～2007 年 3 月) 茨城大学教育学部 准教授(2007 年 4 月～)
学位	博士(理学)[京都大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本理科教育学会, 日本環境教育学会, 子どもと自然学会, 日本霊長類学会, 日本人類学会, 日本環境共生学会
専門分野	人類学 環境教育
教育研究概要	1. 自然体験学習を中心とした環境教育・ESD について実践も交えて教育・研究しています。 2. 動物園・博物館・科学館などとの連携による効果的な教育について実践も交えて教育・研究しています。 3. 霊長類の骨形態・骨塩量の加齢変化について研究しています。 (キーワード)学社連携 自然体験学習 ESD
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[大学で学ぶことを学ぶ], 環境・政策系科目[環境から見る自然史] (専門科目)情報化社会の諸問題, 環境教育演習, 環境教育論【全教科】/環境教育論, 知識解析論, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)理科教育学特論 I(初等理科教育論), 理科教育学演習 I, サステイナビリティ教育特論 II, 自然科学総合研究, 理科授業設計, 理科教育学演習 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

郡司晴元・大辻永, 「SDカレンダー作成研修支援のためのデータの試作」(日本環境共生学会第 15 回学術大会・2012 年 09 月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

子どもと自然学会 理事(2012 年～)
茨城県教育庁義務教育課「教材活用のための研修会」助言者(2012 年 12 月)
茨城県教育庁義務教育課「教材活用のための研修会」助言者(2012 年 12 月)
第 37 回中学・高校生物研究発表大会 全体講評・講師(2012 年 11 月)
茨城県教育研究連盟 助言者(2012 年 10 月)
茨城大学教員免許状更新講習専門委員会 教員免許状更新講習講師(2012 年 08 月)
科学の祭典・鹿行地区大会実行委員会 推進委員(2012 年 05 月～2013 年 03 月)

海外出張・海外研修・内地研修など**科学研究費補助金などの受領**

「環境に配慮した持続可能なライフスタイルを実現する環境教育の構築に関する研究」[科研費]基盤研究(C)一般(分担)(2011 年 04 月 01 日～2014 年 03 月 31 日)

人間環境教育課程	氏名 賀来 健輔
----------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1964年7月
学歴・職歴	日本大学法学研究科博士後期課程単位取得満期退学(1995年03月) 岩手大学人文社会科学部講師、助教授(1995年4月～2000年3月) 茨城大学教育学部准教授(現在)(2000年4月～) 茨城大学教育学部教授(2011年4月～)
学位	政治学修士[日本大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本政治学会, 日本行政学会, 日本地方自治学会, 日本地方自治研究学会, 日本オンブズマン学会, 日本地域政策学会
専門分野	行政学
教育研究概要	政治学、行政学、地方自治論、環境問題に関する社会科学的アプローチ等 (キーワード)住民参加、政治参加、自治体広報
担当科目	(教養科目)社会・国際系科目[もう一つの政治・もう一つの社会の構想] (専門科目)現代社会と行政, 政治学概論/現代社会の構図, 環境と社会, 現代の地方自治, 環境政策論, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)政治学特論, 政治学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

賀来健輔「地方自治体の政策形成過程における市民参加－調布市環境保全審議会における市民公募委員としての参与観察を通して－」, 日本地域政策研究, , 11, 225-232, 2013.

賀来健輔「ネクスト教科書シリーズ地方自治論」, 弘文堂, 2012.

賀来健輔「『地方自治を学ぶ－要点と資料』」, 三恵社, 全 1-121, 2012.

研究業績(2)学会発表など**研究業績(3)芸術・体育系の活動****社会的活動、地域貢献など**

[非常勤講師]文教大学情報学部(2011年09月～)

[非常勤講師]日本大学法学部[非常勤講師](2005年04月～)

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

人間環境教育課程		氏名 加藤 敏弘
教員履歴など		
現 職	准教授	
生年月	1961 年 6 月	
学歴・職歴	筑波大学体育研究科修士課程修了(1986 年) 国立高岡短期大学助手(1986 年 4 月～1990 年 3 月) 茨城大学講師教育学部(保健体育講座)(1990 年 4 月～1994 年 3 月) 茨城大学助教授教育学部(保健体育講座)(1994 年 4 月～1996 年 3 月) 茨城大学助教授教育学部(知識経営講座)(1996 年 4 月～2004 年 3 月) 国立大学法人茨城大学助教授教育学部(2004 年 4 月～)	
学位	体育学修士[筑波大学]	
受賞歴	なし	
所属学会	日本体育学会, 日本体育・スポーツ哲学会, 日本スポーツ教育学会, 日本養生学会, 人体科学会	
専門分野	コーチ学(バスケットボール) 技能普及教育論 体育原理	
教育研究概要	ナレッジマネジメントとしてのコーチング ナレッジマネジメント(知識経営)としてのコーチングについて、教育活動を通して研究中。特に個人が身につけている技術(=技能)を他者に伝えるためのノウハウを観察し、その体系化を試みている。そのために、まず人間の活動を正しく理解し、集団(チーム)における役割分担やコミュニケーション手段について実践研究中。技能を普及し伝達するという行為は、スポーツ場面に限らず、社会全般で求められる能力であり、暗黙知(身体知)の観点からアプローチしている。学校という枠組みにとらわれてきた教授法を越え、社会におけるさまざまな場面へのコーチングの可能性について考察しており、チームづくりと組織づくりの有機的連携についても研究中。フィールドとしてバスケットボールコーチング、体育授業を中心に据えているが、地域力の向上やFD(ファカルティ・ディベロップメント)、そしてビジネス場面への応用も試みている。	
	(キーワード)コーチング バスケットボール 知識経営 暗黙知 身体知 ボディ・ワーク チームワーク 技能伝達 コミュニケーション 体育原理	
担当科目	(教養科目)身体活動[バスケットボール(C)], 身体活動[ボディーワーク(M)], 身体活動[ボールゲーム(C)], 身体・行動系科目[アスリートの世界～鹿島アントラーズとの提携を通して～]	

(専門科目)技能伝達法(教職共通)/技能伝達法[人環用教職], ボールゲーム方法論 I/ボールゲーム方法論 I(健康), 総合演習[人環用]/スポーツ特別演習 I, スポーツ特別演習 II, 総合演習[人環用]/知識経営特別演習 I, 知識経営特別演習 II, 体育学概論, コミュニケーション演習【全教科】/コミュニケーション演習(人間・共通), チームワーク&コーチング論, 体育科教育法研究[後期], バスケットボール/バスケットボール指導法, スポーツ実習 I, 卒業研究(教育:4 単位)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

ステップアップ中学体育 2012(大修館書店)

アクティブスポーツ 2012(大修館書店)

研究業績(2)学会発表など

加藤敏弘, 「ゴール型の運動課題を誘発するゲームの条件 バスケットボールの場合」(日本スポーツ教育学会第 32 会大会・2012 年 11 月)

加藤敏弘, 「黒田亮の「覚」と暗黙知に見る身体」(第 34 会日本体育・スポーツ哲学会・2012 年 08 月)

加藤敏弘, 「運動学習・指導におけるカンとコツのとらえ方」(平成 24 年度 体育哲学専門領域夏期合宿研究会・2012 年 07 月)

〈基調講演, 企画・運営〉平成 24 年度茨城県公認バスケットボールコーチ研修会(「バスケットボール教室成果発表」企画・運営・講師)(2013 年 02 月)

〈基調講演〉勝田一中地区健全育成の会教育講演会(「児童生徒に対する声かけ」講師)(2013 年 02 月)

〈基調講演, 企画・運営〉平成 24 年度日本バスケットボール協会公認 B 級コーチ養成講習会(企画・運営・講師)(2013 年 02 月)

〈基調講演〉平成 24 年度学校体育担当教員実技指導者研修会(種目バスケットボール)(講師)(2012 年 11 月)

〈基調講演〉平成 24 年度学校体育担当教員実技指導者研修会(種目バスケットボール)(講師)(2012 年 11 月)

〈基調講演〉平成 24 年度茨城大学社会教育主事講習(社会教育演習:人と自然のコミュニケーション講師)(2012 年 07 月)

〈企画・運営〉平成 24 年度日本バスケットボール協会公認 B 級コーチ養成講習会(企画・運営・講師)(2012 年 05 月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本体育・スポーツ哲学会 監事(2007 年 04 月～)

茨城県教育庁保健体育課 第 74 回国民体育大会茨城県準備委員会 競技運営専門委員会・委員

(2012 年 10 月～)

公益財団法人 日本バスケットボール協会 テクニカル委員会・副委員長(2012 年 06 月～2014 年 03 月)

全日本大学バスケットボール連盟 広報部・部長(2012 年 04 月～2015 年 03 月)

(財)日本バスケットボール協会 エンデバー委員会・委員(2009 年 04 月～2012 年 05 月)

(財)日本バスケットボール協会 指導者育成委員会・WG 委員長(2005 年 04 月～2012 年 05 月)

茨城県バスケットボール協会 指導者育成委員会・委員長(2002 年 04 月～2013 年 03 月)

[自治体での社会教育]平成 24 年度学校体育担当教員実技指導者研修会(種目バスケットボール)
(県西・県北地区), 茨城県高等学校教育研究会(2012 年度実施)

[自治体での社会教育]勝田一中地区健全育成の会, ひたちなか市勝田第一中学校地区健全育成の
会(2012 年度実施)

[自治体での社会教育]平成 24 年度茨城県公認バスケットボールコーチ研修会, 茨城県バスケットボ
ール協会(2012 年度実施)

[自治体での社会教育]平成 24 年度日本バスケットボール協会公認B級コーチ養成講習会, 公益財団
法人日本バスケットボール協会(2012 年度実施)

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]平成 24 年度茨城大学社会教育主事講習, 茨城大学
(2012 年度実施)

茨城県立中央高校学校評議委員(2012 年度)

「「ボディメンテナンス」スタイルの健康づくりシステムの開発」(受託研究): 株式会社プロフィットジャパ
ン(2009 年～)

「介護予防施設における準備運動プログラムの開発」(受託研究): 医療法人社団 いばらき会(2008 年
～)

「介護者負担軽減のための運動プログラムの開発」(受託研究): 医療法人社団 いばらき会(2008 年
～)

[非常勤講師]筑波大学・体育センター[非常勤講師](2006 年 04 月～2014 年 03 月)

[非常勤講師]茨城キリスト教大学・文学部[非常勤講師](2006 年 04 月～2014 年 03 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

基盤研究(C) ゴール型ゲームの運動課題と評価の観点～条件制御で誘発される運動技能を探る～
52 万円

人間環境教育課程	氏名 勝本 真
----------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1958 年 9 月
学歴・職歴	筑波大学体育研究科修士課程修了(1984 年) サントリー株式会社嘱託(1982 年 4 月～1984 年 3 月) 活水女子短期大学特別講師(1984 年 4 月～1985 年 3 月) 活水女子短期大学専任講師(1985 年 4 月～1990 年 3 月) 活水女子短期大学助教授(1990 年 4 月～1991 年 3 月) 茨城大学助教授教育学部(1991 年 4 月～2006 年 3 月) 茨城大学教授教育学部(2006 年 4 月～)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本体育学会, 日本スポーツ方法学会, 日本バレーボール学会, 日本教育工学会, 日本バイオメカニクス学会
専門分野	身体教育学 教育工学 バイオメカニクス
教育研究概要	バレーボールの指導法に関する研究 研究は, 1)バレーボールの技術指導に関する研究, 2)バレーボールのゲーム分析に関する研究, 3)小中学校におけるバレーボール教材としての教科教育的研究の三つに大別することができる。 1)は, 画像分析を用いてオーバー・アンダーハンドパスやスパイク動作の分析し, バレーボールの基本技術を解明してきた。その情報をもとにして斬新な連続的イラストを用いた指導書を作成している。指導書は, 様々なレベルに合わせて作成しており, 中学校授業向けの本では技術レベルに合わせた練習課題を紹介している。 2)は, DLT法画像分析によりフォーメーションの分析を行い, 競技レベルによる違いを明らかにした。チームの得点力を構成する要因を解明し, ゲーム分析項目の決定に貴重な資料を提供し, その要因をもとにして-BASIC 言語を用いて誰もが簡単に使えるゲーム分析ソフトを開発している。 3)は, 中学校バレーボール技術指導のための学校体育実技指導者講習会の講師を務め, その経験をもとに, 中学校のバレーボールにワンバウンドでの 3 人制ルールを導入した授業研究や 3 人制から正規ルールへの移行をスムーズに行うための教材研究を行っている。近年, 小学校にソフトバレーボールが導入され, バレーボール教材の再検討が求められており, 中学年の「基本の運動」にバレーボールの動きを入れた

	教材を開発して実践している。高校の指導者講習会においても、新しい指導方法を紹介している。
	(キーワード)バレーボール指導法 体育科教育 コーチング ゲーム分析
担当科目	(教養科目)身体活動[ネットスポーツ(C)], 身体活動[バドミントン(C)], 身体活動[ソフトボール(C)] (専門科目)バレーボール指導法/バレーボール(中教科:保体)/バレーボール(人間環境)/バレーボール指導法/バレーボール(人間環境), ボールゲーム方法論 II/ボールゲーム方法論 II(健康), 体育科教育法研究[後期], 運動学概論, スポーツ実習 II, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)保健体育授業設計, スポーツ指導論特講, 体育科学総合研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

B.BERTUCCI,T. YOSHIDA,MAKOTO KATSUMOTO,Y. NAKANISI(2012) “THE COMPLETE VOLLEYBALL HANDBOOK”,COACHES CHOICE

研究業績(2)学会発表など

<その他> 平成 23・24 年度岐阜県認定スポーツ指導者養成講習会(「競技スポーツと IT」に関する講義)(2012 年 07 月)、日本バレーボール学会 18 回大会発表(中学校体育授業におけるバレーボールのドリル教材開発)(2113 年 3 月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動**社会的活動、地域貢献など**

日本バレーボール学会 理事(2009 年 04 月～)

日本バレーボール学会・(2008 年 04 月～)

第 74 回国民体育大会茨城県競技力向上対策本部(2012 年度)

[兼業]「スポーツと健康」・宇都宮大学[講師](2006 年 04 月～2012 年 09 月)

[非常勤講師]「保健体育」・独立行政法人国立病院機構水戸医療センター附属桜の郷看護学校[講師](2011 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など**科学研究費補助金などの受領**

人間環境教育課程	氏名 木村 競
教員履歴など	
現 職	教 授
生年月	1956 年 4 月
学歴・職歴	東京大学人文科学研究科博士課程単位取得満期退学(1988 年) 茨城大学 教育学部 助教授(1992 年 4 月～2003 年 3 月) 茨城大学 教育学部 教授(2003 年 4 月～)
学位	文学修士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本倫理学会, 日本哲学会, 哲学会, 日本カント協会, 現代風俗研究会, ハイデガー・フォーラム, 日本公民教育学会
専門分野	哲学・倫理学
教育研究概要	<p>教育活動＞</p> <p>大学院:教育学研究科・教科教育専攻・社会科教育専修(倫理学) 授業:倫理学特論、倫理学演習 特別課題研究指導 大学院共通科目等</p> <p>学部:教育学部・人間環境教育課程・課程共通科目およびコース専門科目 授業:社会と思想、プロジェクト・マネジメント等 卒業研究指導 学校教育教員養成課程・社会選修 授業:倫理学演習、ナショナリズムと社会等 卒業研究指導 教養科目・総合科目 授業:「つながり」の力等</p> <p><研究活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行為および文化の定型化と変化に関する理論 ・教員養成における倫理学の役割について ・「学級力」を基盤とした学力向上モデルの構築 ・サステナビリティ学についての学内研究者との共同研究 ・近代ヨーロッパを中心とする哲学・倫理思想史研究 <p>(キーワード)</p>
担当科目	(教養科目)人間・文化系科目[つながりの力], コミュニケーション論[文章作成法1] (専門科目)社会と思想(社会選修)/社会と思想(人間共通)免×, 倫理学特別演習 I, プロジェクト・マネジメントA, 倫理学概論, 現代のナショナリズム, 倫理学特別演習 II, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)倫理学特論, 倫理学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

木村競「原発事故災害下の社会と「片田三原則」」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学、芸術), 62, 161-173, 2013.

木村競「学級力」の基盤形成としての哲学リテラシー育成プログラム」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 62, 517-525, 2013.

数井みゆき編「アタッチメントの実践と応用 医療・福祉・教育・司法現場からの報告」, 誠信書房, 210-227, 2012.

研究業績(2)学会発表など

木村競, 「避難行動者が形成する社会ー片田敏孝氏の避難三原則とセルフ・ヘルプ・グループー」(日本倫理学会第 63 回大会・2012 年 10 月)

<招待講演> 茨城県教育委員会「平成 24 年度 体罰根絶に向けた運動部指導者研修会」(講義「その部活、子どものためになっていますか?」講師)(2013 年 02 月)

<招待講演> 稲敷市教育研究会全員研修会・教育講演会(講演「今、元気な先生に! ~学校教育のこれまで・これから~」講師)(2012 年 08 月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動**社会的活動、地域貢献など**

[自治体での社会教育]ひたちなか市民大学講師「つながりの力を考える倫理学」, ひたちなか市教育委員会(2012 年 06 月~2012 年 12 月)

[兼業]茨城県教育庁「茨城県生涯学習審議会委員および茨城県社会教育委員」(2008 年 08 月~)

[非常勤講師]水戸市医師会看護専門学院[非常勤講師](2001 年 04 月~)

[非常勤講師]鯉淵学園農業栄養専門学校[非常勤講師](2000 年 10 月~)

海外出張・海外研修・内地研修など**科学研究費補助金などの受領**

「学級力」を基盤として学力向上モデルの構築」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2011 年 04 月~2014 年 03 月)

人間環境教育課程	氏名 丸山 広人
----------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1972年4月
学歴・職歴	東京大学教育学研究科博士課程単位取得満期退学(2003年) 東京大学大学院教育学研究科助手(2003年4月～2005年6月) 茨城大学教育学部助教授(2005年7月～)
学位	修士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育心理学会, 日本学生相談学会, 日本心理臨床学会, 日本コミュニティ心理学会、日本人間性心理学会
専門分野	教育心理学 臨床心理学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)人間と心[心理学から見る人間理解] (専門科目)学校心理学, 総合演習[人環用]/心理特別演習II, 人間教育の心理学(教職共通), 心理学史, 不適応問題と学校, 心理特別演習I, 人間教育の心理学(教職共通)/人間教育の心理学[人環用教職], 心理学実験, 卒業研究(教育:4単位)、 (大学院科目)教育心理学特論, 教育情報処理特論/学校心理学研究法特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

沼尻茜・丸山広人「いじめ場面における第三者はどのように動くのか」, 茨城大学教育学部紀要, 62, 2013.

丸山広人「子どもの経験世界に即した支援について:通常学級における高機能自閉症児の変容をとおして」, 人間性心理学研究, 30, 27-38, 2013.

丸山広人「海外における野外学校への参与観察が大学院生に与える効果」, 茨城大学教育学部紀要, 61, 65-80, 2012.

深谷佳子・丸山広人「教育困難校におけるグループ・ワークでの自己語りの特徴」, 茨城大学教育実践研究, 31, 263-277, 2012.

丸山広人「巡回相談としてのスクールカウンセリングの試み:小学校におけるシステムズ・コンサルテーションによって効果を高めるために」, 心理臨床学研究, 30, 3, 298-308, 2012.

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

[自治体での社会教育]水戸市立上中妻小学校保健委員会研修会講師, 上中妻小学校(2012 年度実施)

[自治体での社会教育]葛飾区巡回スクールカウンセラー研修会講師(2012 年度実施)

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]第 57 回茨城県教育研究連盟研究集会助言者(2012 年度実施)

[自治体での社会教育]茨城町適応指導教室研修会講師, 茨城町教育委員会(2012 年度実施)

[自治体での社会教育]笠間市立稲田小学校研修会講師, 稲田小学校(2012 年度実施)

[自治体での社会教育]日立市立日立特別支援学校研修会講師, 日立市立日立特別支援学校(2012 年度実施)

[自治体での社会教育]茨城いのちの電話初級カウンセリング講座講師, 茨城いのちの電話(2012 年度実施)

[出前授業]茨城県立水海道第一高等学校(出前授業), 水海道第一高等学校(2012 年度実施)

[自治体での社会教育]水戸地区学校教育相談研究会講師(2012 年度実施)

[出前授業]茨城県立水戸第二高等学校(出前授業)(2012 年度実施)

[出前授業]茨城県立土浦湖北高等学校(出前授業)(2012 年度実施)

[自治体での社会教育]太子教育支援センター研修会講師(2012 年度実施)

[自治体での社会教育]児童思春期精神保健講座(2012 年度実施)

[自治体での社会教育]茨城県教育研修センター教育相談事例検討会講師, 茨城県教育研修センター(2012 年度実施)

[兼業]茨城北西看護専門学校[カウンセラー](2011 年 12 月～)

[兼業]茨城県教育研究連盟[助言者](2007 年 10 月～)

[兼業]茨城いのちの電話[講師](2006 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

人間環境教育課程	氏名 松坂 晃
----------	---------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1953年4月
学歴・職歴	筑波大学体育研究科修士課程修了(1979年) 筑波大学体育科学系文部技官(1979年4月～1984年3月) 茨城大学教養部講師(1986年4月～1987年3月) 茨城大学教養部助教授(1987年4月～1996年3月) 茨城大学教育学部助教授(1996年4月～2000年3月) 茨城大学教育学部教授(2000年4月～)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	North American Society of Pediatric Exercise Medicine, American College of Sports Medicine, 日本体力医学会, 日本体育学会, 日本肥満学会, 日本栄養改善学会
専門分野	応用健康科学
教育研究概要	子どもの身体活動, 体力運動能力, および肥満に関する研究 (キーワード)
担当科目	(教養科目)身体活動[フィジカルフィットネス(T)], 身体活動[里山ハイキング(M)], 身体活動[ジョギング(M)] (専門科目)運動生理学, 体育科教育法研究, 運動処方論, 現代人の健康(教科又は教職)/現代人の健康(人間環境), 小児健康運動学, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)健康生理学特論, 養護学総合研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>松坂 晃, 小島佑太「超音波法による知的障害児の踵骨骨評価」, 茨城大学教育学部紀要(教育学), 62, 509-516, 2013.</p> <p>中山 綾, 松坂 晃, 吉野 聡「小学生の運動有能感と体力・運動能力および運動スキルとの関係」, 茨城大学教育実践研究, 31, 255-262, 2012.</p> <p>Robin R. Mellecker, Alison M. McManus, Akira Matsuzaka, "Validity and Reliability of the Sedentary Behavior and Sleep Scale (SBSS) in Young Hong Kong Chinese Children", Asian Journal of Exercise and Sports Science, 9, 1, 21-36, 2012.</p>
--

研究業績(2)学会発表など

周 水玲, 松坂 晃, 「日本と内モンゴルの小学生の身体活動量と QOL」(日本体力医学会関東地方会・2012 年 12 月)

松坂 晃, 「知的障害特別支援学校児童生徒の運動スキル」(日本特殊教育学会・2012 年 09 月)

松坂 晃, 小島佑太, 「知的障害児の肥満と踵骨骨強度」(日本体力医学会・2012 年 09 月)

松坂 晃, 「知的障害児の前思春期肥満と発育スパート」(日本教育医学会・2012 年 08 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

[その他] 第 10 回教職員のための研修会講師「子どもの肥満と身体活動」(2012 年度実施)

[自治体での社会教育] 平成 23 年度茨城県スポーツ指導者研修会講師「子どもの体力向上について」(2012 年度実施)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「知的障害児童生徒の体育学習内容策定の試み」[科研費] 基盤研究(C)一般(代表) (2011 年 04 月 01 日～2014 年 03 月 31 日)

人間環境教育課程	氏名 沼澤 篤
----------	---------

教員履歴など

現 職	特任教授
生年月	1951 年 10 月
学歴・職歴	
学位	
学位	
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)環境分析実験, 汚染化学論, 水環境論, 地球環境論 (大学院科目)自然科学総合研究, 理科授業設計, 地域自然環境特論, 地域自然環境演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

人間環境教育課程	氏名 清木 徹
----------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1946 年 8 月
学歴・職歴	広島県公害研究所(現保健環境センター)(1971 年 4 月～2004 年 3 月) 茨城大学教育学部(2004 年 4 月～)
学位	博士[広島大学]
受賞歴	水質汚濁研究(現水環境学会)論文賞(広瀬賞)(1986 年)
所属学会	
専門分野	
教育研究概要	<p>専門分野は水質環境工学、生態工学で、閉鎖性水域の富栄養化による汚濁機構の解析やその修復技術に関する研究を行っている。</p> <p>具体的な内容としては、瀬戸内海の底質汚染および広島湾の汚濁機構の解析や干潟の浄化機能に関する研究である。</p> <p>主な著書や論文は以下の通りである。</p> <p>(著書)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 水環境学会編(1999)日本の水環境行政—その歴史と科学的 背景. 第 10 章 瀬戸内海の水質保全対策, pp134-148, ぎょうせい、東京. 2. 水環境学会編(2000)日本の水環境6, 中国・四国編、干潟の生態と機能、pp15-32, 技報堂、東京. 3. M. Okada and S. A. Peterson 編(2000) Water pollution control policy and management : The Japanese experience; Countermeasures against water pollution in the Seto Inland Sea, pp132-146, GYOSEI, Tokyo. <p>(論文)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 清木 徹(1980) 海域の底泥における有機物の分解モデルに関する最近の知見、広島県環境センター研究報告、1, 93-102. 2. 清木 徹、伊達 悦二、井澤 博文(1985) 広島湾におけるセディメント・トラップ捕集物から推定した水中懸濁物の沈降フラックス、水質汚濁研究、8, 304-313. 3. T. Seiki, H. Izawa and E. Date(1989) Benthic nutrient remineralization and oxygen consumption in coastal area of Hiroshima Bay. Water Res., 23, 219-228. 4. 伊達 悦二、清木 徹、井澤 博文、星野 響(1989) 広島湾における炭素、窒素、リンの循環、水質汚濁研究、12, 567-574.

	<p>5. 井澤 博文、清木 徹、伊達 悦二 (1990) 大口径パイプを用いた簡易不攪乱柱状採泥器の試作、水質汚濁 13, 320-323.</p> <p>6. T. Seiki, E. Date and H. Izawa (1991) Eutrophication in Hiroshima Bay. Mar. Pollut. Bull., 23, 95-99.</p> <p>7. T. Seiki, E. Date and H. Izawa (1991) Decomposition characteristics of particulate organic matter in Hiroshima Bay. J. Oceanogr. Soc. Japan, 47, 207-220.</p> <p>8. T. Seiki, H. Izawa, E. Date and H. Sunahara (1994) Sediment oxygen demand in Hiroshima Bay. Water Res., 28,385-393.</p> <p>9. Y. S. Lee, T. Seiki, T. Mukai, K. Takimoto and M. Okada (1996) Limiting Nutrients of phytoplankton community in Hiroshima Bay, Japan. Water Res., 30,1490-1494.</p> <p>10. 李 正奎、西嶋 渉、向井 徹雄、滝本 和人、清木 徹、平岡 喜代典、岡田 光正 (1998)自然および人工干潟の有機物浄化機能の定量化と広島湾の浄化に果たす役割、水環境学会誌, 21, 149-156.</p> <p>11. 清木 徹、平岡 喜代典、李 正奎、西嶋 渉、向井 徹雄、滝本 和人、岡田 光正 (1998)広島湾における干潟の水質浄化機能に関する研究 —有機物の分解特性について— 水環境学会誌、21, 421-428.</p> <p>12. J. G. Lee, W. Nishijima, T. Mukai, K. Takimoto, T. Seiki, K. Hiraoka, and M. Okada (1998) Factors to determine the functions and structures in natural and constructed tidal flats. Water Res., 32, 2601-2606.</p> <p>13. 清木 徹、駒井 幸雄、小山 武信、永渕 修、日野 康良、村上 和仁 (1998) 瀬戸内海における汚濁負荷量と水質の変遷、水環境学会誌、21,780-788.</p> <p>14. 清木 徹、岡田 光正 (1999) 前浜干潟の水質環境浄化能、水環境学会誌、22, 527-532.</p> <p>15. T. Seiki, E. Date, J. G. Lee, W. Nishijima, T. Mukai, K. Takimoto and M. Okada (1999) The significance of tidal flats for environmental preservation, Medcoast99 – EMECS99 joint conference, vol.1, 269-282.</p> <p>16. 清木 徹、伊達 悦二、岡田 光正 (2001) 広島湾における干潟の浄化機能、水産海洋研究、65, 176-179.</p> <p>17. 山本 民次、石田 愛美、清木 徹 (2002) 太田川河川水中のリンおよび窒素濃度の長期変動 —植物プランクトン種の変化を引き起こす主要因として—、水産海洋研究、66, 102-109.</p> <p>(キーワード)水環境工学、生態工学</p>
担当科目	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

中国経済産業局 閉鎖性水域の海域別調査(瀬戸内海)検討委員会・検討委員(2006年04月～)
--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

人間環境教育課程	氏名 関友作
----------	--------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1964年12月
学歴・職歴	東京工業大学大学院総合理工学研究科博士課程(1996年)
学位	博士(学術)[東京工業大学]
受賞歴	なし
所属学会	教育システム情報学会, 日本科学教育学会, テクニカル コミュニケーター協会, 日本認知科学会, 日本教育工学会
専門分野	科学教育 教育工学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)コミュニケーション論[文章作成法1], 文明・技術系科目[システムとしてみる社会] (専門科目)情報の収集と活用, データ解析法, 情報処理の基礎技術 II, 心理学文献講読 III, 情報編集法/情報編集法(人間環境), 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)認知心理学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

日本教育工学会 日本教育工学会 国際交流委員会・委員(2012年09月～)
日本教育工学会 日本教育工学会 編集委員会・特任編集委員(2010年03月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

人間環境教育課程	氏名 曾我 日出夫
----------	-----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1948年5月
学歴・職歴	大阪大学理学研究科博士課程修了(1979年) 茨城大学教育学部教授(1992年4月～) 茨城大学大学教育研究開発センター長(2002年5月～2005年3月) 茨城大学学長特別補佐(2005年4月～2006年3月) 自然系基礎教育専門部会長(2006年4月～2009年3月)
学位	理学博士[大阪大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本数学会
専門分野	基礎解析学 数理物理・物性基礎
教育研究概要	<p>1. 教育について</p> <p>1979～95年頃は、教育学部の教員養成部門において、数学教員の養成教育に携わってきた。その後(1996)、非教員養成部門(0免課程)の発足とともに、その課程の担当に移動し、現在に至っている。移動後は具体的な現象を扱う授業担当が多くなった。</p> <p>1994年教育学研究科(修士課程)の数学教育専修が発足して以来、その解析学の指導教授となって現在に至っている。2000年より、(茨城大学の)理工学研究科の博士後期課程(情報システム科学専攻)にも指導教授として参画している。</p> <p>2001年以後は、全学の教養教育の運営に携わっており、2001年はその運営組織(大学教育研究開発センター)の副センター長、2002～04年にはセンター長(教育学部と兼任)についていた。その間、「質の保証」を目指した教育改革を推進した。特に、2005年度より、工学部初年次生を対象として、下位グループ引き上げを目指した理系基礎教育の教育改革プロジェクト(大学教育研究開発センターの取り組み)の統括者となり、微積分、物理学等の基礎教育について、新しいやり方を工学部等の教養教育カリキュラムに導入した。</p> <p>2. 研究について</p> <p>全体として偏微分方程式に関係する研究を行っている。特に、具体的な数理物理学の問題を研究しており、その最も主要なものは Lax-Phillips 型の散乱論に関するものである。1980～90年頃は、波動方程式を対象として、散乱核の情報から散乱物体</p>

	<p>の情報を得ようという逆問題を研究していた。その中で最も大きな成果は、物体が凸であることの特徴付けなどを行ったことである。その後、弾性方程式に対して Lax-Phillips 型の散乱問題を考え、未整備であった基礎事項をつくとともに、逆問題において弾性方程式固有の現象があることを明らかにした。この方面の研究は現在も続けており、Raylei 波などの表面波に焦点をあてた散乱問題を考察している。最近の結果として、表面波を抽出するような散乱核の表現式を得ている。</p> <p>上記の逆問題との関連で、パラメータをもつ振動積分の分析を行った。これは、いわゆる stationary phase method で扱われる振動積分を、漸近展開を通さずに解析したものであり、これ自身で独立して意味のある結果である。さらに、この逆問題との関係で取り組んだテーマとして、漸近解の構成がある。一般的な弾性方程式に対して、具体的に漸近解を構成したりしている。</p>
	(キーワード) 偏微分方程式、数理物理学、散乱逆問題
担当科目	<p>(教養科目) 文明・技術系科目 [技術の開発と社会の変容]</p> <p>(専門科目) 組織の合意, 科学技術と社会, 保育内容の研究(環境), 総合演習[人環用], 環境特別演習 II, 環境科学総論, 生活の中の環境問題, 応用解析学 I/環境科学への数学, 環境計測法, 複雑系の適応行動, 環境特別演習 I, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目) 解析学特論, 数学総合研究, 解析学演習</p>

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2) 学会発表など

Taiwan-Japan Joint Conference on PDE and Analysis での(招待)講演 (2012 年 12 月)
--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

茨城県総合計画審議会(2012 年度)

海外出張・海外研修・内地研修など

台湾 台北・台湾大学[研究集会参加](2012 年 12 月:4 日間)

科学研究費補助金などの受領

--

人間環境教育課程	氏名 巽 申直
----------	---------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1948年12月
学歴・職歴	東京教育大学大学院体育学研究科修士課程(1973年) 茨城大学教養部講師に採用(1973年4月～) 茨城大学教養部助教授に昇任(1980年4月～) 茨城大学教養部教授に昇任(1987年4月～) 茨城大学教育学部教授(1996年4月～)
学位	体育学修士
受賞歴	日本武道学会賞(1988年)
所属学会	日本体力医学会, 日本武道学会
専門分野	体育学
教育研究概要	(キーワード)身体教育学、武道論、剣道
担当科目	(教養科目)身体活動[ゴルフ(C)], 身体活動[ゴルフ(C)] (専門科目)剣道指導法/剣道, 体育科教育法研究, 武道方法論, 剣道/剣道指導法, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)運動方法学特論, 保健体育授業設計, 体育科学総合研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

巽申直、長南麻理奈、後藤飛大「剣道学習におけるアナログンとしての「ボール打ち」の妥当性について」、全国教育系大学剣道連盟研究情報誌ゼミナール剣道、, 15, 2013.

研究業績(2)学会発表など

柴田一浩、巽申直、菊地耕、「剣道の教材づくりに関する研究一攻防の仕方からの検討一」(日本武道学会第45回大会・2012年09月)
、「剣道における基本打ちと実践的な打ちの手の内作用の比較」(日本武道学会第45回大会・2012年09月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動**社会的活動、地域貢献など**

日本武道学会 剣道専門分科会会長(2009年04月～)

第 74 回国民体育大会茨城県準備委員会総務企画専門委員会委員(2012 年度)
茨城県スポーツ推進審議会(2012 年度)
第 74 回国民体育大会茨城県準備委員会常任委員(2012 年度)
水戸市教育事務評価専門委員(2012 年度)
第 74 回国民体育大会茨城県準備委員会総務企画専門委員会委員(2012 年度)

海外出張・海外研修・内地研修など**科学研究費補助金などの受領**

人間環境教育課程	氏名 富樫 泰一
----------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1957年4月
学歴・職歴	筑波大学体育研究科修士課程修了(1983年) 学校法人清真学園高等学校非常勤講師(1983年4月～1984年3月) 筑波大学研究協力部研究協力課(体育科学系担当)(1985年4月～1988年3月) 茨城大学教養部講師(1988年4月～1989年3月) 茨城大学教養部助教授(1989年4月～1996年3月) 茨城大学教育学部助教授(1996年4月～2002年12月) 茨城大学教育学部教授(2003年1月～)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本バイオメカニクス学会, 日本体育学会
専門分野	スポーツ科学 応用健康科学
教育研究概要	教育活動(スポーツ医学外科領域、バイオメカニクス、健康スポーツ科目、水泳、スキー、水辺野外運動) 研究活動(水泳・水中運動の流体力学的研究) (キーワード)
担当科目	(教養科目)身体活動[カヌー(C)], 身体活動[卓球(C)]/野外運動/野外運動, 身体活動[バドミントン(C)] (専門科目)保育内容の研究(健康), 体育科教育法研究, 野外運動, 水泳/水泳/アクアフィットネス/水泳指導法/水泳指導法, 現代人の健康(教科又は教職)/現代人の健康(人間環境), 救急処置法/運動障害救急法/運動障害救急法, スキー/スキー/スキー指導法, 野外運動指導法, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)保健体育授業設計, バイオメカニクス特論, 体育科学総合研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

＜審判員＞財団法人全日本スキー連盟スキーパトロール技術競技大会(群馬県・スノーパーク尾瀬戸倉)(2013年03月)

＜審査員＞財団法人全日本スキー連盟公認スキーパトロール検定会(群馬県・草津国際スキー場)(2013年03月)

＜その他＞スキーパトロール中央研修会講師(2012年11月)

社会的活動、地域貢献など

[出前授業]大成女子高等学校 平成 24 年度 コロキウム, 大成女子高等学校(2012 年度実施)

[その他]一般財団法人東京都スキー連盟加盟団体安全対策講習会, 一般財団法人東京都スキー連盟(2012 年度実施)

[自治体での社会教育]体育アドバイザー派遣事業水泳指導, 茨城県教育委員会(坂東市立内野山小学校)(2012 年度実施)

財団法人茨城県体育協会評議員(2012 年度)

茨城県スポーツ医・科学委員会(2012 年度)

[非常勤講師]筑波大学大学院人間総合科学研究科[非常勤講師(専門科目・水中安全管理実習)](2007 年 10 月～2013 年 03 月)

[兼業]了徳寺大学教養教育センター[非常勤講師(体育実技・水泳)](2007 年 04 月～2013 年 03 月)

[非常勤講師]駿河台大学スポーツ教育センター[非常勤講師(健康スポーツ科目)](2005 年 04 月～2013 年 03 月)

[非常勤講師]筑波大学体育専門学郡[非常勤講師(専門基礎科目・水泳実習(臨海))](1988 年 04 月～2012 年 07 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「携帯端末を活用した水泳学習支援システム(iSwim)の開発」[科研費](代表)(2011年04月01日～2014年03月31日)

人間環境教育課程	氏名 上地 勝
----------	---------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1969 年 8 月
学歴・職歴	筑波大学大学院医学研究科博士課程修了(1999 年) 茨城県立中央看護専門学院非常勤講師(1996 年 4 月～1999 年 3 月) 茨城県立つくば看護専門学校非常勤講師(1997 年 4 月～2000 年 3 月) 筑波大学助手社会医学系(1999 年 4 月～2001 年 9 月) 茨城大学助教授教育学部(2001 年 10 月～2007 年 3 月) 茨城キリスト教大学非常勤講師(2002 年 4 月～2011 年 3 月) 茨城大学准教授教育学部(2007 年 4 月～)
学位	博士(医学)[筑波大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	日本公衆衛生学会, 日本疫学会, 日本民族衛生学会, 日本健康教育学会, 日本学校保健学会, 日本体力医学会, 日本教育保健学会
専門分野	応用健康科学 公衆衛生学・健康科学 学校保健学 健康教育 疫学
教育研究概要	(キーワード)学校保健、健康教育、保健科教育、疫学、公衆衛生学、健康科学、老年学、介護予防
担当科目	(教養科目)身体活動[フィジカルフィットネス(C)], 身体活動[フィジカルフィットネス(M)], 身体活動[テニス(C)], 身体活動[スキー(C)] (専門科目)体育科内容研究, 体育科内容研究, 保育内容の研究(健康), 健康特別演習 II, 総合演習[人環用], 体育科教育法研究, 健康運動指導実習, 健康調査解析法, 学校保健概論(中教科:保体選修)/学校保健概論(スポーツコース)/学校保健概論(健康コース)/学校保健概論(心理コース), 健康特別演習 I, 陸上競技方法論/陸上競技方法論(健康コース), 陸上競技/陸上競技指導法/陸上競技(健康コース), 保育内容の研究(人間関係), 現代人の健康(教科又は教職)/現代人の健康(人間環境), 衛生公衆衛生学概論/衛生公衆衛生学概論(環境コース)/衛生公衆衛生学概論/衛生公衆衛生学概論/衛生公衆衛生学概論(心理), 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)保健体育授業設計, 学校保健管理演習, 体育科学総合研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

鈴木麻理, 渡邊將司, 上地 勝「疾走中におけるストライド長の左右差に影響を与える要因」, 陸上競技研究, 92, 15-18, 2013.

研究業績(2)学会発表など

高倉 実, 濱畑有衣子, 上地勝, 栗原淳, 「青少年の学校や近隣におけるソーシャル・キャピタル尺度の作成」(第21回日本健康教育学会学術大会・2012年07月)
 上地 勝, 荒井信成, 「地域在宅中高齢者の運動教室非参加に関する探索的研究」(第71回日本公衆衛生学会総会・2012年10月)
 , 「高校生のレジリエンスと交通ルール遵守との関連」(第71回日本公衆衛生学会総会・2012年10月)
 上地 勝, 荒井信成, 栗原 淳, 高倉 実, 「高校生の家族関係と抑うつ症状に関する研究」(第59回日本学校保健学会・2012年11月)
 荒井信成, 上地 勝, 市村國夫, 渡邊正樹, 「大学生のスポーツ経験とレジリエンスとの関連」(第59回日本学校保健学会・2012年11月)
 濱畑有衣子, 高倉 実, 上地 勝, 栗原 淳, 「高校生のソーシャルキャピタル(一般的信頼)と主観的健康との関連」(第59回日本学校保健学会・2012年11月)
 上地 勝, 荒井信成, 「中高齢者の健康教室参加率の関連要因」(第77回日本民族衛生学会総会・2012年11月)
 荒井信成, 上地 勝, 「大学生のスポーツ障害経験とレジリエンスの関連」(第77回日本民族衛生学会総会・2012年11月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本民族衛生学会 編集委員(2010年04月～)
 日本民族衛生学会 評議員(2003年01月～)
 日本民族衛生学会 日本民族衛生学会編集委員会委員・(2010年01月～)
 [自治体での社会教育]ひたちなか市生涯スポーツ指導者講習会, ひたちなか市生涯学習課(2012年度実施)
 [その他]茨城県体育授業アドバイザー「陸上運動」ひたちなか市立堀口小学校, 茨城県教育委員会(2012年度実施)
 [出前授業]水戸第二高等学校「ボディーワーク」, 水戸第二高等学校(2012年度実施)
 学習指導要領実施状況調査(小・中学校 保健)問題作成委員会委員(2012年度)
 平成24年度 健康教育指導者養成研修 健康コース(2012年度)
 [東海村消防本部](2007年10月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「思春期のレジリエンスと健康行動の関連についての実証的研究」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)
(2011 年 04 月～2014 年 03 月)

人間環境教育課程	氏名 渡部 玲二郎
----------	-----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1965年3月
学歴・職歴	筑波大学心理学研究科博士課程単位取得満期退学(1994年) 茨城大学教育学部講師(1995年1月～1999年9月) 茨城大学教育学部助教授(1999年10月～2007年3月) 茨城大学教育学部准教授(2007年4月～2011年9月) 茨城大学教育学部教授(2011年10月～)
学位	博士(心理学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育心理学会, 日本カウンセリング学会, 日本発達心理学会
専門分野	教育・社会系心理学
教育研究概要	(キーワード)子どもの対人関係、教師と子どもの対人関係、社会的適応、自己受容
担当科目	(教養科目)人間と心[心理学から見る人間理解] (専門科目)心理学研究法Ⅰ, 心理学文献講読Ⅰ, 発達の理解Ⅰ/発達の理解A, 心理学統計法, 発達臨床心理学, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)学校教育総合研究, 人間関係特論/学校教育心理学特論, 発達論演習, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

荒川智・田中健次・村野井均・村山朝子・渡部玲二郎・大辻永・郡司春元・西川陽子「茨城大学教育学部附属学校園におけるサステナビリティ教育の実態調査とESDカレンダーの試作」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学, 芸術), , 61, 41-54, 2012.

渡部玲二郎・高橋由理「自己期待に関する不合理な信念」および「自己の側面の重要性」が自己受容に及ぼす影響」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 61, 437-445, 2012.

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

日本カウンセリング学会 日本カウンセリング学会常任編集委員(2008年04月～2014年03月)
 日本教育心理学会 日本教育心理学会編集委員(2008年01月～2013年12月)
 水戸市立常磐小学校 学校保健委員会講師(2012年度)
 社団法人茨城県看護協会「茨城県専任教員養成講習会」講師(2012年度)
 社団法人茨城県看護協会「実習指導者講習会」講師(2012年度)
 「教師による小・中学生のコミュニケーション能力向上プロジェクト」(共同研究): 一般財団法人田中教育
 研究所・田研出版(2007年12月～2016年03月)
 [非常勤講師]筑波大学人間学群(1998年04月～)
 [非常勤講師]茨城北西看護専門学校(2010年04月～)
 出前授業[茨城県立日立北高等学校](2012年10月)

海外出張・海外研修・内地研修など**科学研究費補助金などの受領**

「ESDの視点による教科・領域横断的学習活動の構築」[科研費]萌芽研究(分担)(2010年04月01日
 ～2013年03月31日)
 「関係性攻撃と心理・社会的適応との関連についての生涯発達心理学的研究」[科研費]基盤研究(B)
 一般(分担)(2009年04月01日～2014年03月31日)

附属教育実践総合センター	氏名 五島 浩一
--------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1961 年 1 月
学歴・職歴	
学位	
学位	
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

附属教育実践総合センター	氏名 岡部 千草
--------------	----------

教員履歴など

現 職	特任教授
生年月	1950 年 1 月
学歴・職歴	
学位	
学位	
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)国語科教育法特講 III (大学院科目)国語科教育演習 II, 言語文化総合研究, 国語教育授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校臨床心理教室	氏名 正保 春彦
----------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1958年11月
学歴・職歴	筑波大学心理学研究科博士課程(1988年) 筑波大学心理学系助手(1988年6月～1990年3月) 明海大学外国語学部専任講師(1990年4月～1995年3月) 明海大学外国語学部助教授(1995年4月～2000年9月) 茨城大学教育学部附属教育実践総合センター助教授(2000年10月～2009年9月) 茨城大学教育学部附属教育実践総合センター教授(2009年10月～2012年3月) 茨城大学大学院教育学研究科教授(2012年4月～)
学位	教育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本カウンセリング学会, 日本人間性心理学会, 日本心理臨床学会
専門分野	臨床心理学
教育研究概要	集団心理療法(構成的グループ・エンカウンター、ロールプレイング、インプロヴィゼーション)、カウンセリング (キーワード)臨床心理学、グループアプローチ、構成的グループ・エンカウンター、ロールプレイング、サイコドラマ、インプロ(インプロヴィゼーション)
担当科目	(教養科目)人間と心[カウンセリングと心の世界] (専門科目)グループアプローチ特講, カウンセリング特講, ころを育てるグループワーク, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)臨床心理基礎実習Ⅰ*, 臨床心理基礎実習Ⅱ*, グループアプローチ特論*

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

正保春彦「いじめ問題と「ころでっかち」」, 心理臨床研究, 5, 1, 2013.
鈴木大輝、正保春彦「あいづちからみた自己一致に関する一考察 — 初心者カウンセラーとベテランカウンセラーの比較から —」, 茨城大学教育実践研究, 31, 293-305, 2012.
正保春彦「グループワークの心理的効果についての一考察 — 構成的グループ・エンカウンターとインプロヴィゼーションの比較から —」, 茨城大学教育実践研究, 31, 279-291, 2012.

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動
社会的活動、地域貢献など
学校で使えるグループアプローチ研究会・代表(2005年04月～)
[非常勤講師]筑波大学[非常勤講師](2005年04月～)
患者会実施協力[筑波大学附属病院](年度不詳), 研修委員[茨城いのちの電話](年度不詳), 研修会講師[社会福祉法人同仁会](2007年02月～), 相談員研修会講師[水戸市教育委員会](2006年～), 調査官研修会講師[水戸家庭裁判所](2006年～), 研修会講師[日立市教育委員会](2006年08月～), 水戸教育事務所明るい学校作り指導者研修会実施協力[茨城県教育委員会](2006年05月～), 親子合宿実施支援協力[水戸家庭裁判所](2006年04月～)
海外出張・海外研修・内地研修など
科学研究費補助金などの受領

附属教育実践総合センター	氏名 昌子 佳広
--------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1965 年 10 月
学歴・職歴	島根大学大学院教育学研究科修士課程修了(1998 年 03 月) 島根県公立小学校教諭(1988 年 4 月～1991 年 3 月) 島根大学教育学部附属小学校教諭(1991 年 4 月～2001 年 3 月) 茨城大学教育学部講師(2001 年 4 月～) 茨城大学教育学部助教授(2004 年 10 月～) 茨城大学教育学部教授(2013 年 4 月～)
学位	教育学修士[島根大学]
受賞歴	なし
所属学会	表現学会, 日本読書学会, 日本国語教育学会, 全国大学国語教育学会, 日本文学協会
専門分野	国語科教育学
教育研究概要	地方における国語教育実践史の研究, 国語科文学教育理論と実践に関する研究 (キーワード)
担当科目	(専門科目)初等国語科教育法研究, 国語科教育法特講 II, 教職のためのパブリックスピーキング, 初等国語科教育法研究, 国語科教育法演習 I, 読書と豊かな人間性, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)言語文化総合研究, 国語科教育特論 II, 国語教育授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- ・(論文)「椋嶋十「大造爺さんと雁」の「前書き」と「語り」をめぐる一考察」, 『茨城の国語教育』(茨城国語教育学会)第 12 号, 23-36 頁, 2012 年
- ・(論文)「尾崎美紀「あ・し・あ・と」論—ファンタジー童話が拓く文学の授業—」, 『国語教育論叢』(島根大学教育学部国文学会)第 21 号, 53-67 頁, 2012 年

研究業績(2)学会発表など

- ・(学会発表)「浜田廣介「泣いた赤おに」の教材化をめぐる」第 122 回全国大学国語教育学会自由研究発表, 筑波大学, 2012.5.26

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

- ・鹿嶋市立高松中学校校内研修会講師(授業研究指導助言), 2012.6.29
- ・北茨城市教育研究会国語教育研究部夏季研修会講師(講話), 2012.8.10
- ・鹿嶋市立高松小・中学校 小中連携研修会講師(講話), 2012.8.23
- ・東海村立東海中学校校内研修会講師(授業研究指導助言), 2013.1.29
- ・東海村立東海中学校校内研修会講師(模擬授業・講話), 2013.2.26

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校臨床心理専攻	氏名 金丸 隆太
----------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1973 年 2 月
学歴・職歴	早稲田大学文学研究科修士課程修了(1999 年) 東京都東久留米市教育センター滝山相談室 相談員(1997 年 4 月～2003 年 3 月) 財団法人博慈会高等看護学院 非常勤講師(1998 年 4 月～2003 年 3 月) 学校法人山野学苑山野美容専門学校 非常勤講師(1999 年 4 月～2002 年 3 月) 学校法人日本医科大学千葉看護専門学校 非常勤講師(1999 年 4 月～2003 年 3 月) 茨城大学大学院教育学研究科 専任講師(2003 年 2 月～) 茨城県スクールカウンセラー(2004 年 4 月～)
学位	修士(心理学)
受賞歴	なし
所属学会	日本交流分析学会, The International Transactional Analysis Association, 日本心理臨床学会, 日本心理学会, 日本遊戯療法学会, 日本精神衛生学会, 日本教育心理学会, 日本質的心理学会
専門分野	臨床心理学
教育研究概要	子どもと親の臨床心理学的問題 教育相談における様々な臨床心理学理論の実践(主として Transactional Analysis (交流分析)および投射描画法テストバッテリー) (キーワード)交流分析(TA), 親子の臨床心理学的問題, 投射描画法テストバッテリー, 児童虐待, 発達障害
担当科目	(大学院科目)臨床心理査定演習 I*, 臨床心理実習 I*, 臨床心理学講読演習, 思春期臨床心理学特論, 臨床心理実習 II*, 臨床心理査定演習 II*, 臨床心理研究法演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

新井英靖・金丸隆太・松坂晃・鈴木栄子「発達障害児者の防災ハンドブック—いのちと生活を守る福祉避難所を」, クリエイトかもがわ, 19-30, 31-53, 2012.
金丸隆太「交流分析家になるための過程」, 精神療法 38, 799-807, 2012
金丸隆太「両親の不和に心を痛めている」, 児童心理 67, 91-95, 2013

研究業績(2)学会発表など

村松健司・金丸隆太・妙木浩之・塩谷隼平・河嶋奈穂子・岡昌之「児童養護施設における心理支援2」,
日本心理臨床学会第 31 回大会, 2012

塩谷隼平・村松健司・金丸隆太・妙木浩之・河嶋奈穂子・岡昌之「児童養護施設における心理支援3」,
日本心理臨床学会第 31 回大会, 2012

塩谷隼平・村松健司・妙木浩之・金丸隆太・河嶋奈穂子・岡昌之「児童養護施設における心理的ケアに
ついて1」, 日本子ども虐待防止学会第 18 回学術集会, 2012

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

[兼業]茨城県教育委員会[スクールカウンセラー](2004年04月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

「児童養護施設における心理療法効果測定とケースフォーミュレーション・プログラム開発」[科研費]基
盤研究(C)一般(分担)(2011年04月～2013年03月)

「養護教諭の健康相談活動スキル向上のためのプログラムの開発」[科研費]基盤研究(C)一般(分担)
(2010年04月01日～2013年03月31日)

「認知症高齢者ケアにおけるコラージュ療法の有効性に関する研究」[科研費]基盤研究(B)一般(分
担)(2010年04月01日～2013年03月31日)

学校臨床心理専攻	氏名 岸 良範
----------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1951 年 8 月
学歴・職歴	
学位	文学修士[早稲田大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本学生相談学会, 日本児童心理・青年精神医学学会, 日本精神分析学会, 日本箱庭療法学会, 日本心理臨床学会
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)人間と心[カウンセリングと心の世界] (大学院科目)臨床心理実習 I*, 臨床心理学特論 II*, 臨床心理行政特論, 臨床心理実習 II*, カウンセリング特論*, 臨床心理査定演習 II*

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

日本箱庭療法学会 理事・編集委員・研修委員(2005年～)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校臨床心理専攻	氏名 守屋 英子
----------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1952年10月
学歴・職歴	京都大学教育学研究科博士後期課程単位取得満期退学(1988年) 京都府八幡市母子通所訓練教室(1976年4月～1980年3月) 奈良子鹿園相談部(1977年4月～1980年3月) 江戸川区教育研究所教育相談室(1981年2月～1993年3月) 琉球大学教育学部非常勤講師(1994年4月～1996年9月) 沖縄リハビリテーション福祉学園非常勤講師(1994年10月～1997年3月) いずみ病院(沖縄県・高江洲義英院長)(1994年12月～1997年3月) 茨城県スクールカウンセラー(非常勤)(1997年4月～) 福田カウンセリングルーム・福田クリニック(つくば市・福田恒也院長)(1998年1月～) 金町慈友クリニック(葛飾区・待鳥浩司院長)(2005年2月～2006年3月) 茨城大学大学院教育学研究科学校臨床心理学専攻(2006年4月～)
学位	教育学修士[京都大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	日本質的心理学会, 日本描画テスト・描画療法学会, 日本遊戯療法学会, 日本箱庭療法学会, 日本心理臨床学会, 日本芸術療法学会
専門分野	臨床心理学
教育研究概要	臨床心理学(芸術療法、遊戯療法、子どもの問題行動に関連しての親・教師への援助、思春期から成人までの心理療法) (キーワード)
担当科目	(教養科目)人間と心[カウンセリングと心の世界] (大学院科目)心理療法特論*, 臨床心理査定演習I*, 臨床心理学特論I*, 臨床心理基礎実習I*, 箱庭療法特論*, 臨床心理基礎実習II*

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

守屋英子「臨床心理相談室有料化に関する一考察」, 茨城大学心理臨床研究, , 5, 3-8, 2013.
菊池聡美・守屋英子「慢性的な疾患を持つ子どもが病気と共に生きる過程について」, 茨城大学教育実践研究, , 31, 307-320, 2012.

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本芸術療法学会 評議員(2010年04月～)

茨城県臨床心理士会・教育領域委員会委員長(2012年05月～2014年05月)

茨城県臨床心理士会 茨城県臨床心理士会スクールカウンセラー専門部会・専門部会長・スクールカウンセラー担当理事(2012年04月～2014年03月)

[その他]心理臨床活動に関する個人スーパーヴィジョン, 教育学研究科臨床心理相談室(2012年度実施)

[その他]事例検討会, あすか会(学校臨床心理卒業生の会)(2012年度実施)

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]教育免許状更新講習 新課題講習 学校臨床心理学, 茨城大学(2012年度実施)

茨城県緊急スクールカウンセラー派遣事業に係るスーパーヴァイザー(2012年度)

茨城県カウンセリングアドヴァイザー(2012年度)

茨城県自殺対策委員会(2012年度)

石岡市教育委員会 研修会講師(2012年11月)

茨城県小児科医会 研修セミナー講師(2012年10月)

関東管区警察局茨城県情報通信部 研修会講師(2012年09月)

かすみがうら市教育委員会 研修会講師(2012年08月)

鹿島市教育委員会 研修会講師(2012年08月)

茨城県教育研修センター 0年経験者研修講座(養護教諭)講師(2012年07月)

福田カウンセリングルーム 臨床心理士(2012年04月～2013年03月)

茨城県教育委員会 スクールカウンセラー(2012年04月～2013年03月)[兼業]福田カウンセリングルーム[臨床心理士](2012年04月～2013年03月)

[兼業]茨城県教育委員会[スクールカウンセラー](2012年04月～2013年03月)

大学生・大学院生をキャンパスエイドとして結城第二高校に派遣。月1回のミーティングで学生達の指導を行う。また高校で行われるキャンパスエイド研究協議会に参加。年度末に地域教育臨床研究会を開催し、活動報告を行う。[茨城県立結城第二高校](2011年04月～2014年03月)

海外出張・海外研修・内地研修など

科学研究費補助金などの受領

2 平成 24 年度 教員免許状更新講習一覧

平成24年 1期

講習の名称	講習の概要	主な受講対象者	時間数	講習日	定員	受講者数	授業形態	対象職種	講義場所	担当講師	認定番号	科目区分	登録学部
1 教育の最新事情	「教職についての省察」「子どもの変化についての理解」「教育政策の動向についての理解」「学校の内外における連携協力についての理解」の4つの事項について、教員に求められる知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。	全教員	12時間	平成24年8月11日 ～ 平成24年8月12日	500人	233人	講義・演習	教諭 養護教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	小川 哲哉 佐藤 環 村野井 均 渡部 玲二郎 三輪 壽二 丸山 広人 望月 厚志 加藤 雅英 杉本 生越	平24-10015-00107号	必修	教育学部
2 教育の最新事情	「教職についての省察」「子どもの変化についての理解」「教育政策の動向についての理解」「学校の内外における連携協力についての理解」の4つの事項について、教員に求められる知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。	全教員	12時間	平成24年8月11日 ～ 平成24年8月12日	500人	204人	講義・演習	教諭 養護教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	小川 哲哉 佐藤 環 村野井 均 渡部 玲二郎 三輪 壽二 丸山 広人 望月 厚志 加藤 雅英 杉本 生越	平24-10015-00107号	必修	教育学部
3 新課題講習 1	本学教育学部臨床心理学の研究・教育に携わっている3名の講師が担当し、学校臨床心理学の理論と実践を教育活動(相談)に生かす方法を学ぶ。	全教員	6時間	平成24年6月2日	50人	32人	講義・演習	教諭 養護教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	岸 良範 金丸 隆太 守屋 美子	平24-10015-50633号	選択	教育学部
4 新課題講習 2	本学教育学部で、障害児教育の研究・教育に携わっている2名の講師が、通常の学級に在籍する発達障害児への支援が注目されている中、本講義では、発達障害児に関わる我が国の施策から脳科学的知見を含む発達障害児に関する最新知見を紹介し、彼らにいかなる支援が必要かを講じる。	全教員	6時間	平成24年6月2日	50人	46人	講義・演習	教諭 養護教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	勝二 博亮 東條 吉邦	平24-10015-50636号	選択	教育学部
5 新課題講習 3	本学教育学部で、教育方法学の立場から現代の子どもについて研究・教育に携わっている講師が前半は、なぜ現代の子どもたちが変わったように見えるのか、社会の変化を理解することを通じて、子どもたちの問題行動のなかに隠された意味を講じる。後半は、子どもたちをどのように理解したらよいのか、具体的な事例を取り上げながら講じる。	全教員	6時間	平成24年6月2日	50人	47人	講義・演習	教諭 養護教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	生越 達	平24-10015-50639号	選択	教育学部
6 新課題講習 4	本学教育学部で臨床心理学の研究・教育に携わっている講師が、教室内での生徒間の人間関係を見直し、豊かなこころを育てる技法とマインドについて講義と演習を行う。	全教員	6時間	平成24年6月2日	40人	34人	講義・演習	教諭 養護教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	正保 春彦	平24-10015-50642号	選択	教育学部
7 新課題講習 6	本学教育学部で情報教育の研究・教育に携わっている講師が、本講義では、学校における情報教育のこれからの課題について、新学習指導要領と教育の情報化、文科省新「情報教育の手引き」等の動向を中心に講義し、また、授業で役立つ情報教育の内容と方法について、実習を交えて講じる。	全教員 (養護教諭を除く)	6時間	平成24年6月2日	50人	18人	講義・演習	教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	本田 敏明	平24-10015-50645号	選択	教育学部
8 新課題講習 7	前半は、本学教育学部で体育社会学の研究・教育に携わっている講師が、新しい学校体育の課程を生産スポーツの視点からライフステージ別に「身体」「体験活動」を軸に講じる。後半は、本学教育学部で発達心理学・形態学の研究・教育に携わっている講師が、おもに小学生から中学生の体力の発達、トレーニング法やその効果に関して講じる。	全教員	6時間	平成24年6月2日	50人	25人	講義	教諭 養護教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	日下 裕弘 渡邊 将司	平24-10015-50647号	選択	教育学部
9 新課題講習 8	本学教育学部で人間関係教育の研究・教育に携わっている講師が、前半はコミュニケーションの媒体として身体の持つ意味を非言語コミュニケーションを理解することから考え、後半はコーチングの基本を学び、各種ワークシートを用いて学校現場でのコーチングについて講じる。	全教員	6時間	平成24年6月2日	50人	27人	講義・実習	教諭 養護教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	加藤 敏弘	平24-10015-50648号	選択	教育学部
10 新課題講習 9	前半は、本学教育学部で理科教育の研究・教育に携わっている講師が、人間にとって欠かせない物質の「塩」を総合的に紹介し、「塩」の結晶を使った様々な実験内容と理科授業での活用事例を講じる。後半は、本学教育学部で理科教育・化学について研究・教育に携わっている講師が、森林の現状を紹介し、森林は今後どうあるべきかについて講じる。	全教員 (養護教諭を除く)	6時間	平成24年6月2日	30人	23人	講義	教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	山本 博博 山本 宏	平24-10015-50650号	選択	教育学部
11 新課題講習 10	本学教育学部で物理学について研究・教育に携わっている講師が、素粒子物理学の基本的な考え方と概要について、ハローポイントでわかりやすく解説し、基礎的事項とともにその基本的な考え方を講じる。また、近年行われている実験や理論の教育力候補とされている超ひも理論についても講じる。	全教員 (養護教諭を除く)	6時間	平成24年6月2日	50人	不開講	講義	教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	永尾 敬一	平24-10015-50652号	選択	教育学部
12 新課題講習 11	前半は、本学教育学部で生化学、細胞生物学、免疫学の研究・教育に携わっている講師が、聴覚障害とはいったいどのようなものなのかその原因と今後、聴覚障害者のQOL向上に向けてどのような取り組みが必要かを講じる。後半は、本学教育学部で歴史地理学の研究・教育に携わっている講師が、総合学習における郷土及び地域研究の指導法について、古地図を活用しながら講じる。	全教員 (養護教諭を除く)	6時間	平成24年6月2日	50人	13人	講義	教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	石原 研治 小野寺 淳	平24-10015-50653号	選択	教育学部
13 新課題講習 12	前半は、理学部で生物物理学の研究に従事している講師が、放射性物質の半減期やベータ線とシーベルトの意味、放射性物質を経口摂取し続けたときに体内蓄積量が増加する様子などを物理学の立場から説明します。後半は、理学部で分子生物学の研究に従事している講師が、生命の根本である細胞の中で、遺伝子(DNA)からタンパク質がでる仕組みと、ヒトを含めた生物が進化する仕組み、がん化の仕組みを解説するとともに、食事や運動と老化との関係について説明します。	全教員 (養護教諭を除く)	6時間	平成24年6月2日	30人	7人	講義	教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	中川 尚子 石見 幸男	平24-10015-50655号	選択	理学部

平成 24 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

14	新展開講習(国語・書道コース)①	国語および書道の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「国語科の協働学習」、後半は「中国文芸小説を読む」を受講する。	小・中・高教諭(国語・書道)	6時間	平成24年6月16日	30人	11人	講義	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	大内 善一 増子 和男	平24-10015-50665号	選択	教育学部
15	新展開講習(国語・書道コース)②	国語および書道の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「言葉を楽しみ言葉のみが(国語の授業)、後半は、「六年間を見通した国語の授業づくり」を受講する。	小・中・高教諭(国語・書道)	6時間	平成24年6月16日	30人	30人	講義	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	昌子 佳宏 岡部 千草	平24-10015-50667号	選択	教育学部
16	新展開講習(社会・歴史・公民コース)①	社会・歴史の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、「社会科における地図の活用」、後半は「新しい地域の見方①」について受講する。	小・中・高教諭(社会・歴史・公民)	6時間	平成24年6月16日	60人	35人	講義	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	村山 朝子 栗 慎瑛	平24-10015-50675号	選択	教育学部 人文学部
17	新展開講習(英語コース)①	英語の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「小学校外国語活動」、後半は「Development Communication Skills」について受講する。	小・中・高教諭(英語)	6時間	平成24年6月16日	30人	24人	講義・演習	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	猪井 新一 岡本 研二 ワルドホフ ジョン	平24-10015-50681号	選択	教育学部
18	新展開講習(算数・数学コース)①	算数・数学の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「数学的な考え方の指導法」、後半は「幾何学のおもしろさ」について受講する。	小・中・高教諭(算数・数学)	6時間	平成24年6月16日	60人	30人	講義	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	笠原 勇 岡安 隆	平24-10015-50685号	選択	教育学部
19	新展開講習(理科・農業コース)①	理科・農業の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、「小学校理科の物理」について受講する。	小・中・高教諭(理科・農業)	6時間	平成24年6月16日	30人	10人	講義・実習	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	矢島 裕介	平24-10015-50689号	選択	教育学部
20	新展開講習(理科・農業コース)②	理科・農業の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、「身近な化学」について受講する。	小・中・高教諭(理科・農業)	6時間	平成24年6月16日	30人	10人	講義・実験	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	松川 寛	平24-10015-50690号	選択	教育学部
21	新展開講習(図工・美術・工芸コース)①	図工・美術・工芸の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、「図工工作科・美術科・工芸科教育の新展開」について、絵画の実践的内容、美術理論を踏まえた鑑賞理論等を中心に受講する。	小・中・高教諭(図工・美術・工芸)	6時間	平成24年6月16日	30人	18人	講義・実技	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	金子 一夫 片口 直樹	平24-10015-50697号	選択	教育学部
22	新展開講習(音楽コース)①	音楽の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「音楽科の授業づくり」、後半は「クラシック音楽の魅力」について受講する。	小・中・高教諭(音楽)	6時間	平成24年6月16日	30人	10人	講義・演習	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	田中 健次 神部 智	平24-10015-50701号	選択	教育学部
23	新展開講習(体育・保健コース)①	体育・保健の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「保健体育総論」、後半は「陸上運動の学習指導」について受講する。	小・中・高教諭(体育・保健)	6時間	平成24年6月16日	30人	24人	講義・実技	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	吉野 聡 岡本 研二 渡邊 将司	平24-10015-50705号	選択	教育学部
24	新展開講習(技術・工業・情報コース)①	技術・工業・情報の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、「図工工作科の指導と評価」、後半は「栽培とものづくり・情報とものづくり」について受講する。	小・中・高教諭(技術・工業・情報)	6時間	平成24年6月16日	30人	12人	講義・実習	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	臼坂 高司 萩谷 正教 稲葉 健五 野崎 英明	平24-10015-50709号	選択	教育学部
25	新展開講習(家庭コース)①	家庭の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、「家庭科教育における衣・食・生活分野の課題と新展開」について受講する。	小・中・高教諭(家庭)	6時間	平成24年6月16日	30人	11人	講義・実験	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	木村 美智子 西川 陽子	平24-10015-50713号	選択	教育学部
26	新展開講習(特別支援教育コース)①	特別支援教育の生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、主として特別支援学校教員のための講習で、「特別支援教育における心理・生理アセスメントの活用」について受講する。	特別支援教育教諭向け	6時間	平成24年6月16日	30人	27人	講義・実習	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	藤二 博亮 村松 多美恵	平24-10015-50717号	選択	教育学部
27	新展開講習(道徳・特別活動コース)①	特別活動における教育内容の充実を目指すこの講習は、「特別活動の今日的課題と実践」について講ずる。児童生徒の心身の発達や人間形成上の課題を踏まえ、特別活動の課題を理解するとともに、学校組織全体として実践の充実を図る方法について講義する。	全教員	6時間	平成24年6月16日	30人	12人	講義	教諭 養護教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	杉本 憲子	平24-10015-50723号	選択	教育学部
28	新展開講習(幼稚園コース)①	幼稚園教育における幼児指導、教育内容の充実のための講習は、「思春期までを見据えた幼児教育」について受講する。	幼稚園教諭向け	6時間	平成24年6月16日	20人	15人	講義	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	生越 達	平24-10015-50729号	選択	教育学部
29	新展開講習(国語・書道コース)③	国語および書道の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「詩をどう読むか」、後半は「書字に関する学習指導について」を受講する。	小・中・高教諭(国語・書道)	6時間	平成24年6月30日	30人	28人	講義・実習	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	橋浦 洋志 藤木 久美	平24-10015-50669号	選択	教育学部
30	新展開講習(国語・書道コース)④	国語および書道の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「現代の私たちと『古典』」、後半は「言葉の意味を探る」を受講する。	小・中・高教諭(国語・書道)	6時間	平成24年6月30日	30人	12人	講義	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	堀口 育男 川嶋 秀之	平24-10015-50671号	選択	人文学部 教育学部
31	新展開講習(社会・歴史・公民コース)②	社会・歴史・公民の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、「公民的分野の現代的課題」、後半は「中世武士の成立をどう考えるか」について受講する。	小・中・高教諭(社会・歴史・公民)	6時間	平成24年6月30日	60人	32人	講義	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	木村 健 高橋 修	平24-10015-50676号	選択	教育学部 人文学部
32	新展開講習(英語コース)②	英語の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「形成的評価を利用するチームティーチング」、後半は「イギリス文学・文化と英語テキストそして異文化理解」について受講する。	小・中・高教諭(英語)	6時間	平成24年6月30日	30人	13人	講義・演習	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	齋藤 英敏 小林 英美	平24-10015-50682号	選択	教育学部
33	新展開講習(算数・数学コース)②	算数・数学の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「世の中における数学の活用」、後半は「代数の基礎」について受講する。	小・中・高教諭(算数・数学)	6時間	平成24年6月30日	60人	15人	講義	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	菅我 日出夫 柳田 伸顕	平24-10015-50686号	選択	教育学部
34	新展開講習(理科・農業コース)③	理科・農業の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、「子どもと共に考える実験方法」について受講する。	小・中・高教諭(理科・農業)	6時間	平成24年6月30日	30人	13人	講義・実験	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	平松 不二夫 大辻 永	平24-10015-50692号	選択	教育学部

平成24年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

35	新展開講習(理科・農業コース)④	理科・農業の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「特徴ある茨城の自然」、後半は「水浴の性質・結晶育成に関する実験の指導法」について受講する。	小・中・高教諭(理科・農業)	6時間	平成24年6月30日	30人	10人	講義・実験	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	小菅 次男 山本 勝博	平24-10015-50693号	選択	教育学部
36	新展開講習(図工・美術・工業コース)②	図工・美術・工業の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、「図工工作科・美術科・工業科教育の新展開」について、形別の実践的内容、美術館教育と美術理論を踏まえ、鑑賞理論を中心に受講する。	小・中・高教諭(図工・美術・工業)	6時間	平成24年6月30日	30人	9人	講義	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	島 剛 甲斐 教行	平24-10015-50698号	選択	教育学部
37	新展開講習(音楽コース)②	音楽の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「楽しくなる歌唱指導」、後半は「ピアノを活用したソルフェージュ」について受講する。	小・中・高教諭(音楽)	6時間	平成24年6月30日	30人	14人	講義・演習	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	藤田 文子 佐藤 篤	平24-10015-50702号	選択	教育学部
38	新展開講習(体育・保健コース)②	体育・保健の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「体ほぐし運動の理論と実践」、後半は「バスケットボールの学習指導」について受講する。	小・中・高教諭(体育・保健)	6時間	平成24年6月30日	30人	28人	講義・実技	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	加藤 敏弘	平24-10015-50706号	選択	教育学部
39	新展開講習(技術・工業・情報コース)②	技術・工業・情報の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「金属とものづくり・木材とものづくり」、後半は「機械とものづくり・電気電子とものづくり」について受講する。	小・中・高教諭(技術・工業・情報)	6時間	平成24年6月30日	30人	11人	講義・実習	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	野崎 英明 日坂 高明 安田 健一 柳 守	平24-10015-50711号	選択	教育学部
40	新展開講習(家庭コース)②	家庭の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、「家庭教育における家庭経営学と保育学の課題と新展開」について受講する。	小・中・高教諭(家庭)	6時間	平成24年6月30日	30人	10人	講義	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	佐藤 裕紀子 数井 みゆき	平24-10015-50715号	選択	教育学部
41	新展開講習(特別支援教育コース)②	特別支援教育の生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、主として特別支援学校教員のための講習で、「特別支援教育の動向」について受講する。	特別支援教育 学校教諭向け	6時間	平成24年6月30日	30人	28人	講義・実験	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	荒川 智 新井 英靖	平24-10015-50720号	選択	教育学部
42	新展開講習(道徳・特別活動コース)②	道徳教育における教育内容の充実を目指すこの講習は、「道徳教育の今日的課題と実践」について講ずる。児童生徒の心身の発達や人間形成上の課題を踏まえ、道徳教育の課題を理解するとともに、学校組織全体として実践の充実を図る方法について講義する。	全教員	6時間	平成24年6月30日	30人	30人	講義	教諭 養護教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	生越 達	平24-10015-50726号	選択	教育学部
43	新展開講習(幼稚園コース)②	幼稚園教育における幼児指導、教育内容の充実のための講習は、「幼稚園教育の新展開」について受講する。	幼稚園 教諭向け	6時間	平成24年6月30日	20人	14人	講義・実験	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	新井 英靖 専門 南	平24-10015-50732号	選択	教育学部

平成24年Ⅱ期

講習の名称	講習の概要	主な受講対象者	時間数	講習日	定員	受講者数	授業形態	対象職種	講義場所	担当講師	認定番号	科目区分	登録学部
1 教育の最新事情	「教職についての省察」「子どもの変化についての理解」「教育政策の動向についての理解」「学校の内外における連携協力についての理解」の4つの事項について、教員に求められる知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。	全教員	12時間	平成24年8月17日 ～ 平成24年8月18日	500人	248人	講義・演習	教諭 養護教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	小川 哲哉 佐藤 環 村野井 均 渡部 玲二部 三輪 善二 丸山 広人 望月 厚志 加藤 崇英 杉本 憲子 生越 達	平24-10015-00108号	選択	教育学部
2 教育の最新事情	「教職についての省察」「子どもの変化についての理解」「教育政策の動向についての理解」「学校の内外における連携協力についての理解」の4つの事項について、教員に求められる知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。	全教員	12時間	平成24年8月17日 ～ 平成24年8月18日	500人	142人	講義・演習	教諭 養護教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	小川 哲哉 佐藤 環 村野井 均 渡部 玲二部 三輪 善二 丸山 広人 望月 厚志 加藤 崇英 杉本 憲子 生越 達	平24-10015-00108号	選択	教育学部
3 新課題講習 1	本学教育学部臨床心理学の研究・教育に携わっている3名の講師が担い、学校臨床心理学の理論と実践を教育活動(相談)に生かす方法を学ぶ。	全教員	6時間	平成24年8月20日	40人	40人	講義・演習	教諭 養護教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	岸 良範 金丸 隆太 守屋 英子	平24-10015-50634号	選択	教育学部
4 新課題講習 2	本学教育学部で、障害児教育の研究・教育に携わっている2名の講師が、通常の学級に在籍する発達障害児への支援が注目されている中、本講義では、発達障害児に関わる我が国の施策から脳科学的知見を含む発達障害に関わる最新知見を紹介し、彼らにいかなる支援が必要かを講じる。	全教員	6時間	平成24年8月20日	40人	39人	講義	教諭 養護教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	勝二 博亮 東條 吉邦	平24-10015-50637号	選択	教育学部
5 新課題講習 3	本学教育学部で、教育方法学の立場から現代の子どもについて研究・教育に携わっている講師が前半は、なぜ現代の子どもたちが変わったように見えるのか、社会の変化を理解することを通して、子どもたちの問題行動のなかに隠された意味を講じる。後半は、子どもたちをどのように理解したらよいのか、具体的な事例を取り上げながら講じる。	全教員	6時間	平成24年8月20日	50人	49人	講義	教諭 養護教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	生越 達	平24-10015-50640号	選択	教育学部
6 新課題講習 4	本学教育学部で臨床心理学の研究・教育に携わっている講師が、教室内の生徒間の人間関係を発展させ、豊かなこころを育てる技法とマインドについて講義と演習を行う。	全教員	6時間	平成24年8月20日	25人	24人	講義・演習	教諭 養護教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	正保 春彦	平24-10015-50643号	選択	教育学部
7 新課題講習 6	本学教育学部で情報教育の研究・教育に携わっている講師が、本講習では、学校教育における情報教育のこれらの課題について、新学習指導要領と教育の情報化、文科省新「情報教育の手引き」等の動向を中心に講義し、また、授業で役立つ情報教育の内容と方法について、実習を交えて講じる。	全教員 (養護教諭を除く)	6時間	平成24年8月20日	25人	25人	講義・演習	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	本田 敏明	平24-10015-50646号	選択	教育学部

平成24年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

8	新課題講習 8	本学教育学部で人間環境教育の研究・教育に携わっている講師が、前半はコミュニケーションの媒体として身体の持つ意味を非言語コミュニケーションを理解することから考え、後半はコーチングの基本を学び、各種ワークシートを用いて学校現場でのコーチングについて講じる。	全教員	6時間	平成24年8月20日	40人	40人	講義・実習	教諭 養護教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	加藤 敏弘	平24-10015-50649号	選択	教育学部
9	新課題講習 9	前半は、本学教育学部で理科教育の研究・教育に携わっている講師が、「塩」の結晶を使った様々な実験内容と理科授業での活用事例を講じる。 後半は、本学教育学部で理科教育・化学について研究・教育に携わっている講師が、森林の現状を紹介し、森林は今後どうあるべきかについて講じる。	全教員 (養護教諭を除く)	6時間	平成24年8月20日	30人	30人	講義	教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	山本 勝博 山本 宏	平24-10015-50651号	選択	教育学部
10	新課題講習 11	前半は、本学教育学部で生化学、細胞生物学、免疫学の研究・教育に携わっている講師が、聴覚障害とはいったいどのようなものなのかその原因と今後、聴覚障害者のQOL向上に向けてどのような取り組みが必要かを講じる。 後半は、本学教育学部で歴史地理学の研究・教育に携わっている講師が、総合学習における郷土及び地域研究の指導法について、古地図を活用しながら講じる。	全教員 (養護教諭を除く)	6時間	平成24年8月20日	40人	39人	講義	教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	石原 研治 小野寺 淳	平24-10015-50654号	選択	教育学部
11	新課題講習 13	前半は、本学教育学部で人間環境教育の研究・教育に携わっている講師が、食についてエネルギーの側面から講じる。 後半は、本学教育学部で理科教育、人間環境教育の研究・教育に携わっている講師が「サステイナブルな食や持続可能な開発のための教育」について概説し、学校での展開をワークショップ形式で考察する。	全教員 (養護教諭を除く)	6時間	平成24年8月20日	40人	40人	講義・演習	教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	松川 寛 郡司 晴元	平24-10015-50656号	選択	教育学部
12	新課題講習 14	前半は、本学教育学部で運動生理学の研究・教育に携わっている講師が、子どもの肥満や体力・運動に関する現状を紹介しながら、体育が「豊かなスポーツライフの実現」をめぐり背景について講じる。 後半は、本学教育学部で体育社会学の研究・教育に携わっている講師が、新しい学校体育の課題を生産スポーツの視点からライフステージ別に「身体」体験活動を軸に講じる。	全教員	6時間	平成24年8月20日	40人	39人	講義	教諭 養護教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	松坂 晃 日下 裕弘	平24-10015-50657号	選択	教育学部
13	新課題講習 15	本学教育学部で人間環境教育の研究・教育に携わっている講師が、小学校、中学校段階から習得・倫理学的思考を行い、身につけていくということについて、実践例も紹介しつつ、「生きる力」を育てるとい観点から、その意義と可能性について講じる。	全教員 (養護教諭を除く)	6時間	平成24年8月20日	40人	36人	講義	教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	木村 駿	平24-10015-50658号	選択	教育学部
14	新課題講習 16	前半は、理学部で物理化学の研究に従事している講師が、光（電磁波）と分子の相互作用に着目し化学的な手法でわかりやすく解説し、いくつかの機能性材料の原理について講義します。 後半は、理学部で太陽物理学等の研究に従事している講師が、宇宙の仕組みなどの天文学の基礎から地球に与える影響まで、人工衛星や宇宙探査で得られた最新の画像やデータを中心に、わかりやすく解説する。特に最近の太陽活動の低下が、地球環境や宇宙天気等に及ぼす予測を紹介する。	全教員 (養護教諭を除く)	6時間	平成24年8月20日	30人	22人	講義	教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	泉岡 明 野澤 恵	平24-10015-50660号	選択	理学部
15	新課題講習 17	前半は、工学部で金属材料等の研究に従事している講師が、金属材料を物理学・化学の点から解説した後、塑性加工について紹介し、 後半は、工学部で植物生理・分子の研究に従事している講師が、植物が太陽の光をエネルギーだけではなく情報としても利用しているというメカニズムと、植物が直面する問題の解決戦略について、基礎的な事柄にも重点をおいて解説します。	全教員 (養護教諭を除く)	6時間	平成24年8月20日	30人	14人	講義	教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	伊藤 吾朗 小野 高明	平24-10015-50661号	選択	工学部
16	新課題講習 18	前半は、農学部で畜産物利用の研究を行っている講師が、乳・肉・卵など畜産物品質およびその劣化要因について解説します。また、私たちの食卓に運ばれるまでに畜産物が備まらなければならないための加工技術について解説します。また、実際に畜産物の加工法についての実習を行います。 後半は、農学部で農業経済学の研究を行っている講師が、環境、農業、食にかかわる問題について、近現代を中心に歴史的に解説し、人間の健康やいのちに関わる、これら問題への対応の模索において必要となる知見を講義します。	全教員 (養護教諭を除く)	6時間	平成24年8月20日	30人	13人	講義	教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	宮口 右二 伊丹 一浩	平24-10015-50662号	選択	農学部
17	新展開講習(国語・書道コース)①	国語および書道の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「国語科の協働学習」、後半は「中国文言小説を読む」を受講する。	小・中・高教諭 (国語・書道)	6時間	平成24年8月21日	30人	29人	講義・演習	教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	大内 善一 増子 和男	平24-10015-50666号	選択	教育学部
18	新展開講習(国語・書道コース)②	国語および書道の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「言葉を楽しむ言葉遊び(国語の授業)」、後半は、「六年間を見渡した国語の授業づくり」を受講する。	小・中・高教諭 (国語・書道)	6時間	平成24年8月21日	30人	30人	講義	教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	昌子 佳宏 岡部 千草	平24-10015-50668号	選択	教育学部
19	新展開講習(社会・歴史・公民コース)③	社会・歴史の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「新学習指導要領と社会科の課題」、後半は「新しい地域の発見②」について受講する。	小・中・高教諭 (社会・歴史・公民)	6時間	平成24年8月21日	60人	58人	講義	教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	木村 勝彦 小原 規宏	平24-10015-50677号	選択	教育学部
20	新展開講習(英語コース)③	英語の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「English Teaching Techniques」、後半は「小学校外国語活動」について受講する。	小・中・高教諭 (英語)	6時間	平成24年8月21日	30人	30人	講義・演習	教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	トウール ティモシー テニス 捕井 新一	平24-10015-50683号	選択	教育学部
21	新展開講習(算数・数学コース)③	算数・数学の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「数理解決力を解いて、考える力を磨こう」、後半は「幾何学の楽しみ」について受講する。	小・中・高教諭 (算数・数学)	6時間	平成24年8月21日	30人	29人	講義	教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	仙波 一郎 工藤 研二	平24-10015-50687号	選択	工学部 教育学部
22	新展開講習(理科・農業コース)②	理科・農業の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、「身近な化学」について受講する。	小・中・高教諭 (理科・農業)	6時間	平成24年8月21日	35人	26人	講義・実験	教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	松川 寛	平24-10015-50691号	選択	教育学部

平成24年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

23	新展開講習(理科 農業コース)⑤	理科・農業の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、「生態系の構造と機能:湖沼と土壌の動物を観察する」について受講する。	小・中・高教諭(理科・農業)	6時間	平成24年8月21日	25人	25人	講義・実験	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	山根 真一	平24-10015-50695号	選択	教育学部
24	新展開講習(図工・美術・工芸コース)③	図工・美術・工芸の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、「図面工作科・美術科・工芸科教育の新展開」を、教育方法においては、造形遊びの指導法、実践的指導法等について、教育内容においてはデザインの美観的内容について受講する。	小・中・高教諭(図工・美術・工芸)	6時間	平成24年8月21日	30人	30人	講義・実験	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	向野 康江 島田 裕之	平24-10015-50699号	選択	教育学部
25	新展開講習(音楽コース)③	音楽の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「発声法と歌唱」、後半は「編曲法について」を受講する。	小・中・高教諭(音楽)	6時間	平成24年8月21日	30人	28人	講義・演習	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	谷川 佳幸 松本 日之春	平24-10015-50704号	選択	教育学部
26	新展開講習(体育保健コース)③	体育・保健の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「中学校武道の必修化への対応について」、後半は「剣道の学習指導」について受講する。	小・中・高教諭(体育・保健)	6時間	平成24年8月21日	30人	29人	講義・実技	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	尾形 敬史 巽 申直	平24-10015-50707号	選択	教育学部
27	新展開講習(技術・工業・情報コース)①	技術・工業・情報の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「技術科の指導と評価」、後半は「製造ものづくり・情報ものづくり」について受講する。	小・中・高教諭(技術・工業・情報)	6時間	平成24年8月21日	30人	20人	講義・演習	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	臼坂 高司 萩谷 正教 福業 健五 野崎 英明	平24-10015-50710号	選択	教育学部
28	新展開講習(家庭コース)①	家庭の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、「家庭教育における衣食生活分野の課題と新展開」について受講する。	小・中・高教諭(家庭)	6時間	平成24年8月21日	30人	30人	講義・実験	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	木村 美智子 西川 陽子	平24-10015-50714号	選択	教育学部
29	新展開講習(特別支援教育コース)①	特別支援教育の生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、主として特別支援学校教員のための講習で、「特別支援教育における心理・生理アセスメントの活用」について受講する。	特別支援教育学校教諭向け	6時間	平成24年8月21日	30人	29人	講義・演習	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	勝二 博彦 村松 多美恵	平24-10015-50718号	選択	教育学部
30	新展開講習(道徳・特別活動コース)③	特別活動における教育内容の充実を目指すこの講習は、「特別活動の今日的課題と実践」について講ずる。児童生徒の心身の発達や人間形成上の課題を踏まえ、特別活動の課題を理解するとともに、学校組織全体として実践の充実を図る方法について講義する。	全教員	6時間	平成24年8月21日	30人	29人	講義	教諭 養護教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	杉本 憲子	平24-10015-50724号	選択	教育学部
31	新展開講習(幼稚園コース)①	幼稚園教育における幼児指導、教育内容の充実のための講習は、「思春期までを見送った幼児教育」について受講する。	幼稚園教諭向け	6時間	平成24年8月21日	30人	24人	講義	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	生越 達	平24-10015-50730号	選択	教育学部
32	新展開講習(養護教諭コース)①	養護教諭を対象としたこの講習は、学校保健、生活指導の充実を目指す。前半は「養護教諭の研究のまとめと発表の方法」、後半は「小児の感染症—最近の話題」について受講する。	養護教諭向け	6時間	平成24年8月21日	40人	34人	講義・演習	養護教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	廣原 紀恵 竹下 誠一郎	平24-10015-50735号	選択	教育学部
33	新展開講習(国語・書道コース)③	国語および書道の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「詩をどう読むか」、後半は「書字に関する学習指導について」を受講する。	小・中・高教諭(国語・書道)	6時間	平成24年8月22日	30人	30人	講義・演習	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	橋浦 洋志 齋木 久美	平24-10015-50670号	選択	教育学部
34	新展開講習(国語・書道コース)④	国語および書道の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「現代の私たちと『古典』」、後半は「言葉の意味を探る」を受講する。	小・中・高教諭(国語・書道)	6時間	平成24年8月22日	30人	30人	講義	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	堀口 育男 川崎 秀之	平24-10015-50672号	選択	人文学部 教育学部
35	新展開講習(社会・歴史・公民コース)④	社会・歴史・公民の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、「歴史研究と社会科」について受講する。後半は「経済学の考え方はなぜ必要か」を受講する。	小・中・高教諭(社会・歴史・公民)	6時間	平成24年8月22日	60人	49人	講義	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	池谷 文夫 石垣 建志	平24-10015-50678号	選択	教育学部 人文学部
36	新展開講習(英語コース)④	英語の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「文を作る仕組みと単語を作る仕組み」、後半は「アメリカ文学・文化と英語テキストそして異文化理解」について受講する。	小・中・高教諭(英語)	6時間	平成24年8月22日	30人	30人	講義	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	鈴木 崇康 君塚 淳一	平24-10015-50684号	選択	教育学部
37	新展開講習(算数・数学コース)④	算数・数学の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「数学的な思考力・判断力・表現力を育てる指導」、後半は「解析学のトピックから」について受講する。	小・中・高教諭(算数・数学)	6時間	平成24年8月22日	30人	30人	講義・演習	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	小口 祐一 梅津 健一郎	平24-10015-50688号	選択	教育学部
38	新展開講習(理科・農業コース)④	理科・農業の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「特徴ある茨城の自然」、後半は「気体の製法・性質に関する実験の指導法」について受講する。	小・中・高教諭(理科・農業)	6時間	平成24年8月22日	33人	33人	講義・実験	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	小曾 次男 栗木 貴雄	平24-10015-50694号	選択	教育学部
39	新展開講習(理科・農業コース)⑥	理科・農業の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、「地層の性質と地層」を作る実験および小河川の観察」について受講する。	小・中・高教諭(理科・農業)	6時間	平成24年8月22日	27人	27人	講義・実習	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	牧野 泰彦	平24-10015-50696号	選択	教育学部
40	新展開講習(図工・美術・工芸コース)④	図工・美術・工芸の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、「図面工作科・美術科・工芸科教育の新展開」を、教育方法においては、授業教育方法等について、教育内容については木材工芸の美観的内容、美術館教育と美術理論を踏まえた鑑賞理論等について受講する。	小・中・高教諭(図工・美術・工芸)	6時間	平成24年8月22日	30人	29人	講義	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	小泉 晋弥 寺本 輝正	平24-10015-50700号	選択	教育学部
41	新展開講習(音楽コース)②	音楽の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「美しくするための歌唱指導」、後半は「ピアノを活用したソルフェージュ」について受講する。	小・中・高教諭(音楽)	6時間	平成24年8月22日	30人	28人	講義・演習	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	藤田 文子 佐藤 篤	平24-10015-50703号	選択	教育学部
42	新展開講習(体育保健コース)④	体育・保健の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「水泳の学習指導」、後半は「フットبالールールの学習指導」について受講する。	小・中・高教諭(体育・保健)	6時間	平成24年8月22日	30人	29人	講義・実習	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	富樫 泰一 勝本 真	平24-10015-50708号	選択	教育学部

平成 24 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

43	新展開講習(技術・工業・情報コース)②	技術・工業・情報の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「金属ものづくり・木材ものづくり」、後半は「機械ものづくり・電気電子ものづくり」について受講する。	小・中・高教諭(技術・工業・情報)	6時間	平成24年8月22日	30人	25人	講義・実習	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	野崎 英明 白坂 高司 安田 健一 榊 守	平24-10015-50712号	選択	教育学部
44	新展開講習(家庭コース)②	家庭の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、「家庭科教育における家庭経営学と保育学の課題と新展開」について受講する。	小・中・高教諭(家庭)	6時間	平成24年8月22日	30人	24人	講義	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	佐藤 裕紀子 数井 みゆき	平24-10015-50716号	選択	教育学部
45	新展開講習(特別支援教育コース)②	特別支援教育の生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、主として特別支援学校教員のための講習で、「特別支援教育の新動向」について受講する。	特別支援教育学校教諭向け	6時間	平成24年8月22日	30人	29人	講義・実験	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	荒川 智 新井 英晴	平24-10015-50721号	選択	教育学部
46	新展開講習(道徳・特別活動コース)②	道徳教育における教育内容の充実を目指すこの講習は、「道徳教育の今日的課題と実践」について講ずる。児童生徒の心身の発達や人間形成上の課題を踏まえ、道徳教育の課題を理解するとともに、学校組織全体として実践の充実を図る方法について講義する。	全教員	6時間	平成24年8月22日	30人	28人	講義	教諭 養護教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	生越 達	平24-10015-50727号	選択	教育学部
47	新展開講習(幼稚園コース)②	幼稚園教育における幼児指導、教育内容の充実のための講習は、「幼稚園教育の新展開」について受講する。	幼稚園教諭向け	6時間	平成24年8月22日	30人	21人	講義・実験	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	新井 英晴 寺門 南	平24-10015-50733号	選択	教育学部
48	新展開講習(養護教諭コース)②	養護教諭を対象としたこの講習は、学校保健、生活指導の充実を目指す。前半は「養護実践の今日的課題と質的研究方法」、後半は「学校保健の組織活動と関係機関の連携」を受講する。	養護教諭向け	6時間	平成24年8月22日	40人	30人	講義・演習	養護教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	斉藤 ふくみ 瀧澤 利行	平24-10015-50737号	選択	教育学部

平成24年Ⅲ期

	講習の名称	講習の概要	主な受講対象者	時間数	講習日	定員	受講者数	授業形態	対象職種	講義場所	担当講師	認定番号	科目区分	登録学部
1	教育の最新事情	「教育についての省察」「子どもの変化についての理解」「教育政策の動向についての理解」「学校の内外における連携協力についての理解」の4つの事項について、教員に求められる知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。	全教員	12時間	平成24年10月27日 ～ 平成24年10月28日	200人	69人	講義・演習	教諭 養護教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	小川 哲哉 佐藤 環 村野井 均 渡部 裕二 三輪 壽二 丸山 広人 望月 厚志 加藤 崇英 杉本 憲子 生越 達	平24-10015-00109号	必修	教育学部
2	新課題講習 1	本学教育学部臨床心理学の研究・教育に携わっている3名の講師が担当し、学校臨床心理学の理論と実践を教育活動(相談)に生かす方法を学ぶ。	全教員	6時間	平成24年12月25日	25人	22人	講義・演習	教諭 養護教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	岸 良範 金丸 隆太 守屋 英子	平24-10015-50635号	選択	教育学部
3	新課題講習 2	本学教育学部で、障害児教育の研究・教育に携わっている2名の講師が、通常の学級に在籍する発達障害児への支援が注目されている中、本講義では、発達障害児に関わる我が国の施策から脳科学的知見を含む発達障害児に関わる最新知見を紹介し、彼らにかなう支援が必要かを講じる。	全教員	6時間	平成24年12月25日	30人	28人	講義	教諭 養護教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	勝二 博亮 東條 吉邦	平24-10015-50630号	選択	教育学部
4	新課題講習 3	本学教育学部で、教育方法論の立場から現代の子どものことについて研究・教育に携わっている講師が前半は、なぜ現代の子どもたちが変わったかに見えるのか、社会の変化を理解することを通して、子どもたちの問題行動のなかに隠された意味を講じる。後半は、子どもたちをどのように理解したらよいか、具体的な事例を取り上げながら講じる。	全教員	6時間	平成24年12月25日	41人	40人	講義	教諭 養護教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	生越 達	平24-10015-50641号	選択	教育学部
5	新課題講習 5	本学教育学部で臨床心理学の研究・教育に携わっている講師が、カウンセリングにおいて重要な諸概念や“Here and now”(今、ここで)の感覚について、さまざまなグループワークを通して演習を行う。	全教員	6時間	平成24年12月25日	24人	13人	講義・演習	教諭 養護教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	正保 春彦	平24-10015-50644号	選択	教育学部
6	新課題講習 15	本学教育学部で人間環境教育の研究・教育に携わっている講師が、小学校、中学校段階から哲学・倫理的思考を行い、身につけていこうということについて、実践例も紹介しつつ、「生きる力」を育てるとい観点から、その意義と可能性について講じる。	全教員(養護教諭を除く)	6時間	平成24年12月25日	30人	不開講	講義	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	木村 駿	平24-10015-50659号	選択	教育学部
7	新課題講習 19	本学教育学部で植物保護についての研究・教育に携わっている講師が、授業で具体的に取扱い、話したりする微生物が多様な生物群からなっていることを顕微鏡での観察を交えて講じる。	全教員(養護教諭を除く)	6時間	平成24年12月25日	20人	不開講	講義・演習	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	小野 義隆	平24-10015-50663号	選択	教育学部
8	新課題講習 20	前半は、本学教育学部で運動生理学の研究・教育に携わっている講師が、子どもの経済や体力・運動に関する現状を紹介しながら、体育が「豊かなスポーツライフの実現」をめざす背景について講じる。後半は、本学教育学部で保健体育の研究・教育に携わっている講師が、ボテコントロールと動きづくりについて、様々な動きを実践・体験しながら講じる。	全教員	6時間	平成24年12月25日	30人	12人	講義・実技	教諭 養護教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	松坂 晃 上地 勝	平24-10015-50664号	選択	教育学部
9	新展開講習(国語・書道コース)⑤	国語および書道の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「言葉を楽しむ言葉と国語の授業」、後半は「国語科の協働学習」を受講する。	小・中・高教諭(国語・書道)	6時間	平成24年12月26日	40人	17人	講義・演習	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	昌子 佳広 大内 善一	平24-10015-50673号	選択	教育学部
10	新展開講習(社会・歴史・公民コース)⑤	社会・歴史の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「社会科における地図の活用」、後半は「地理学と地理教育の新展開」について受講する。	小・中・高教諭(社会・歴史・公民)	6時間	平成24年12月26日	40人	13人	講義	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	村山 朝子 早川 唯弘	平24-10015-50679号	選択	教育学部
11	新展開講習(特別支援教育コース)①	特別支援教育の生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、主として特別支援学校教員のための講習で、「特別支援教育における心理・生理アセスメントの活用」について受講する。	特別支援教育学校教諭向け	6時間	平成24年12月26日	30人	13人	講義・演習	教諭	水戸キャンパス(茨城県水戸市)	勝二 博亮 村松 多美恵	平24-10015-50719号	選択	教育学部

12	新展開講習(道徳特別活動コース)①	特別活動における教育内容の充実を目指すこの講習は、「特別活動の今日的課題と実践」について講ずる。児童生徒の心身の発達や人間形成上の課題を踏まえ、特別活動の課題を理解するとともに、学校組織全体として実践の充実を図る方法について講ずる。	全教員	6時間	平成24年12月26日	40人	39人	講義	教諭 養護教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	杉本 憲子	平24-10015-50725号	選択	教育学部
13	新展開講習(幼稚園コース)①	幼稚園教育における幼児指導、教育内容の充実のための講習は、「思春期までを見据えた幼児教育」について受講する。	幼稚園教諭向け	6時間	平成24年12月26日	30人	不開講	講義	教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	生越 達	平24-10015-50731号	選択	教育学部
14	新展開講習(養護教諭コース)①	養護教諭を対象としたこの講習は、学校保健、生活指導の充実を目指す。前半は「養護教諭の研究のまとめと発表の方法」、後半は「小児の感染症—最近の話題」について受講する。	養護教諭向け	6時間	平成24年12月26日	20人	不開講	講義・ 演習	養護教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	廣原 紀恵 竹下 誠一郎	平24-10015-50736号	選択	教育学部
15	新展開講習(国語・書道コース)⑥	国語および書道の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「詩をどう読むか」、後半は、「漢文導入部の再検討」を受講する。	小・中・高教諭 (国語・書道)	6時間	平成24年12月27日	40人	14人	講義	教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	橋浦 洋志 堀子 和男	平24-10015-50674号	選択	教育学部
16	新展開講習(社会・歴史・公民コース)⑥	社会・歴史・公民の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、前半は「歴史学の最新成果と社会科」について受講する。後半は「T・ホプズとJ・ロックの政治思想」について受講する。	小・中・高教諭 (社会・歴史・公民)	6時間	平成24年12月27日	40人	12人	講義	教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	酒井 紀美 金光 光男	平24-10015-50680号	選択	教育学部 人文学部
17	新展開講習(特別支援教育コース)②	特別支援教育の生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、主として特別支援学校教員のための講習で、「特別支援教育の新動向」について受講する。	特別支援教育 学校教諭向け	6時間	平成24年12月27日	30人	18人	講義・ 実験	教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	荒川 智 新井 英晴	平24-10015-50722号	選択	教育学部
18	新展開講習(道徳特別活動コース)①	道徳教育における教育内容の充実を目指すこの講習は、「道徳教育の今日的課題と実践」について講ずる。児童生徒の心身の発達や人間形成上の課題を踏まえ、道徳教育の課題を理解するとともに、学校組織全体として実践の充実を図る方法について講ずる。	全教員	6時間	平成24年12月27日	40人	38人	講義	教諭 養護教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	生越 達	平24-10015-50728号	選択	教育学部
19	新展開講習(幼稚園コース)②	幼稚園教育における幼児指導、教育内容の充実のための講習は、「幼稚園教育の新展開」について受講する。	幼稚園教諭向け	6時間	平成24年12月27日	30人	不開講	講義・ 実験	教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	新井 英晴 寺門 南	平24-10015-50734号	選択	教育学部
20	新展開講習(養護教諭コース)②	養護教諭を対象としたこの講習は、学校保健、生活指導の充実を目指す。前半は「養護実践の今日的課題と質的研究方法」、後半は「学校保健の組織活動と関係機関の連携」を受講する。	養護教諭向け	6時間	平成24年12月27日	20人	不開講	講義・ 演習	養護教諭	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	青藤 ふくみ 道澤 利行	平24-10015-50738号	選択	教育学部